

令和7年度

日高市 障がい福祉調査報告書

令和8年3月

日 高 市

目 次

I 調査の概要	1
1) 目的	1
2) 調査の対象及び調査方法	1
3) 回収率等	1
4) 報告書の見方	1
II 調査結果	3
1) 障がい者調査(成人)	3
1 ご本人について	3
2 障がいの状況について	6
3 日常生活について	14
4 外出について	19
5 サービスや支援の利用について	21
6 生活について	32
7 自由意見	44
2) 障がい者調査(障がい児)	45
1 ご本人について	45
2 障がいの状況について	49
3 教育について	57
4 外出について	63
5 サービスや支援の利用について	65
6 生活について	70
7 自由意見	82
3) 障がい者団体等意向調査	83

I 調査の概要

1)目的

本調査は、「第8期障がい者計画・障がい福祉計画/第4期障がい児福祉計画」を策定するため、市内の障害者手帳保持者及び団体にニーズの把握や実態把握と計画策定の基礎資料として活用するためにアンケート調査を実施しました。

2)調査の対象及び調査方法

種 類	対象者	調査方法	調査期間
障がい者調査(成人)	18歳以上の障害者手帳所持者	郵送による 配布、回収	令和8年 1月21日 ～2月6日
障がい者調査(障がい児)	18歳未満の障害者手帳所持者		
障がい者団体調査	市内の障がい者・障がい児に関する当事者・家族団体並びに障がい福祉サービス等提供団体		

3)回収率等

対象者	対象者数	有効回収数	有効回収率
障がい者調査(成人)	2,129人	1,082件	50.8%
障がい者調査(障がい児)	142人	49件	34.5%
障がい者団体調査	24団体	10件	41.67%

4)報告書の見方

- ①単数回答の設問における各選択肢の回答割合(比率)は、非該当者を除いた回答者数「n」(当該設問での該当者数)を基数とした百分率(%)で示しています。
各数値は、小数点以下第二位を四捨五入して算出しているため、構成比の合計は100%にならないことがあります。
- ②複数回答の設問における各選択肢の回答割合(比率)は、非該当者を除いた回答者数「n」(当該設問での該当者数)を基数とした百分率(%)で示しています。したがって、比率の合計値は100%にならない場合もあります。
- ③図や表、本文では、選択肢の一部や数値の一部を省略している場合があります。

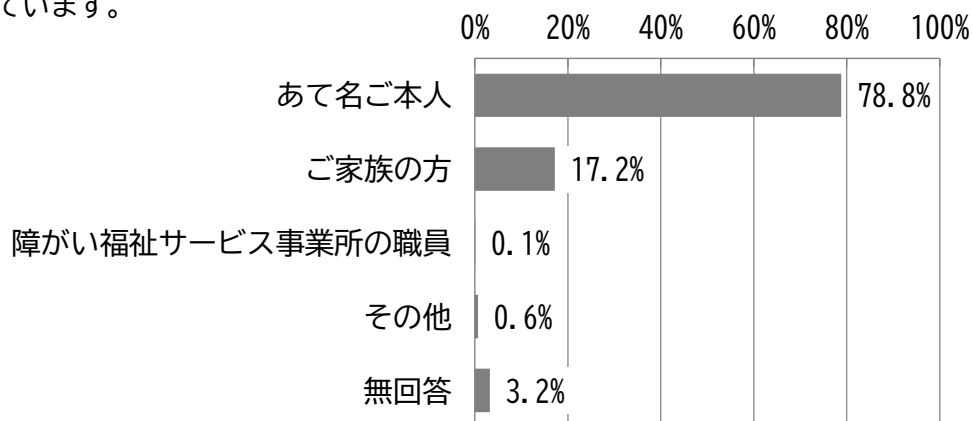
Ⅱ 調査結果

1)障がい者調査(成人)

1 ご本人について

問1 この調査票にご回答いただくのはどなたですか。(○はひとつ)

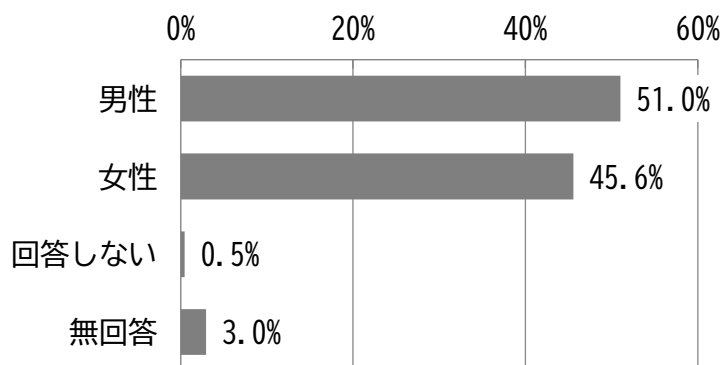
調査票の回答者は、「あて名ご本人」が78.8%と最も多く、次いで「ご家族の方」が17.2%となっています。



項目	件数	比率
あて名ご本人	853	78.8%
ご家族の方	186	17.2%
障がい福祉サービス事業所の職員	1	0.1%
その他	7	0.6%
無回答	35	3.2%
合計	1,082	100.0%

問2 あなたの性別をお聞きます。(○はひとつ)

性別は、「男性」が51.0%、「女性」が45.6%となっています。

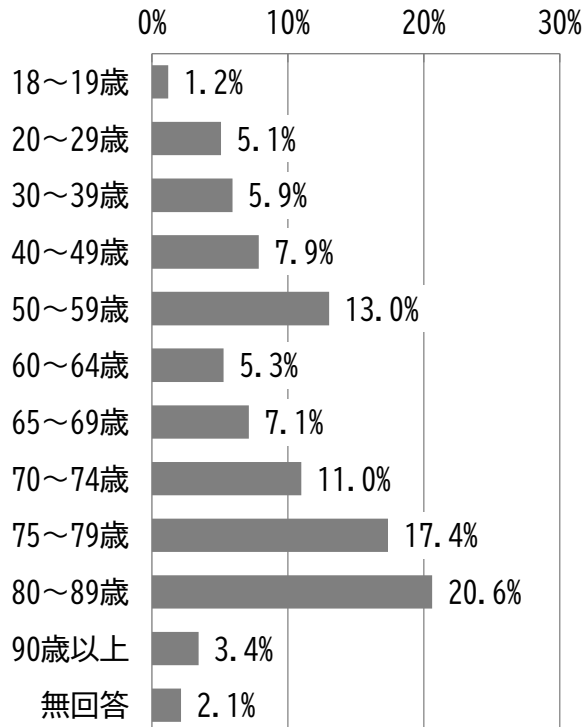


項目	件数	比率
男性	552	51.0%
女性	493	45.6%
回答しない	5	0.5%
無回答	32	3.0%
合計	1,082	100.0%

1) 障がい者調査(成人)

問3 あなたの年齢をお聞きます。〔令和8年1月1日現在の満年齢〕(○はひとつ)

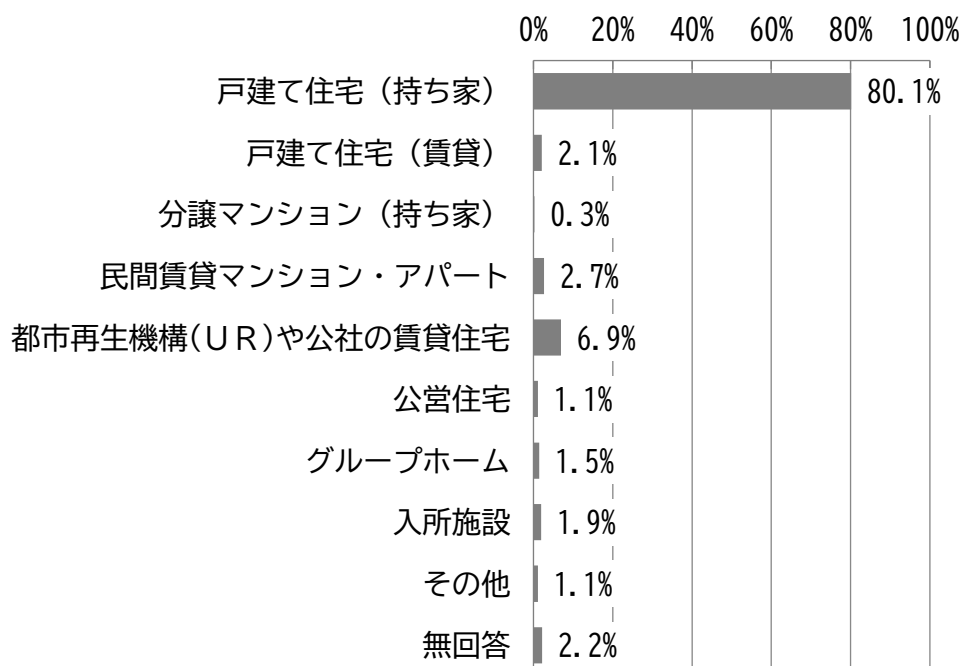
年齢は、「80～89歳」が20.6%と最も多く、次いで「75～79歳」が17.4%、「50～59歳」が13.0%となっています。



項目	件数	比率
18～19歳	13	1.2%
20～29歳	55	5.1%
30～39歳	64	5.9%
40～49歳	85	7.9%
50～59歳	141	13.0%
60～64歳	57	5.3%
65～69歳	77	7.1%
70～74歳	119	11.0%
75～79歳	188	17.4%
80～89歳	223	20.6%
90歳以上	37	3.4%
無回答	23	2.1%
合計	1,082	100.0%

問4 あなたのお住まいの種類をお聞きます。(○はひとつ)

お住まいは、「戸建て住宅(持ち家)」が80.1%と最も多く、次いで「都市再生機構(UR)や公社の賃貸住宅」が6.9%、「民間賃貸マンション・アパート」が2.7%となっています。



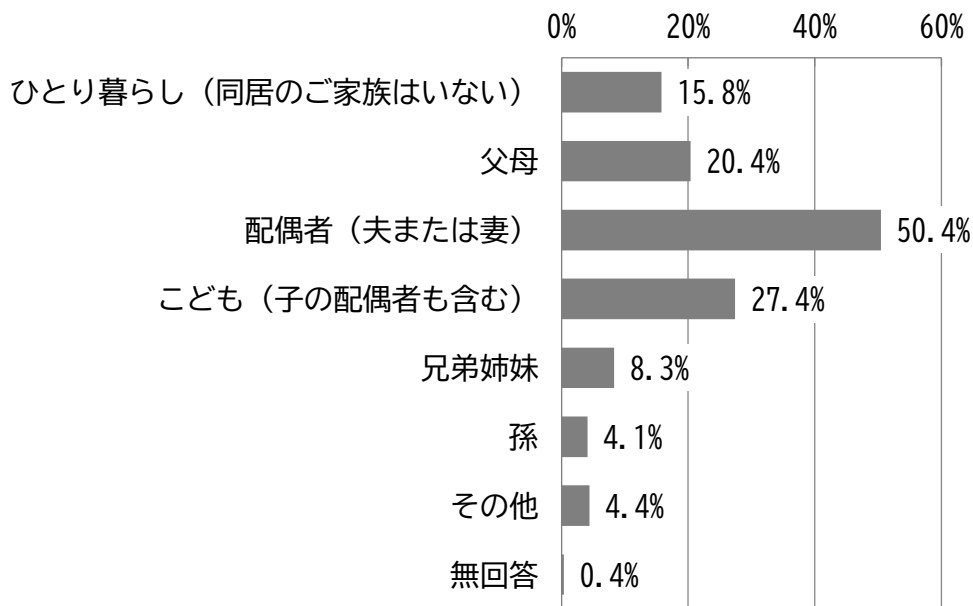
1) 障がい者調査(成人)

項目	件数	比率
戸建て住宅（持ち家）	867	80.1%
戸建て住宅（賃貸）	23	2.1%
分譲マンション（持ち家）	3	0.3%
民間賃貸マンション・アパート	29	2.7%
都市再生機構（UR）や公社の賃貸住宅	75	6.9%
公営住宅	12	1.1%
グループホーム	16	1.5%
入所施設	21	1.9%
その他	12	1.1%
無回答	24	2.2%
合計	1,082	100.0%

問4で「グループホーム」「入所施設」と回答した方を除く

問5 あなたと一緒に生活している人（同居のご家族）をお聞きます。あなたから見た続き柄で教えてください。（あてはまるものすべてに○）

一緒に生活している人は、「配偶者（夫または妻）」が 50.4%と最も多く、次いで「こども（子の配偶者も含む）」が 27.4%、「父母」が 20.4%となっています。



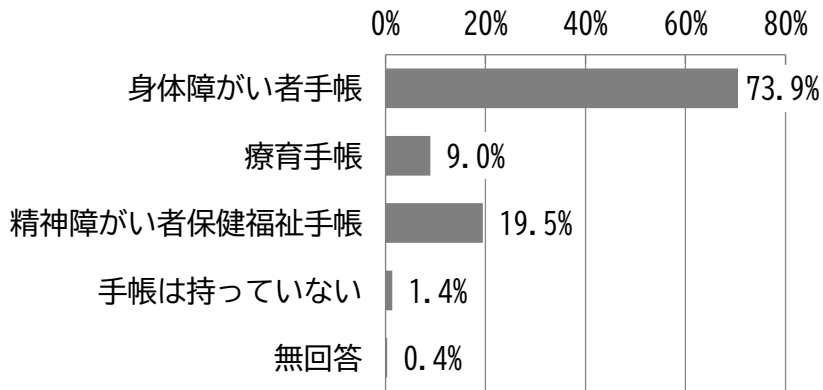
項目	件数	比率
ひとり暮らし（同居のご家族はいない）	161	15.8%
父母	208	20.4%
配偶者（夫または妻）	515	50.4%
こども（子の配偶者も含む）	280	27.4%
兄弟姉妹	85	8.3%
孫	42	4.1%
その他	45	4.4%
無回答	4	0.4%
回答者数	1,021	

1) 障がい者調査(成人)

2 障がいの状況について

問6 あなたが持っている手帳の種類をお聞きます。手帳をお持ちの方は、等級や程度にも○を付けてください。(あてはまるものすべてに○)

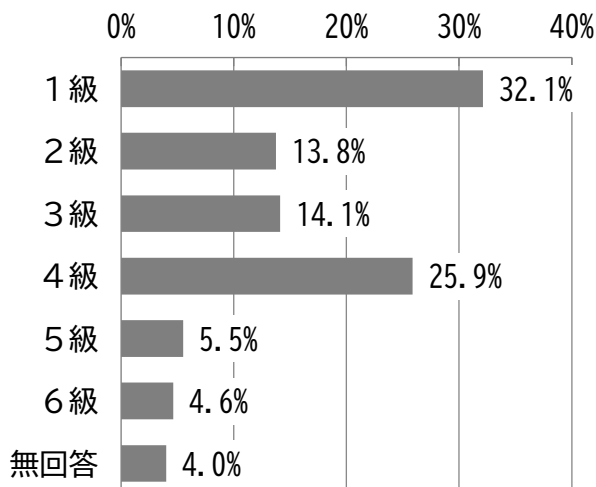
持っている手帳の種類は、「身体障がい者手帳」が73.9%と最も多く、次いで「精神障がい者保健福祉手帳」が19.5%、「療育手帳」が9.0%となっています。



項目	件数	比率
身体障がい者手帳	800	73.9%
療育手帳	97	9.0%
精神障がい者保健福祉手帳	211	19.5%
手帳は持っていない	15	1.4%
無回答	4	0.4%
回答者数	1,082	

【身体障がい者手帳】

持っている身体障がい者手帳の等級は、「1級」が32.1%と最も多く、次いで「4級」が25.9%、「3級」が14.1%となっています。

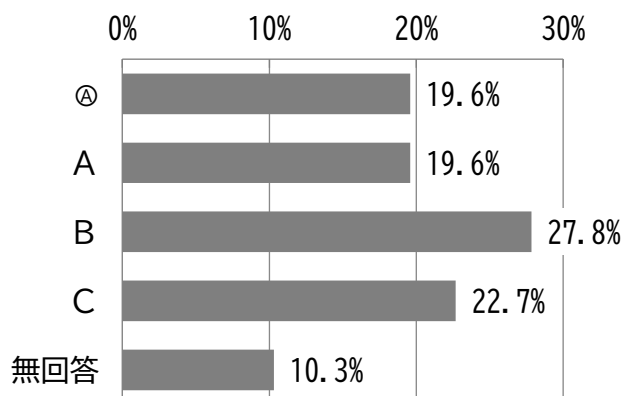


項目	件数	比率
1級	257	32.1%
2級	110	13.8%
3級	113	14.1%
4級	207	25.9%
5級	44	5.5%
6級	37	4.6%
無回答	32	4.0%
回答者数	800	100.0%

1) 障がい者調査(成人)

【療育手帳】

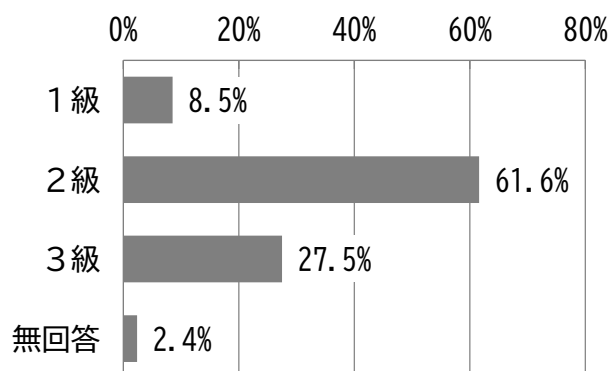
持っている療育手帳の等級は、「B」が27.8%と最も多く、次いで「C」が22.7%、「㉔」及び「A」がともに19.6%となっています。



項目	件数	比率
㉔	19	19.6%
A	19	19.6%
B	27	27.8%
C	22	22.7%
無回答	10	10.3%
回答者数	97	100.0%

【精神障がい者保健福祉手帳】

持っている精神障がい者保健福祉手帳の等級は、「2級」が61.6%と最も多く、次いで「3級」が27.5%、「1級」が8.5%となっています。



項目	件数	比率
1級	18	8.5%
2級	130	61.6%
3級	58	27.5%
無回答	5	2.4%
回答者数	211	100.0%

問6で「手帳は持っていない」と回答した方

問6-1 手帳を持っていない理由は何ですか。(○はひとつ)

手帳を持っていない理由については、「特に手帳がなくても困らない」が15件中6件、「障がいの種類や程度が手帳の基準にあてはまらない」が2件となっています。

項目	件数	比率
障がいの種類や程度が手帳の基準にあてはまらない	2	13.3%
手帳の制度や取得の手続きが分からない	0	0.0%
特に手帳がなくても困らない	6	40.0%
手帳を持ちたくない	1	6.7%
その他	4	26.7%
無回答	2	13.3%
回答者数	15	100.0%

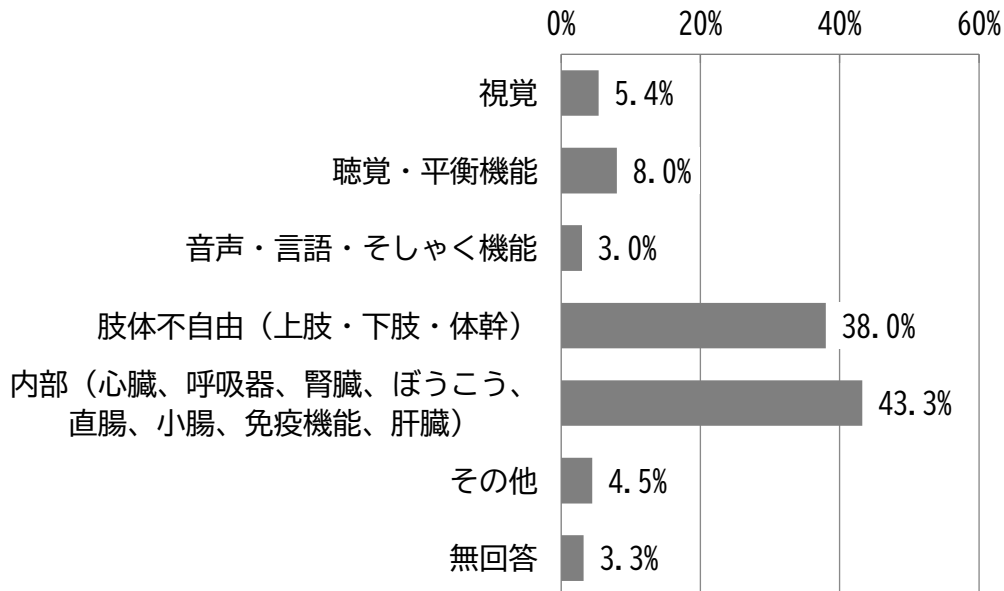
※回答者数が少ないため、表のみ掲載（以下同様）

1) 障がい者調査(成人)

問6で「身体障がい者手帳」と回答した方

問6-2 身体障がい者手帳をお持ちの方にお聞きます。あなたの障がいの種類は何ですか。
(あてはまるものすべてに○)

身体障がいの種類は、「内部（心臓、呼吸器、腎臓、ぼうこう、直腸、小腸、免疫機能、肝臓）」が43.3%と最も多く、次いで「肢体不自由（上肢・下肢・体幹）」が38.0%、「聴覚・平衡機能」が8.0%となっています。

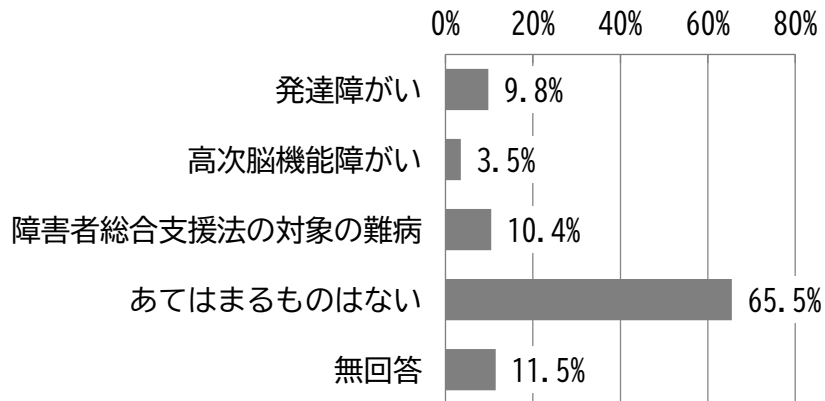


項目	件数	比率
視覚	43	5.4%
聴覚・平衡機能	64	8.0%
音声・言語・そしゃく機能	24	3.0%
肢体不自由（上肢・下肢・体幹）	304	38.0%
内部（心臓、呼吸器、腎臓、ぼうこう、直腸、小腸、免疫機能、肝臓）	346	43.3%
その他	36	4.5%
無回答	26	3.3%
回答者数	800	

問7 あなたが医師から診断を受けているもので、該当するものをお聞きします。(あてはまるものすべてに○)

医師から診断を受けているものについては、「障害者総合支援法の対象の難病」が10.4%、「発達障がい」が9.8%となっています。

一方、「あてはまるものはない」が65.5%となっています。

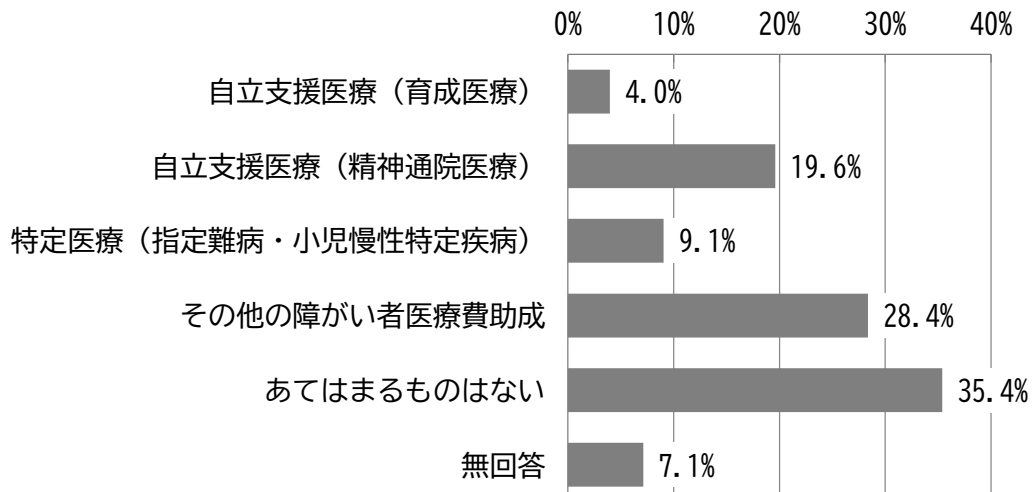


項目	件数	比率
発達障がい	106	9.8%
高次脳機能障がい	38	3.5%
障害者総合支援法の対象の難病	113	10.4%
あてはまるものはない	709	65.5%
無回答	124	11.5%
回答者数	1,082	

問8 あなたが利用している公費負担医療制度についてお聞きします。(あてはまるものすべてに○)

利用している公費負担医療制度については、「その他の障がい者医療費助成」が28.4%、「自立支援医療（精神通院医療）」が19.6%となっています。

一方、「あてはまるものはない」が35.4%となっています。

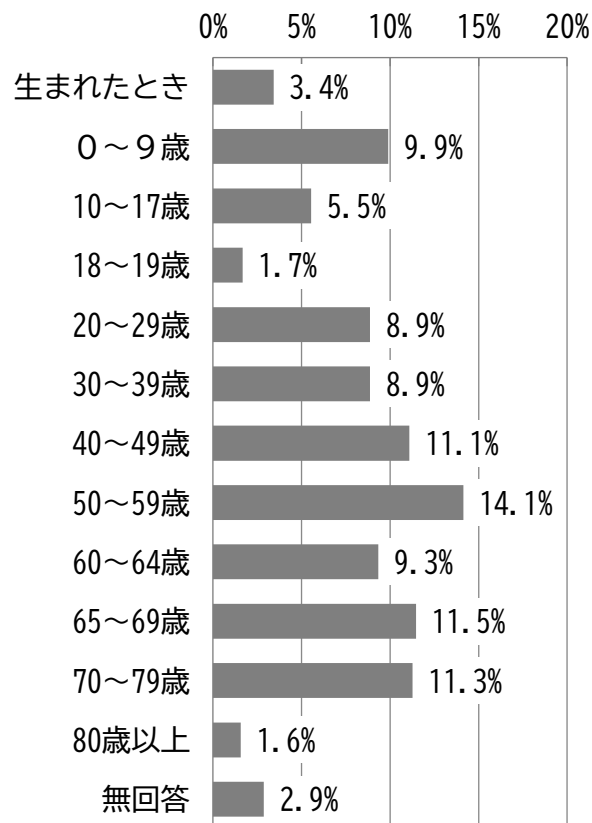


1) 障がい者調査(成人)

項目	件数	比率
自立支援医療（育成医療）	43	4.0%
自立支援医療（精神通院医療）	212	19.6%
特定医療（指定難病・小児慢性特定疾病）	98	9.1%
その他の障がい者医療費助成	307	28.4%
あてはまるものはない	383	35.4%
無回答	77	7.1%
回答者数	1,082	

問9 あなたの障がいや心身の不調について最初に診断を受けたのはいつ頃ですか。（〇はひとつ）

最初に診断を受けた時期については、「50～59歳」が14.1%と最も多く、次いで「65～69歳」が11.5%、「70～79歳」が11.3%となっています。



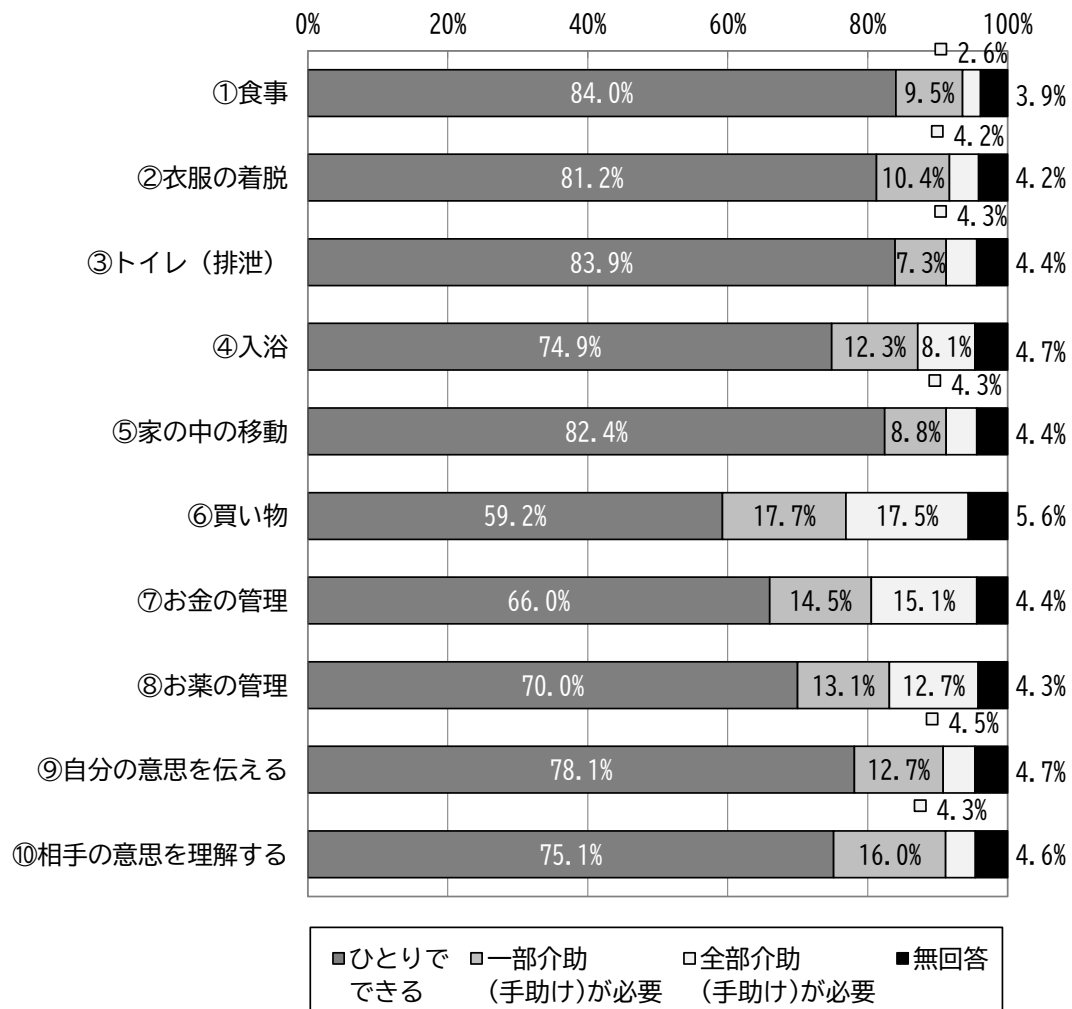
項目	件数	比率
生まれたとき	37	3.4%
0～9歳	107	9.9%
10～17歳	60	5.5%
18～19歳	18	1.7%
20～29歳	96	8.9%
30～39歳	96	8.9%
40～49歳	120	11.1%
50～59歳	153	14.1%
60～64歳	101	9.3%
65～69歳	124	11.5%
70～79歳	122	11.3%
80歳以上	17	1.6%
無回答	31	2.9%
合計	1,082	100.0%

問 10 日常生活での介助の必要性についてお聞きします。(項目ごとに○はひとつ)

日常生活での介助の必要性については、「ひとりでできる」で最も多いのは、「①食事」で 84.0%、次いで「③トイレ（排泄）」で 83.9%となっています。

「一部介助（手助け）が必要」で最も多いのは、「⑥買い物」で 17.7%、次いで「⑩相手の意思を理解する」で 16.0%となっています。

「全部介助（手助け）が必要」で最も多いのは、「⑥買い物」で 17.5%、次いで「⑦お金の管理」で 15.1%となっています。



※「ひとりでできる」には、見守り・声掛けがあればできる場合も含まれます。

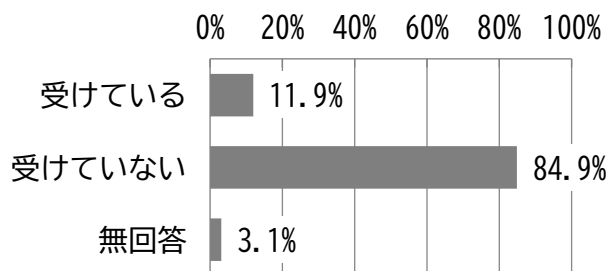
1) 障がい者調査(成人)

上段：件数 下段：比率

項目	ひとりで できる	一部介助 (手助け) が必要	全部介助 (手助け) が必要	無回答	合計
①食事	909	103	28	42	1,082
②衣服の着脱	879	113	45	45	1,082
③トイレ(排泄)	908	79	47	48	1,082
④入浴	810	133	88	51	1,082
⑤家の中の移動	892	95	47	48	1,082
⑥買い物	641	191	189	61	1,082
⑦お金の管理	714	157	163	48	1,082
⑧お薬の管理	757	142	137	46	1,082
⑨自分の意思を伝える	845	137	49	51	1,082
⑩相手の意思を理解する	813	173	46	50	1,082
①食事	84.0%	9.5%	2.6%	3.9%	100.0%
②衣服の着脱	81.2%	10.4%	4.2%	4.2%	100.0%
③トイレ(排泄)	83.9%	7.3%	4.3%	4.4%	100.0%
④入浴	74.9%	12.3%	8.1%	4.7%	100.0%
⑤家の中の移動	82.4%	8.8%	4.3%	4.4%	100.0%
⑥買い物	59.2%	17.7%	17.5%	5.6%	100.0%
⑦お金の管理	66.0%	14.5%	15.1%	4.4%	100.0%
⑧お薬の管理	70.0%	13.1%	12.7%	4.3%	100.0%
⑨自分の意思を伝える	78.1%	12.7%	4.5%	4.7%	100.0%
⑩相手の意思を理解する	75.1%	16.0%	4.3%	4.6%	100.0%

問 11 あなたは経管栄養・喀痰吸引・導尿・透析などの日常的な医療的ケアを受けていますか。
(○はひとつ)

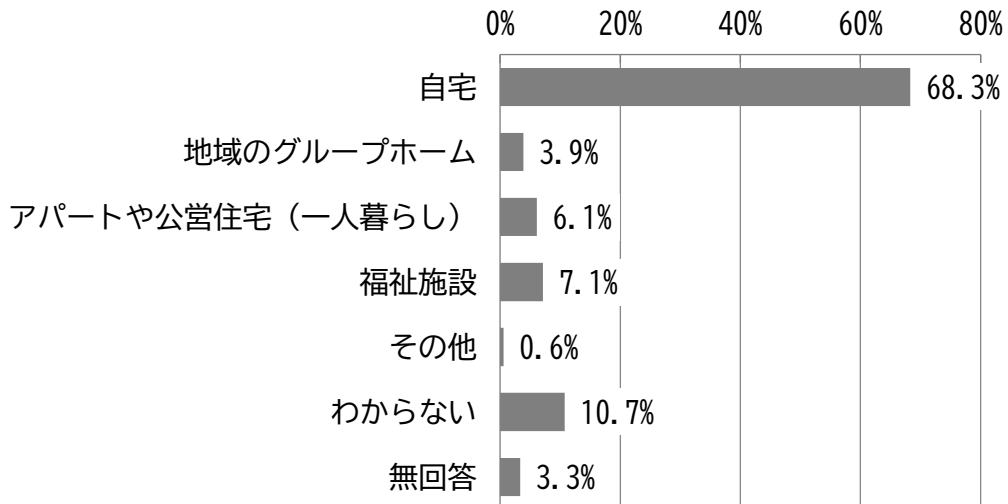
日常的な医療的ケアについては、「受けている」が 11.9%、「受けていない」が 84.9%となっています。



項目	件数	比率
受けている	129	11.9%
受けていない	919	84.9%
無回答	34	3.1%
合計	1,082	100.0%

問 12 あなたは、将来どこで生活したいと思いますか。(ひとつに○)

将来、生活したい場所については、「自宅」が 68.3%と最も多く、次いで「福祉施設」が 7.1%、「アパートや公営住宅（一人暮らし）」が 6.1%となっています。



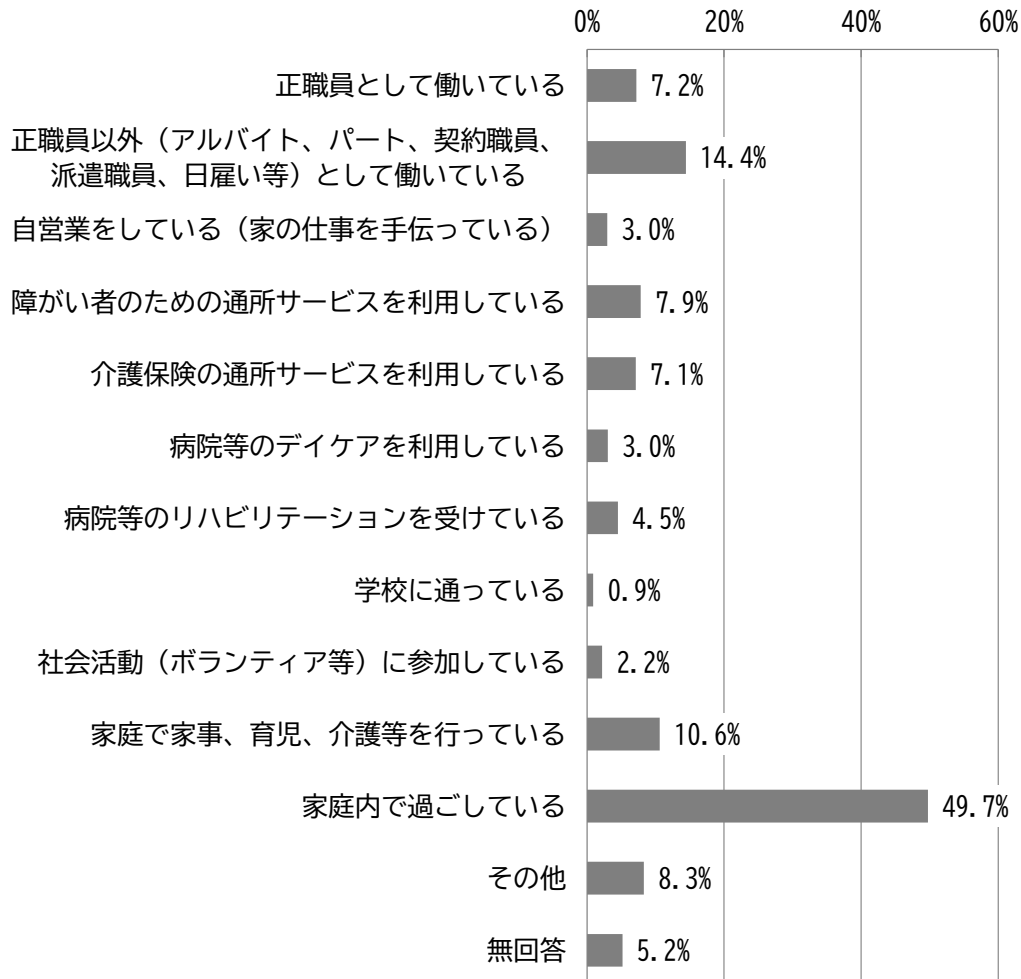
項目	件数	比率
自宅	739	68.3%
地域のグループホーム	42	3.9%
アパートや公営住宅（一人暮らし）	66	6.1%
福祉施設	77	7.1%
その他	6	0.6%
わからない	116	10.7%
無回答	36	3.3%
回答者数	1,082	100.0%

1) 障がい者調査(成人)

3 日常生活について

問 13 日中はどのように過ごしていますか。(あてはまるものすべてに○)

日中過ごしている様子は、「家庭内で過ごしている」が 49.7%と最も多く、次いで「正職員以外（アルバイト、パート、契約職員、派遣職員、日雇い等）として働いている」が 14.4%、「家庭で家事、育児、介護等を行っている」が 10.6%となっています。

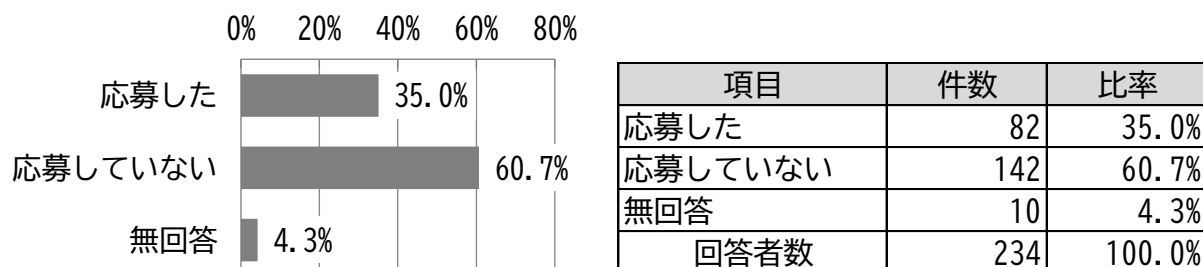


項目	件数	比率
正職員として働いている	78	7.2%
正職員以外（アルバイト、パート、契約職員、派遣職員、日雇い等）として働いている	156	14.4%
自営業をしている（家の仕事を手伝っている）	32	3.0%
障がい者のための通所サービスを利用している	85	7.9%
介護保険の通所サービスを利用している	77	7.1%
病院等のデイケアを利用している	33	3.0%
病院等のリハビリテーションを受けている	49	4.5%
学校に通っている	10	0.9%
社会活動（ボランティア等）に参加している	24	2.2%
家庭で家事、育児、介護等を行っている	115	10.6%
家庭内で過ごしている	538	49.7%
その他	90	8.3%
無回答	56	5.2%
回答者数	1,082	

問 13 で「正職員として働いている」、「正職員以外として働いている」と回答した方

問 13-1 障がい者向け求人に応募しましたか。(○はひとつ)

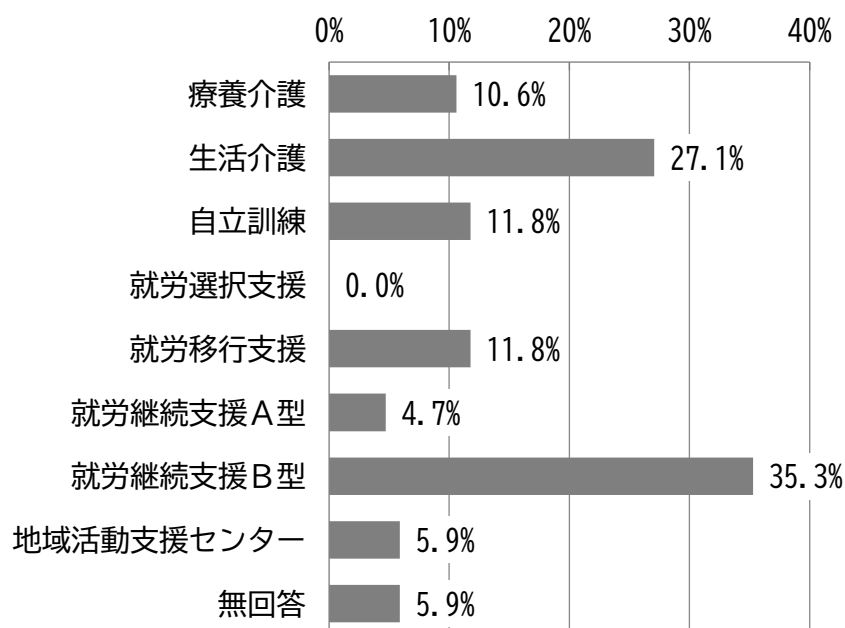
障がい者向け求人に「応募した」が 35.0%、「応募していない」が 60.7%となっています。



問 13 で「障がい者のための通所サービスを利用している」と回答した方

問 13-2 利用している通所サービスは何ですか。(あてはまるものすべてに○)

利用している通所サービスは、「就労継続支援B型」が 35.3%と最も多く、次いで「生活介護」が 27.1%、「自立訓練」及び「就労移行支援」がともに 11.8%となっています。

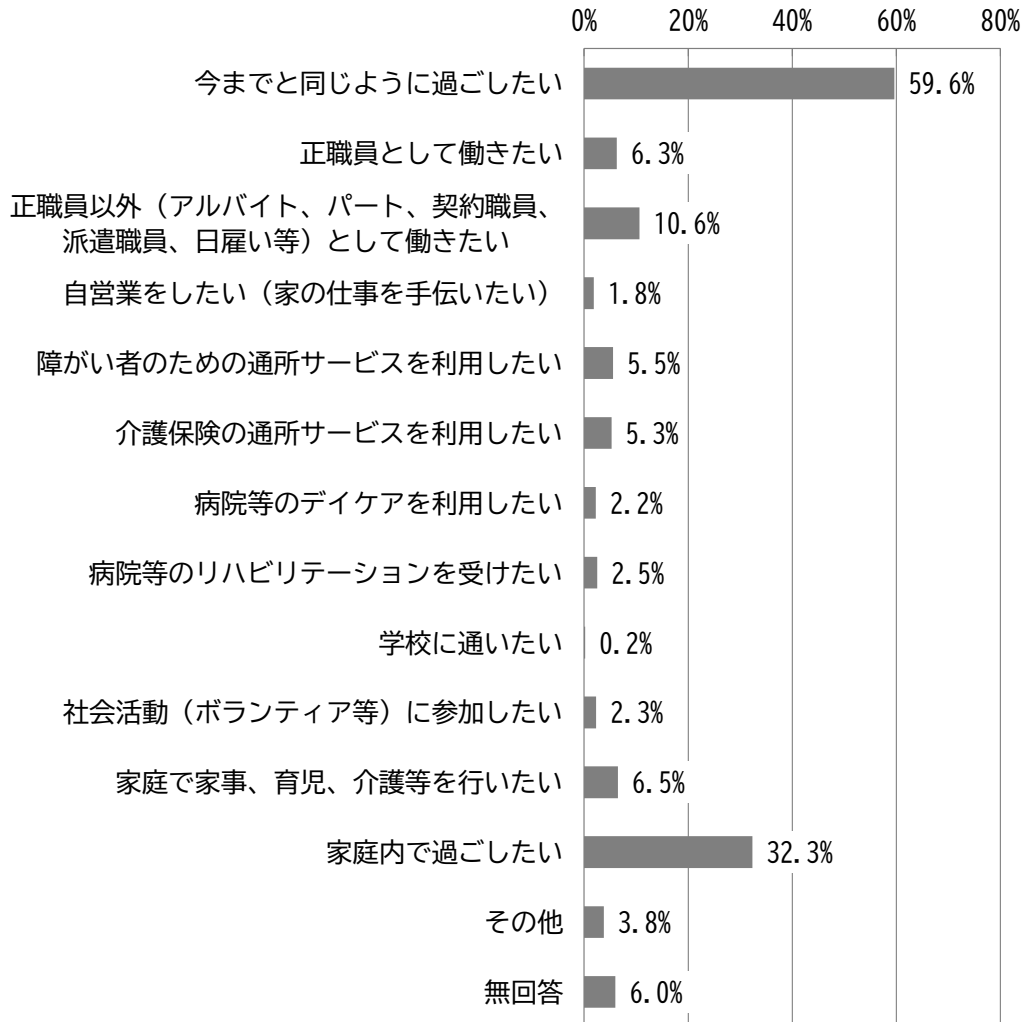


項目	件数	比率
療養介護	9	10.6%
生活介護	23	27.1%
自立訓練	10	11.8%
就労選択支援	0	0.0%
就労移行支援	10	11.8%
就労継続支援A型	4	4.7%
就労継続支援B型	30	35.3%
地域活動支援センター	5	5.9%
無回答	5	5.9%
回答者数	85	

1) 障がい者調査(成人)

問 14 日中はどのように過ごしたいと考えていますか。(あてはまるものすべてに○)

日中の過ごしたい様子は、「今までと同じように過ごしたい」が 59.6%と最も多く、次いで「家庭内で過ごしたい」が 32.3%、「正職員以外（アルバイト、パート、契約職員、派遣職員、日雇い等）として働きたい」が 10.6%となっています。



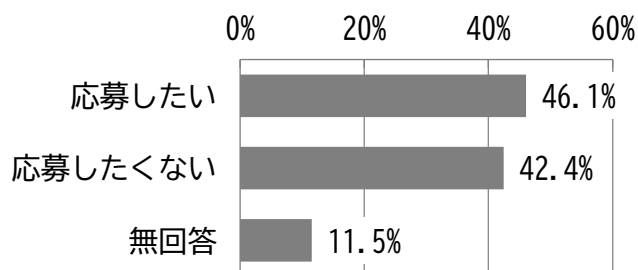
項目	件数	比率
今までと同じように過ごしたい	645	59.6%
正職員として働きたい	68	6.3%
正職員以外（アルバイト、パート、契約職員、派遣職員、日雇い等）として働きたい	115	10.6%
自営業をしたい（家の仕事を手伝いたい）	20	1.8%
障がい者のための通所サービスを利用したい	60	5.5%
介護保険の通所サービスを利用したい	57	5.3%
病院等のデイケアを利用したい	24	2.2%
病院等のリハビリテーションを受けたい	27	2.5%
学校に通いたい	2	0.2%
社会活動（ボランティア等）に参加したい	25	2.3%
家庭で家事、育児、介護等を行いたい	70	6.5%
家庭内で過ごしたい	350	32.3%
その他	41	3.8%
無回答	65	6.0%
回答者数	1,082	

1) 障がい者調査(成人)

問 14 で「正職員として働きたい」、「正職員以外として働きたい」と回答した方

問 14-1 障がい者向け求人に応募したいですか。(○はひとつ)

障がい者向け求人に応募したいかは、「応募したい」が 46.1%、「応募したくない」が 42.4% となっています。



項目	件数	比率
応募したい	76	46.1%
応募したくない	70	42.4%
無回答	19	11.5%
回答者数	165	100.0%

問 14 で「障がい者のための通所サービスを利用したい」と回答した方

問 14-2 利用したい通所サービスは何ですか。(あてはまるものすべてに○)

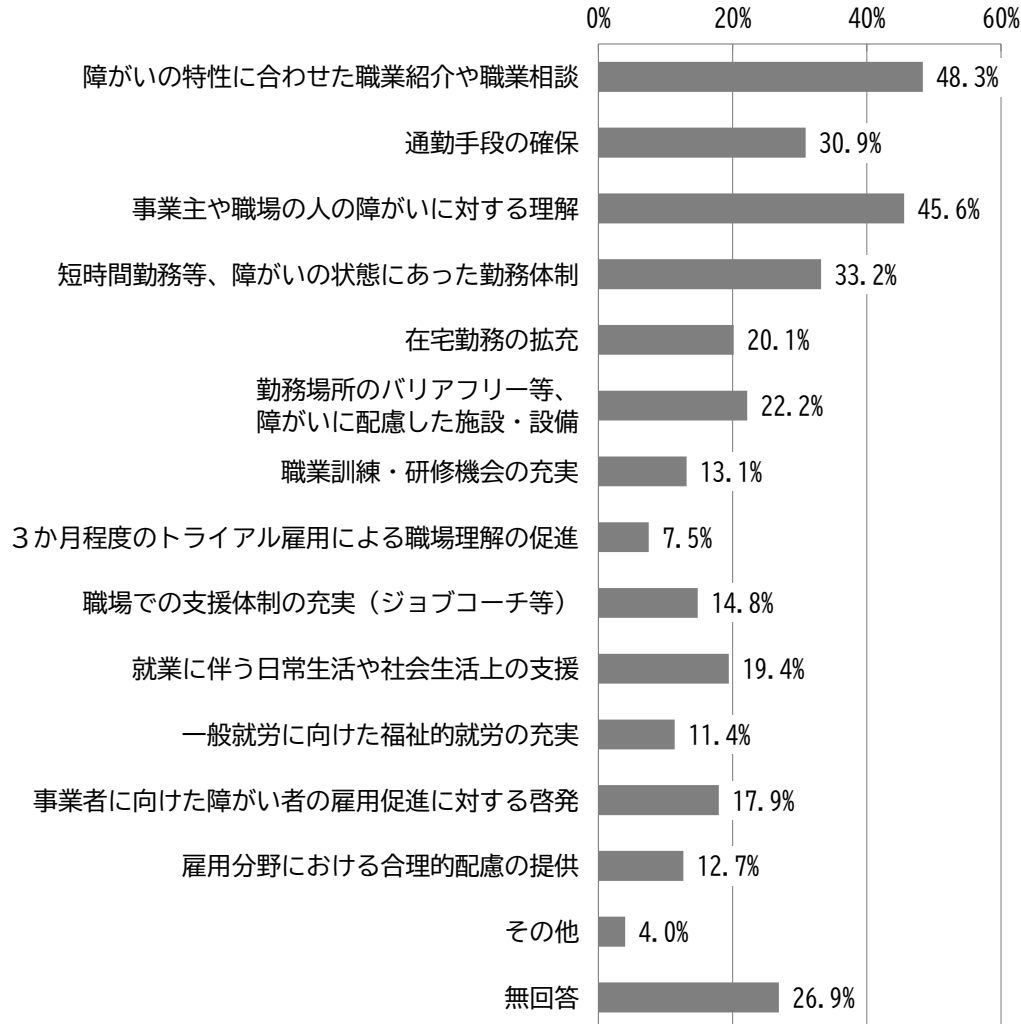
利用したい通所サービスは、「生活介護」が 60 件中 18 件、「就労継続支援 B 型」が 17 件、「自立訓練」が 14 件となっています。

項目	件数	比率
療養介護	6	10.0%
生活介護	18	30.0%
自立訓練	14	23.3%
就労選択支援	2	3.3%
就労移行支援	10	16.7%
就労継続支援 A 型	9	15.0%
就労継続支援 B 型	17	28.3%
地域活動支援センター	7	11.7%
無回答	2	3.3%
回答者数	60	

1) 障がい者調査(成人)

問 15 あなたは、障がい者の就労支援としてどのようなことが重要だと思いますか。(あてはまるもの5つまで、下記の回答欄に数字を記入)

障がい者の就労支援として重要なことについては、「障がいの特性に合わせた職業紹介や職業相談」が 48.3%と最も多く、次いで「事業主や職場の人の障がいに対する理解」が 45.6%、「短時間勤務等、障がいの状態にあった勤務体制」が 33.2%となっています。

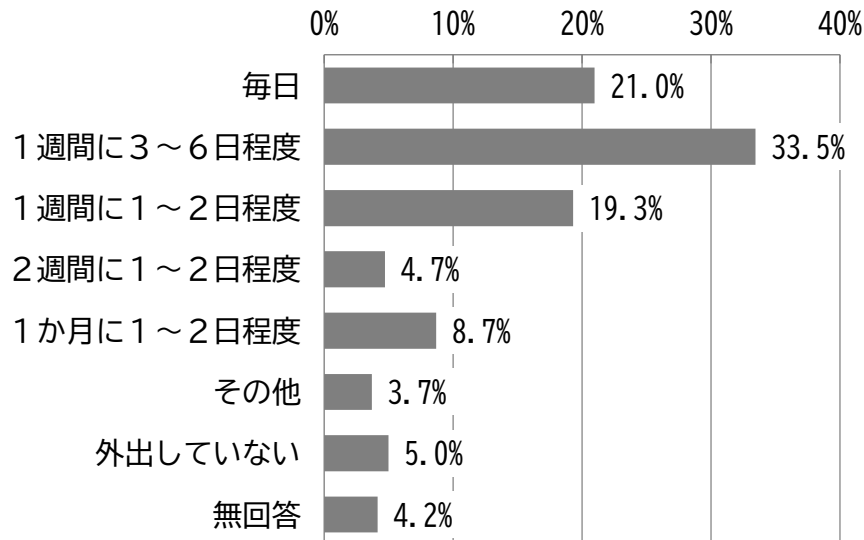


項目	件数	比率
障がいの特性に合わせた職業紹介や職業相談	523	48.3%
通勤手段の確保	334	30.9%
事業主や職場の人の障がいに対する理解	493	45.6%
短時間勤務等、障がいの状態にあった勤務体制	359	33.2%
在宅勤務の拡充	218	20.1%
勤務場所のバリアフリー等、障がいに配慮した施設・設備	240	22.2%
職業訓練・研修機会の充実	142	13.1%
3か月程度のトライアル雇用による職場理解の促進	81	7.5%
職場での支援体制の充実（ジョブコーチ等）	160	14.8%
就業に伴う日常生活や社会生活上の支援	210	19.4%
一般就労に向けた福祉的就労の充実	123	11.4%
事業者に向けた障がい者の雇用促進に対する啓発	194	17.9%
雇用分野における合理的配慮の提供	137	12.7%
その他	43	4.0%
無回答	291	26.9%
回答者数	1,082	

4 外出について

問 16 あなたは去年1年間（令和7年）にどの程度外出しましたか。（〇はひとつ）

去年1年間の外出頻度は、「1週間に3～6日程度」が33.5%と最も多く、次いで「毎日」が21.0%、「1週間に1～2日程度」が19.3%となっています。



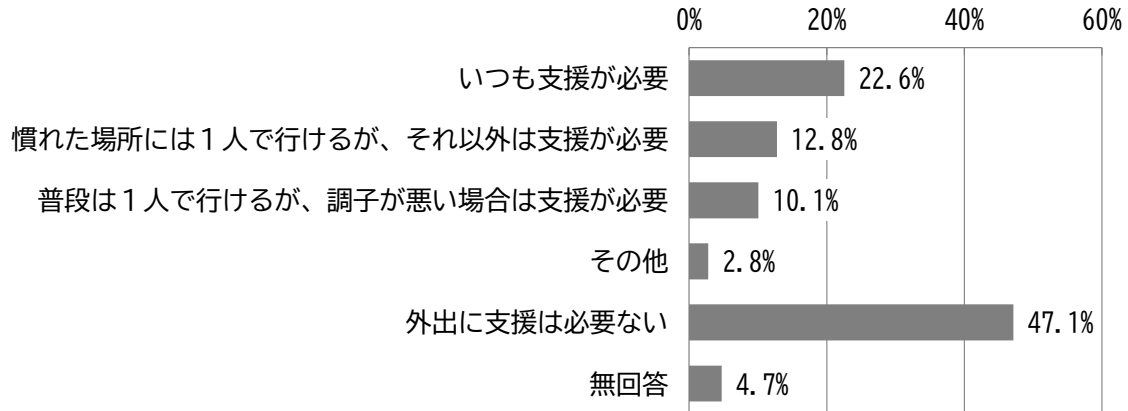
項目	件数	比率
毎日	227	21.0%
1週間に3～6日程度	362	33.5%
1週間に1～2日程度	209	19.3%
2週間に1～2日程度	51	4.7%
1か月に1～2日程度	94	8.7%
その他	40	3.7%
外出していない	54	5.0%
無回答	45	4.2%
回答者数	1,082	100.0%

1) 障がい者調査(成人)

問 17 あなたは外出するときに支援が必要ですか。(○はひとつ)

外出するときに支援が必要かについては、「いつも支援が必要」が 22.6%と最も多く、次いで「慣れた場所には1人で行けるが、それ以外は支援が必要」が 12.8%、「普段は1人で行けるが、調子が悪い場合は支援が必要」が 10.1%となっています。

一方、「外出に支援は必要ない」が 47.1%となっています。

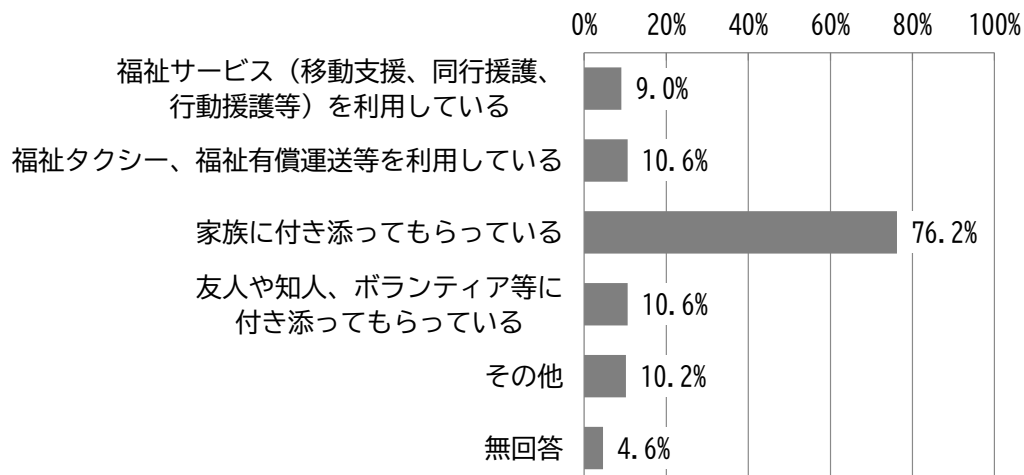


項目	件数	比率
いつも支援が必要	244	22.6%
慣れた場所には1人で行けるが、それ以外は支援が必要	138	12.8%
普段は1人で行けるが、調子が悪い場合は支援が必要	109	10.1%
その他	30	2.8%
外出に支援は必要ない	510	47.1%
無回答	51	4.7%
回答者数	1,082	100.0%

問 18 で外出することに支援が必要と答えた方の回答

問 18 外出することに支援が必要と答えた方にうかがいます。1人で外出できない場合どのように外出していますか。(あてはまるものすべてに○)

1人で外出できない場合の対処方法は、「家族に付き添ってもらっている」が 76.2%と最も多く、次いで「福祉タクシー、福祉有償運送等を利用している」「友人や知人、ボランティア等に付き添ってもらっている」がともに 10.6%となっています。



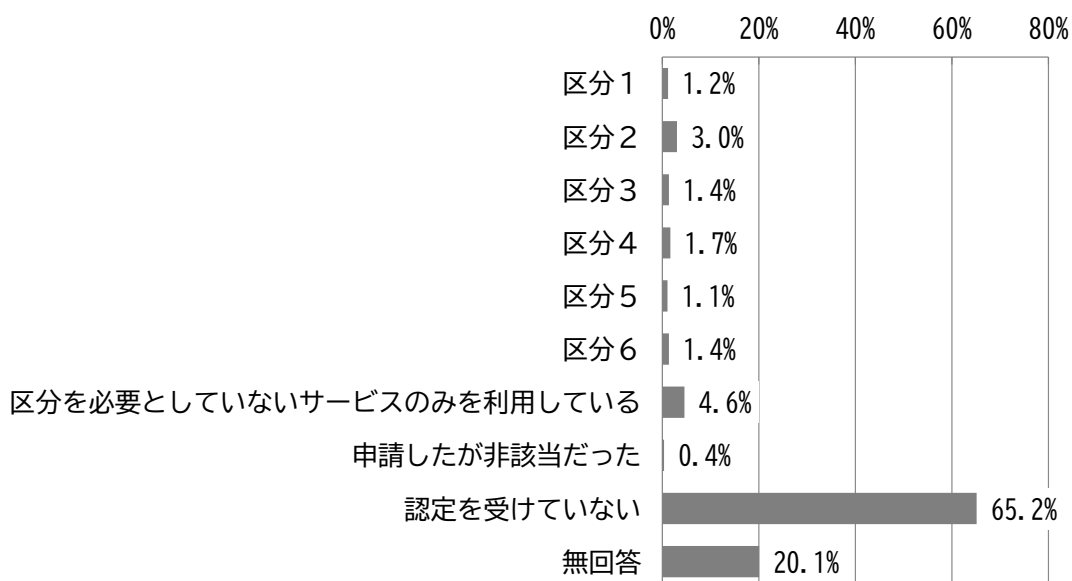
1) 障がい者調査(成人)

項目	件数	比率
福祉サービス（移動支援、同行援護、行動援護等）を利用している	47	9.0%
福祉タクシー、福祉有償運送等を利用している	55	10.6%
家族に付き添ってもらっている	397	76.2%
友人や知人、ボランティア等に付き添ってもらっている	55	10.6%
その他	53	10.2%
無回答	24	4.6%
回答者数	521	

5 サービスや支援の利用について

問 19 あなたは障がい支援区分の認定を受けていますか。（○はひとつ）

障がい支援区分の認定については、「認定を受けていない」が 65.2%と最も多く、次いで「区分を必要としていないサービス（自立訓練、就労移行支援・継続支援・選択支援）のみを利用している」が 4.6%、「区分2」が 3.0%となっています。



項目	件数	比率
区分1	13	1.2%
区分2	33	3.0%
区分3	15	1.4%
区分4	18	1.7%
区分5	12	1.1%
区分6	15	1.4%
区分を必要としていないサービス（自立訓練、就労移行支援・継続支援・選択支援）のみを利用している	50	4.6%
申請したが非該当だった	4	0.4%
認定を受けていない	705	65.2%
無回答	217	20.1%
回答者数	1,082	100.0%

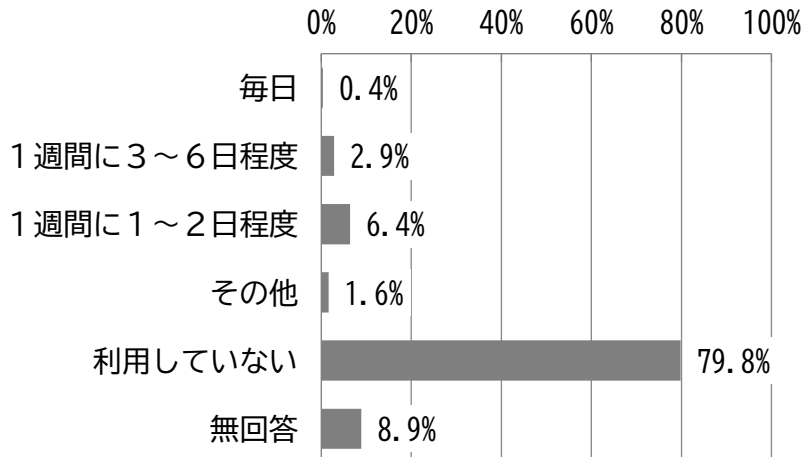
1) 障がい者調査(成人)

「グループホーム等」で暮らしている方を除く

問 20 ホームヘルパー等の訪問系サービス（介護保険のヘルパーも含む）を利用していますか。（○はひとつ）

利用している訪問系サービスの頻度については、「1週間に1～2日程度」が6.4%、「1週間に3～6日程度」が2.9%、「毎日」が0.4%となっています。

一方、「利用していない」が79.8%となっています。

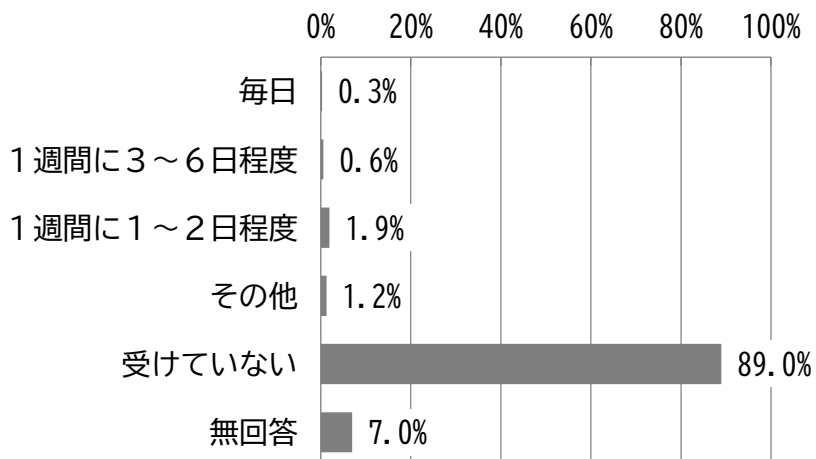


項目	件数	比率
毎日	4	0.4%
1週間に3～6日程度	30	2.9%
1週間に1～2日程度	67	6.4%
その他	17	1.6%
利用していない	834	79.8%
無回答	93	8.9%
回答者数	1,045	100.0%

問 21 ご家族、親戚、近所の人、友人等から支援を受けていますか。（○はひとつ）

ご家族、親戚、近所の人、友人等から支援を受けている頻度については、「1週間に1～2日程度」が1.9%、「1週間に3～6日程度」が0.6%、「毎日」が0.3%となっています。

一方、「受けていない」が89.0%となっています。

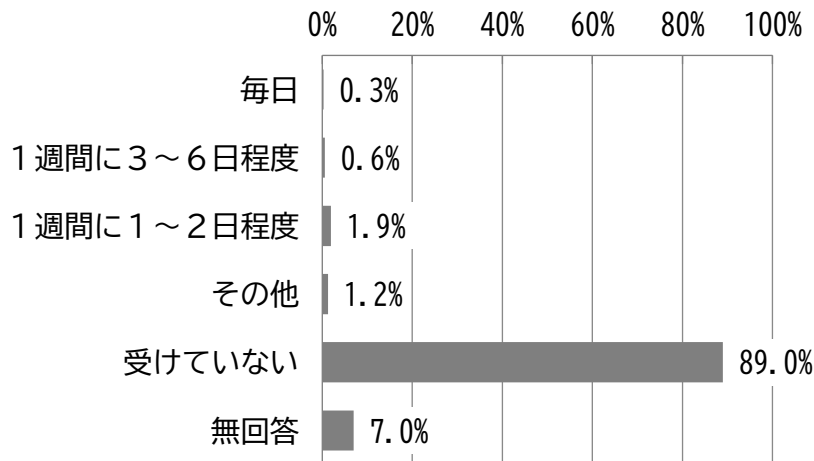


項目	件数	比率
毎日	3	0.3%
1週間に3～6日程度	6	0.6%
1週間に1～2日程度	20	1.9%
その他	13	1.2%
受けていない	930	89.0%
無回答	73	7.0%
回答者数	1,045	100.0%

問 22 その他、有償のボランティア等から支援を受けていますか。(○はひとつ)

有償のボランティア等から支援を受けている頻度については、「1週間に1～2日程度」が1.9%、「1週間に3～6日程度」が0.6%、「毎日」が0.3%となっています。

一方、「受けていない」が89.0%となっています。



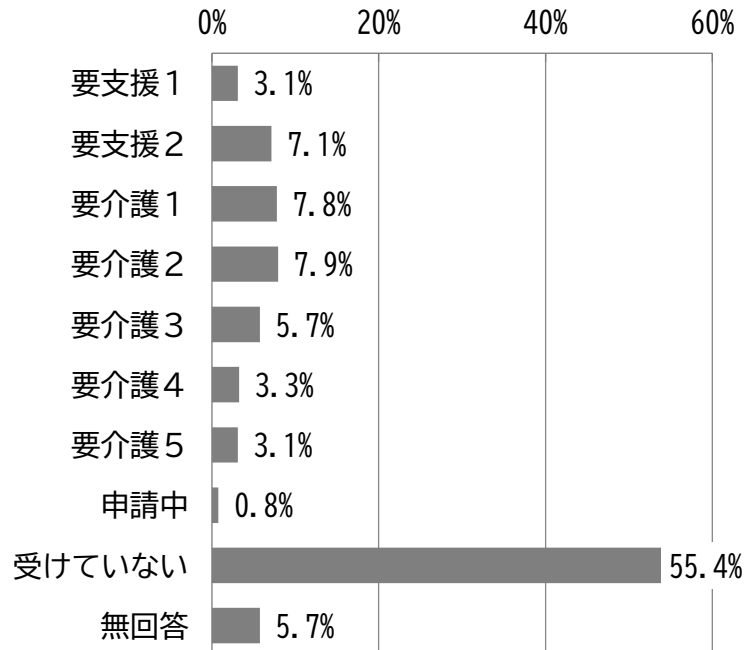
項目	件数	比率
毎日	3	0.3%
1週間に3～6日程度	6	0.6%
1週間に1～2日程度	20	1.9%
その他	13	1.2%
受けていない	930	89.0%
無回答	73	7.0%
回答者数	1,045	100.0%

1) 障がい者調査(成人)

65 歳以上の方の回答

問 23 あなたは要介護認定を受けていますか。(〇はひとつ)

要介護認定を受けているかについては、「受けていない」が 55.4%と最も多く、次いで「要介護 2」が 7.9%、「要介護 1」が 7.8%となっています。

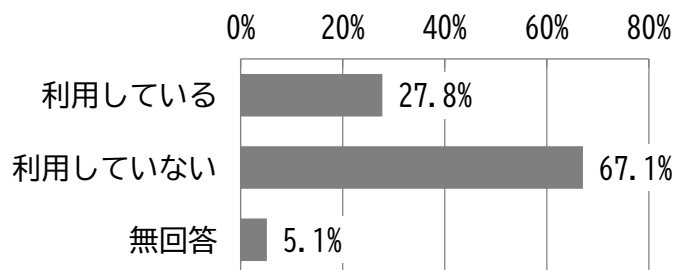


項目	件数	比率
要支援 1	20	3.1%
要支援 2	46	7.1%
要介護 1	50	7.8%
要介護 2	51	7.9%
要介護 3	37	5.7%
要介護 4	21	3.3%
要介護 5	20	3.1%
申請中	5	0.8%
受けていない	357	55.4%
無回答	37	5.7%
回答者数	644	100.0%

65 歳以上の方の回答

問 24 あなたは介護保険サービスを利用していますか。(○はひとつ)

介護保険サービスの利用については、「利用していない」が 67.1%、「利用している」が 27.8% となっています。



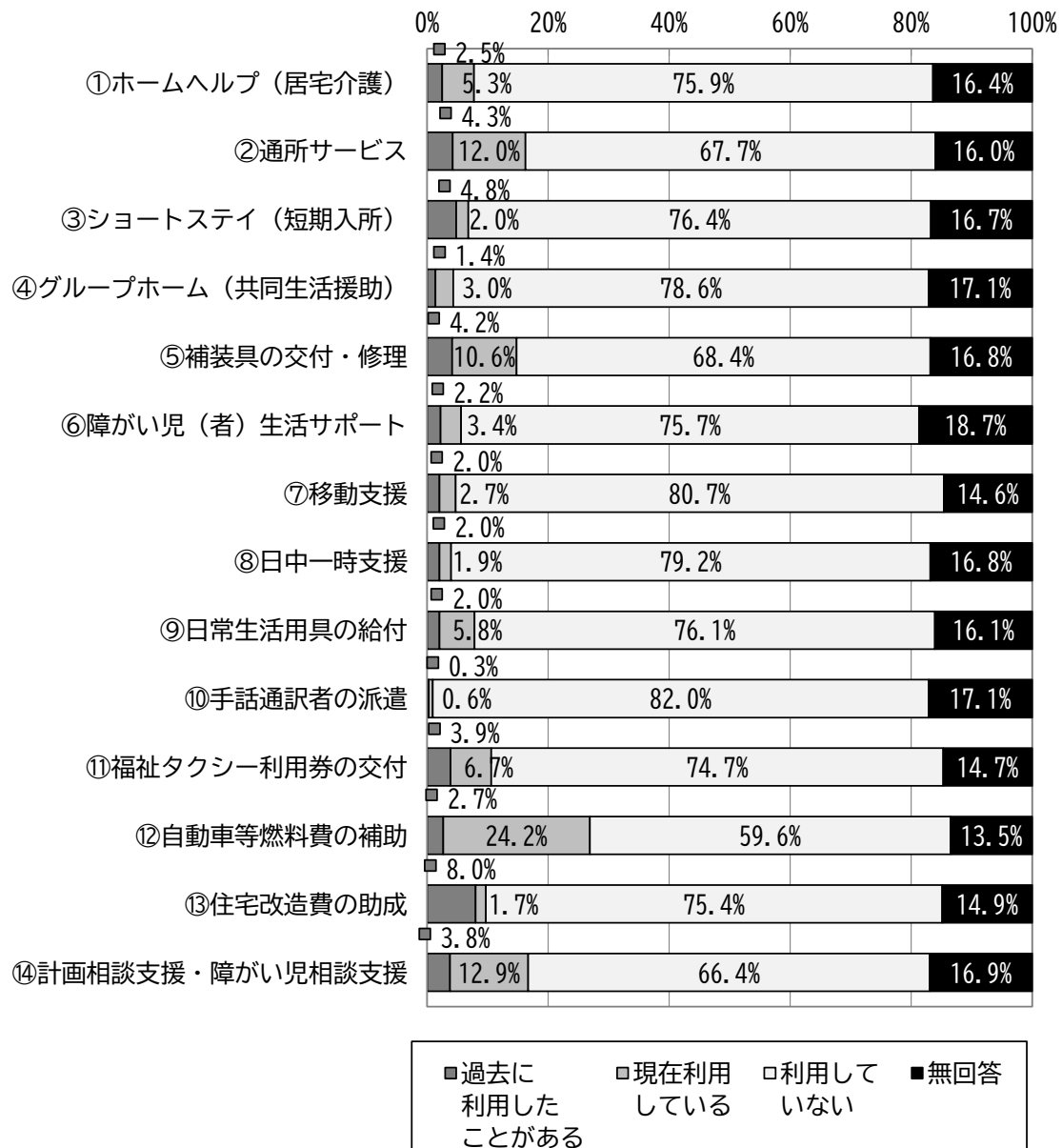
項目	件数	比率
利用している	179	27.8%
利用していない	432	67.1%
無回答	33	5.1%
回答者数	644	100.0%

1) 障がい者調査(成人)

問 25 次のサービスについて、それぞれの利用状況と今後の利用意向についてお答えください。(「(1) 利用状況」と「(2) 今後の利用意向」それぞれ、項目ごとに○はひとつ)

【(1) 利用状況】

サービスの利用状況については、「現在利用している」の項目では、「⑫自動車等燃料費の補助」が24.2%で最も多く、次いで「⑭計画相談支援・障がい児相談支援」が12.9%、「②通所サービス」が12.0%となっています。



1) 障がい者調査(成人)

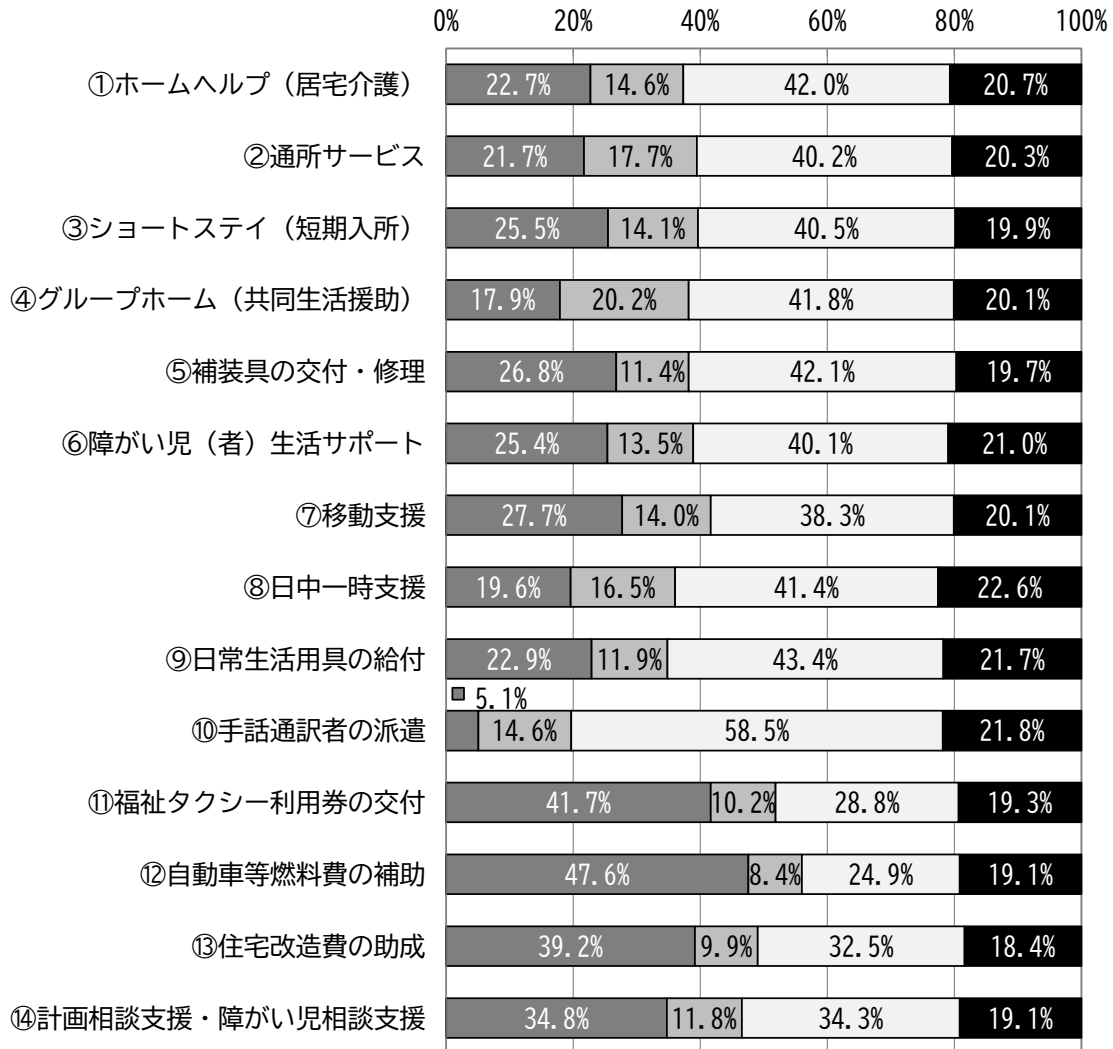
上段：件数 下段：比率

項目	過去に 利用した ことがある	現在利用 している	利用して いない	無回答	合計
①ホームヘルプ（居宅介護）	27	57	821	177	1,082
②通所サービス	46	130	733	173	1,082
③ショートステイ（短期入所）	52	22	827	181	1,082
④グループホーム（共同生活援助）	15	32	850	185	1,082
⑤補装具の交付・修理	45	115	740	182	1,082
⑥障がい児（者）生活サポート	24	37	819	202	1,082
⑦移動支援	22	29	873	158	1,082
⑧日中一時支援	22	21	857	182	1,082
⑨日常生活用具の給付	22	63	823	174	1,082
⑩手話通訳者の派遣	3	7	887	185	1,082
⑪福祉タクシー利用券の交付	42	73	808	159	1,082
⑫自動車等燃料費の補助	29	262	645	146	1,082
⑬住宅改造費の助成	87	18	816	161	1,082
⑭計画相談支援・障がい児相談支援	41	140	718	183	1,082
①ホームヘルプ（居宅介護）	2.5%	5.3%	75.9%	16.4%	100.0%
②通所サービス	4.3%	12.0%	67.7%	16.0%	100.0%
③ショートステイ（短期入所）	4.8%	2.0%	76.4%	16.7%	100.0%
④グループホーム（共同生活援助）	1.4%	3.0%	78.6%	17.1%	100.0%
⑤補装具の交付・修理	4.2%	10.6%	68.4%	16.8%	100.0%
⑥障がい児（者）生活サポート	2.2%	3.4%	75.7%	18.7%	100.0%
⑦移動支援	2.0%	2.7%	80.7%	14.6%	100.0%
⑧日中一時支援	2.0%	1.9%	79.2%	16.8%	100.0%
⑨日常生活用具の給付	2.0%	5.8%	76.1%	16.1%	100.0%
⑩手話通訳者の派遣	0.3%	0.6%	82.0%	17.1%	100.0%
⑪福祉タクシー利用券の交付	3.9%	6.7%	74.7%	14.7%	100.0%
⑫自動車等燃料費の補助	2.7%	24.2%	59.6%	13.5%	100.0%
⑬住宅改造費の助成	8.0%	1.7%	75.4%	14.9%	100.0%
⑭計画相談支援・障がい児相談支援	3.8%	12.9%	66.4%	16.9%	100.0%

1) 障がい者調査(成人)

【(2) 今後の利用意向】

サービスの今後の利用意向については、「利用したい」項目は、「⑫自動車等燃料費の補助」が47.6%で最も多く、次いで「⑪福祉タクシー利用券の交付」が41.7%、「⑬住宅改造費の助成」が39.2%となっています。



■利用したい □利用しない □利用の必要がない ■無回答

1) 障がい者調査(成人)

上段：件数 下段：比率

項目	利用したい	利用しない	利用の 必要がない	無回答	合計
①ホームヘルプ（居宅介護）	246	158	454	224	1,082
②通所サービス	235	192	435	220	1,082
③ショートステイ（短期入所）	276	153	438	215	1,082
④グループホーム（共同生活援助）	194	219	452	217	1,082
⑤補装具の交付・修理	290	123	456	213	1,082
⑥障がい児（者）生活サポート	275	146	434	227	1,082
⑦移動支援	300	151	414	217	1,082
⑧日中一時支援	212	178	448	244	1,082
⑨日常生活用具の給付	248	129	470	235	1,082
⑩手話通訳者の派遣	55	158	633	236	1,082
⑪福祉タクシー利用券の交付	451	110	312	209	1,082
⑫自動車等燃料費の補助	515	91	269	207	1,082
⑬住宅改造費の助成	424	107	352	199	1,082
⑭計画相談支援・障がい児相談支援	376	128	371	207	1,082
①ホームヘルプ（居宅介護）	22.7%	14.6%	42.0%	20.7%	100.0%
②通所サービス	21.7%	17.7%	40.2%	20.3%	100.0%
③ショートステイ（短期入所）	25.5%	14.1%	40.5%	19.9%	100.0%
④グループホーム（共同生活援助）	17.9%	20.2%	41.8%	20.1%	100.0%
⑤補装具の交付・修理	26.8%	11.4%	42.1%	19.7%	100.0%
⑥障がい児（者）生活サポート	25.4%	13.5%	40.1%	21.0%	100.0%
⑦移動支援	27.7%	14.0%	38.3%	20.1%	100.0%
⑧日中一時支援	19.6%	16.5%	41.4%	22.6%	100.0%
⑨日常生活用具の給付	22.9%	11.9%	43.4%	21.7%	100.0%
⑩手話通訳者の派遣	5.1%	14.6%	58.5%	21.8%	100.0%
⑪福祉タクシー利用券の交付	41.7%	10.2%	28.8%	19.3%	100.0%
⑫自動車等燃料費の補助	47.6%	8.4%	24.9%	19.1%	100.0%
⑬住宅改造費の助成	39.2%	9.9%	32.5%	18.4%	100.0%
⑭計画相談支援・障がい児相談支援	34.8%	11.8%	34.3%	19.1%	100.0%

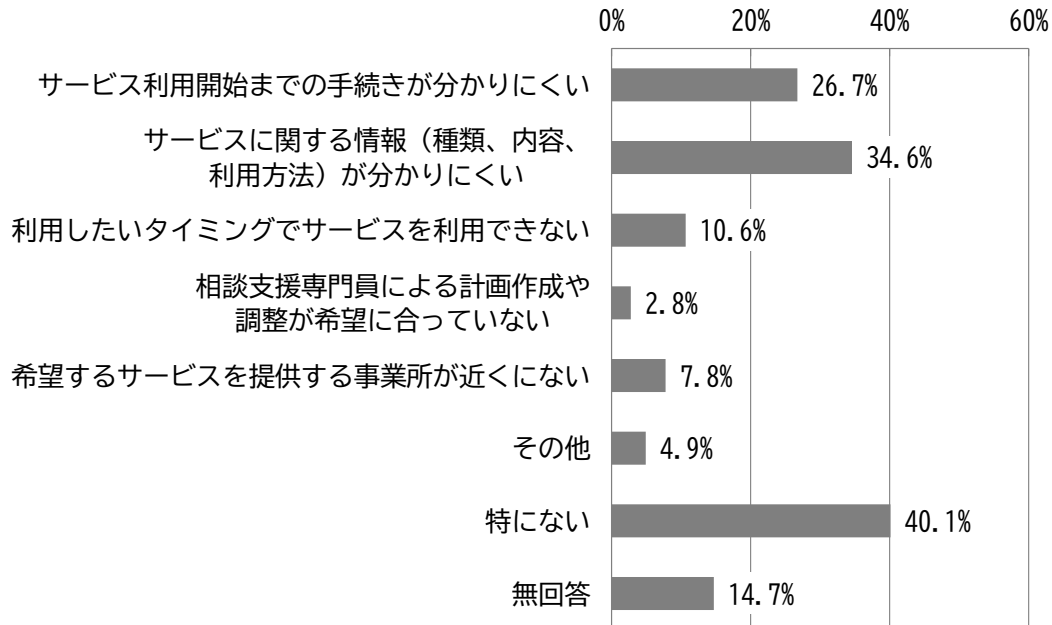
1) 障がい者調査(成人)

サービス内容一覧

サービス名	内容
①ホームヘルプ（居宅介護）	日常生活に介助者を必要としている方の家庭にホームヘルパーを派遣し、介助や家事の手伝いをします。
②通所サービス	施設に通所して、介護を受けたり、自立に必要な作業訓練、生活指導等を行います。
③ショートステイ（短期入所）	保護者または家族が病気等の理由により、介護できなくなった場合に一時的に施設で保護等を行います。
④グループホーム （共同生活援助）	食事や身のまわりの面倒を見てくれる人の援助を受けながら、共同生活を行います。
⑤補装具の交付・修理	義肢、車いす、補聴器などの補装具を交付したり、修理したりします。
⑥障がい児（者）生活サポート	民間のサービス団体を利用し、介護人の派遣、送迎、外出援助などの介護サービスを行います。
⑦移動支援	社会生活上不可欠な外出が必要な場合に、ヘルパーによる外出時の支援を行います。
⑧日中一時支援	日中における活動の場を確保し、介護する家族の就労支援及び一時的な休息を目的とします。
⑨日常生活用具の給付	重度の障がい者等に、自立した日常生活を支援する用具等の給付を行います。
⑩手話通訳者の派遣	市役所・学校・病院等において、相談、手続き等の通訳を行います。
⑪福祉タクシー利用券の交付	タクシーの初乗運賃相当額を助成します。
⑫自動車等燃料費の補助	自家用自動車の燃料費に要する経費の一部を補助します。
⑬住宅改造費の助成	住宅改善工事等に要する費用を限度額内で助成します。
⑭計画相談支援・障がい児相談支援	サービス等利用計画についての相談及び作成などの支援が必要と認められる場合に、自立した生活を支えるため、障がい者（児）の抱える課題の解決や適切なサービス利用に向けてケアマネジメントにより支援していくものです。

問 26 障害福祉サービスを利用する際の手続きや環境について、改善してほしいと思うことをお答えください。(あてはまるものすべてに○)

障害福祉サービスを利用する際の手続きや環境について、改善してほしいことは、「サービスに関する情報（種類、内容、利用方法）が分かりにくい」が 34.6%と最も多く、次いで「サービス利用開始までの手続きが分かりにくい」が 26.7%、「利用したいタイミングでサービスを利用できない」が 10.6%となっています。



項目	件数	比率
サービス利用開始までの手続きが分かりにくい	289	26.7%
サービスに関する情報（種類、内容、利用方法）が分かりにくい	374	34.6%
利用したいタイミングでサービスを利用できない	115	10.6%
相談支援専門員による計画作成や調整が希望に合っていない	30	2.8%
希望するサービスを提供する事業所が近くにない	84	7.8%
その他	53	4.9%
特にない	434	40.1%
無回答	159	14.7%
回答者数	1,082	

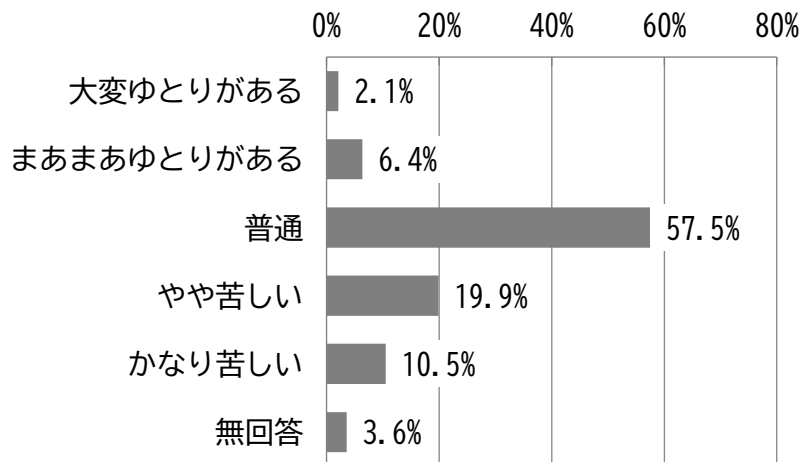
1) 障がい者調査(成人)

6 生活について

問 27 あなたは現在の暮らしの状況についてどのように感じていますか。(〇はひとつ)

現在の暮らしの状況については、「普通」が 57.5%と最も多くなっています。

「やや苦しい」「苦しい」を合わせた『苦しい』が 30.4%、「大変ゆとりがある」「まあまあゆとりがある」を合わせた『ゆとりがある』は 8.5%となっています。

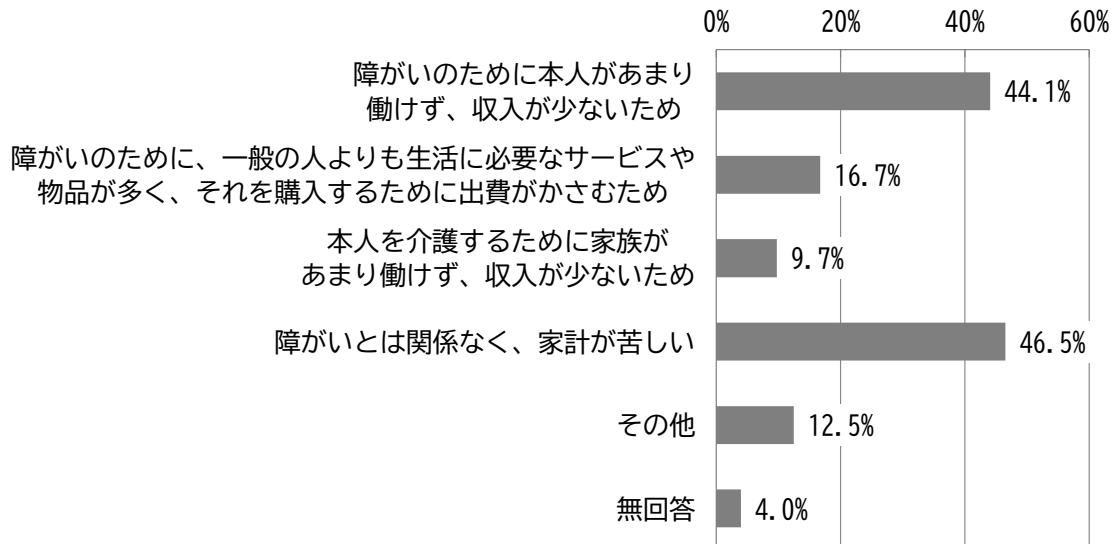


項目	件数	比率
大変ゆとりがある	23	2.1%
まあまあゆとりがある	69	6.4%
普通	622	57.5%
やや苦しい	215	19.9%
かなり苦しい	114	10.5%
無回答	39	3.6%
合計	1,082	100.0%

問 27 で「やや苦しい」「苦しい」と回答した方の回答

問 28 現在の暮らしの状況が苦しいと答えた方にうかがいます。暮らしが苦しいと感じる理由は何ですか。(あてはまるものすべてに○)

暮らしが苦しいと感じる理由については、「障がいとは関係なく、家計が苦しい」が 46.5%と最も多く、次いで「障がいのために本人があまり働けず、収入が少ないため」が 44.1%、「障がいのために、一般の人よりも生活に必要なサービスや物品が多く、それを購入するために出費がかさむため」が 16.7%となっています。

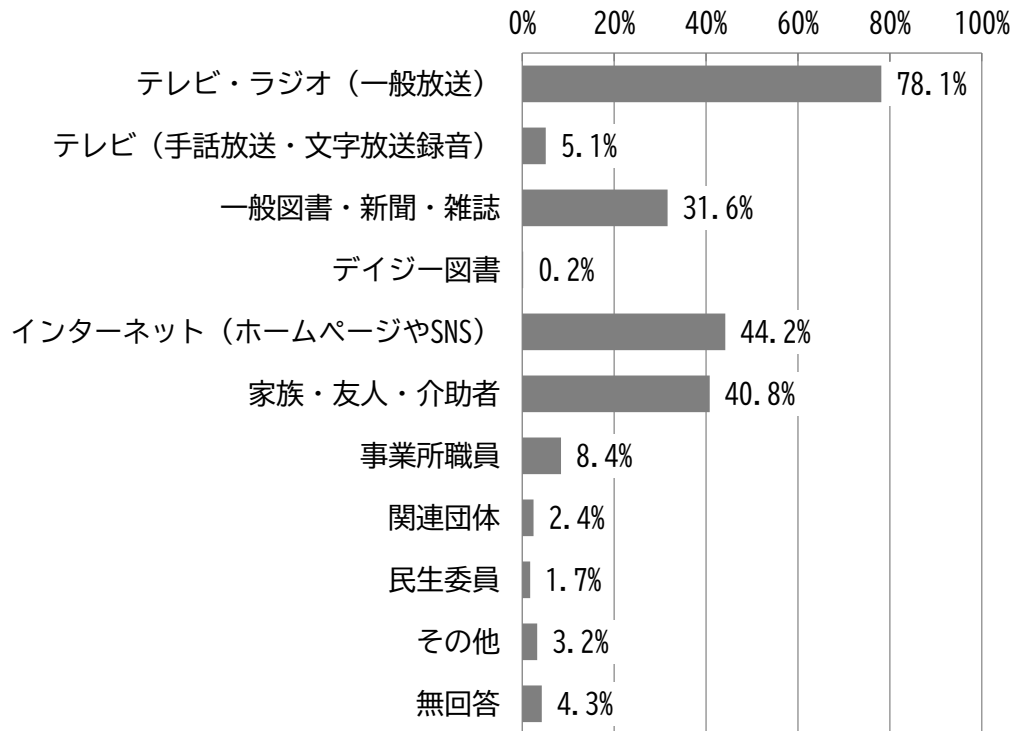


項目	件数	比率
障がいのために本人があまり働けず、収入が少ないため	145	44.1%
障がいのために、一般の人よりも生活に必要なサービスや物品が多く、それを購入するために出費がかさむため	55	16.7%
本人を介護するために家族があまり働けず、収入が少ないため	32	9.7%
障がいとは関係なく、家計が苦しい	153	46.5%
その他	41	12.5%
無回答	13	4.0%
回答者数	329	

1) 障がい者調査(成人)

問 29 あなたは、日常的にどのような方法により情報を入手していますか。(あてはまるものすべてに○)

日常的な情報の入手方法については、「テレビ・ラジオ（一般放送）」が 78.1%と最も多く、次いで「インターネット（ホームページや SNS）」が 44.2%、「家族・友人・介助者」が 40.8%となっています。

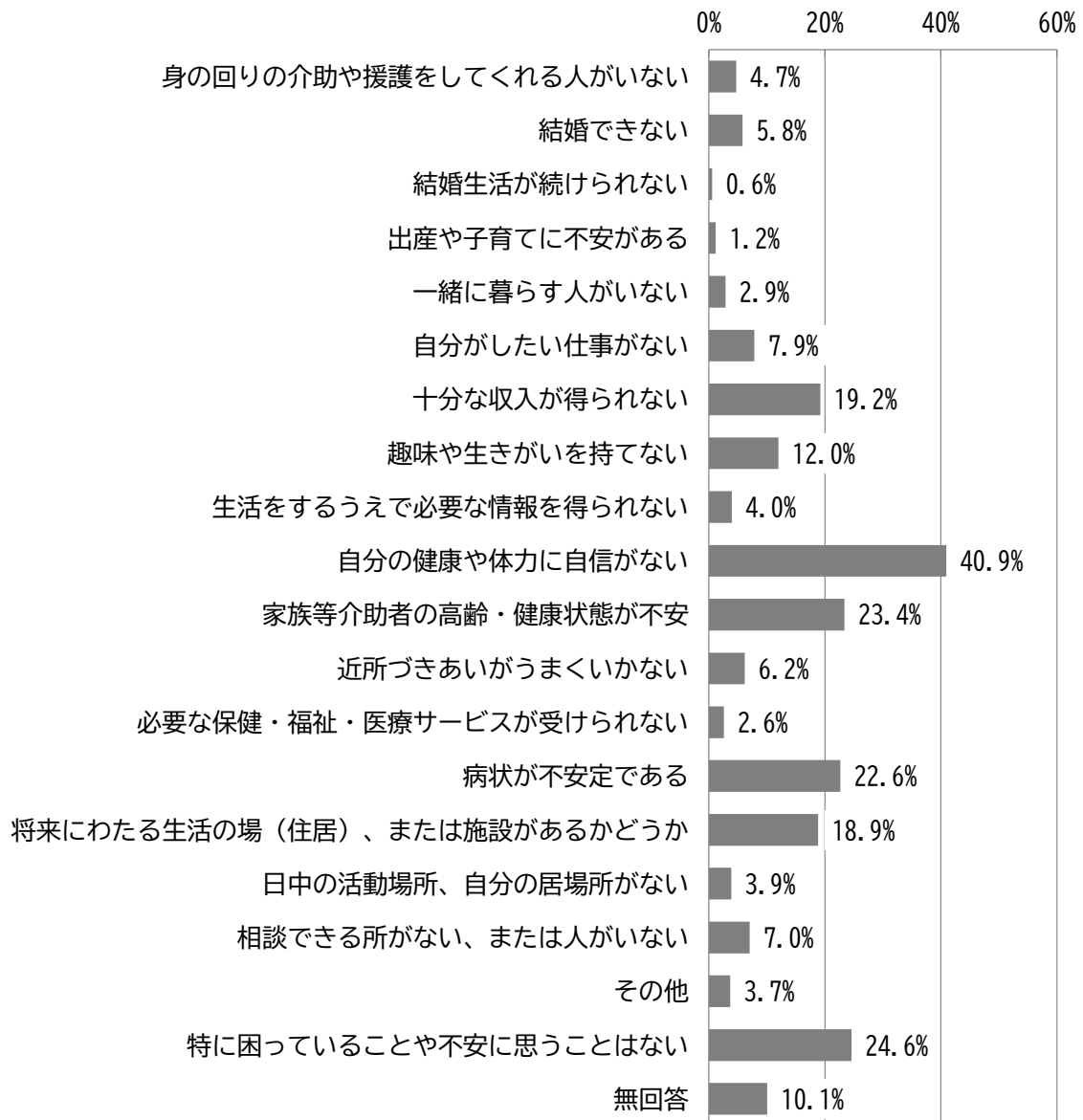


項目	件数	比率
テレビ・ラジオ（一般放送）	845	78.1%
テレビ（手話放送・文字放送録音）	55	5.1%
一般図書・新聞・雑誌	342	31.6%
デージー図書	2	0.2%
インターネット（ホームページやSNS）	478	44.2%
家族・友人・介助者	441	40.8%
事業所職員	91	8.4%
関連団体	26	2.4%
民生委員	18	1.7%
その他	35	3.2%
無回答	46	4.3%
回答者数	1,082	

問 30 現在の生活で困っていることや不安に思っていることがありますか。(あてはまるものすべてに○)

現在の生活で困っていることや不安に思っていることについては、「自分の健康や体力に自信がない」が 40.9%と最も多く、次いで「家族等介助者の高齢・健康状態が不安」が 23.4%、「病状が不安定である」が 22.6%となっています。

一方、「特に困っていることや不安に思うことはない」は 24.6%となっています。

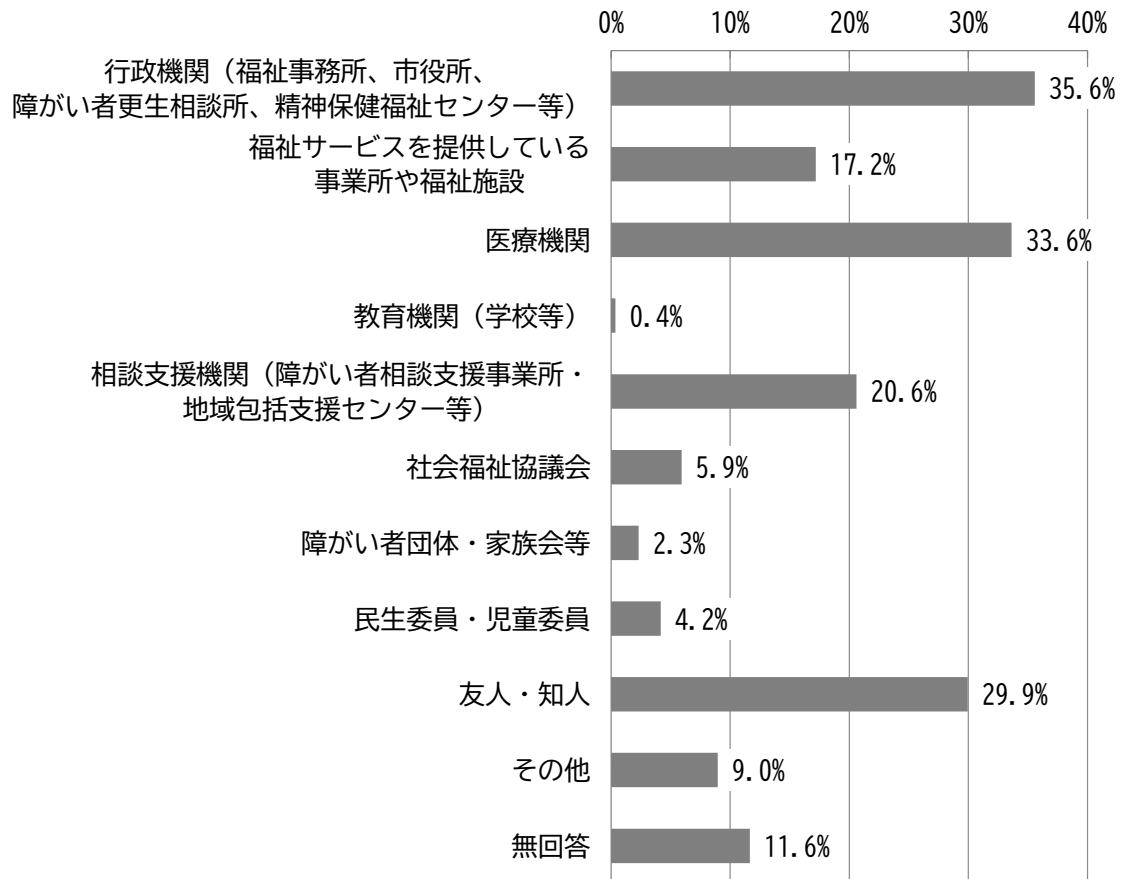


1) 障がい者調査(成人)

項目	件数	比率
身の回りの介助や援護をしてくれる人がいない	51	4.7%
結婚できない	63	5.8%
結婚生活が続けられない	6	0.6%
出産や子育てに不安がある	13	1.2%
一緒に暮らす人がいない	31	2.9%
自分がしたい仕事がない	85	7.9%
十分な収入が得られない	208	19.2%
趣味や生きがいを持ってない	130	12.0%
生活をするうえで必要な情報を得られない	43	4.0%
自分の健康や体力に自信がない	443	40.9%
家族等介助者の高齢・健康状態が不安	253	23.4%
近所づきあいがうまくいかない	67	6.2%
必要な保健・福祉・医療サービスが受けられない	28	2.6%
病状が不安定である	245	22.6%
将来にわたる生活の場(住居)、または施設があるかどうか	204	18.9%
日中の活動場所、自分の居場所がない	42	3.9%
相談できる所がない、または人がいない	76	7.0%
その他	40	3.7%
特に困っていることや不安に思うことはない	266	24.6%
無回答	109	10.1%
回答者数	1,082	

問 31 あなたは、困ったことがあったときにご家族や親戚以外でだれに相談しますか。(あてはまるものすべてに○)

相談相手については、「行政機関（福祉事務所、市役所、障がい者更生相談所、精神保健福祉センター等）」が 35.6%と最も多く、次いで「医療機関」が 33.6%、「友人・知人」が 29.9%となっています。

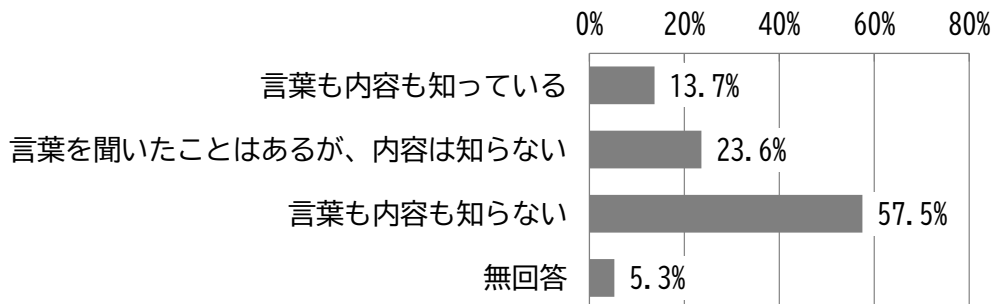


項目	件数	比率
行政機関（福祉事務所、市役所、障がい者更生相談所、精神保健福祉センター等）	385	35.6%
福祉サービスを提供している事業所や福祉施設	186	17.2%
医療機関	364	33.6%
教育機関（学校等）	4	0.4%
相談支援機関（障がい者相談支援事業所・地域包括支援センター等）	223	20.6%
社会福祉協議会	64	5.9%
障がい者団体・家族会等	25	2.3%
民生委員・児童委員	45	4.2%
友人・知人	324	29.9%
その他	97	9.0%
無回答	126	11.6%
回答者数	1,082	

1) 障がい者調査(成人)

問 32 「避難行動要支援者支援制度」を知っていますか。(〇はひとつ)

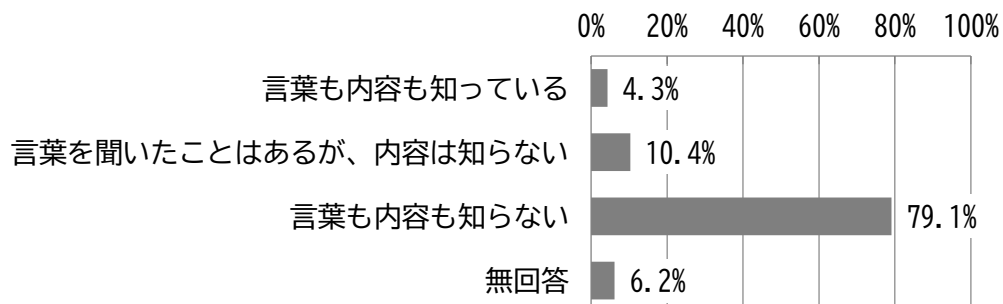
「避難行動要支援者支援制度」の認知度は、「言葉も内容も知らない」が 57.5%と最も多く、次いで「言葉を聞いたことはあるが、内容は知らない」が 23.6%、「言葉も内容も知っている」が 13.7%となっています。



項目	件数	比率
言葉も内容も知っている	148	13.7%
言葉を聞いたことはあるが、内容は知らない	255	23.6%
言葉も内容も知らない	622	57.5%
無回答	57	5.3%
合計	1,082	100.0%

問 33 「マイ・タイムライン」を知っていますか。(〇はひとつ)

「マイ・タイムライン」の認知度は、「言葉も内容も知らない」が 79.1%と最も多く、次いで「言葉を聞いたことはあるが、内容は知らない」が 10.4%、「言葉も内容も知っている」が 4.3%となっています。

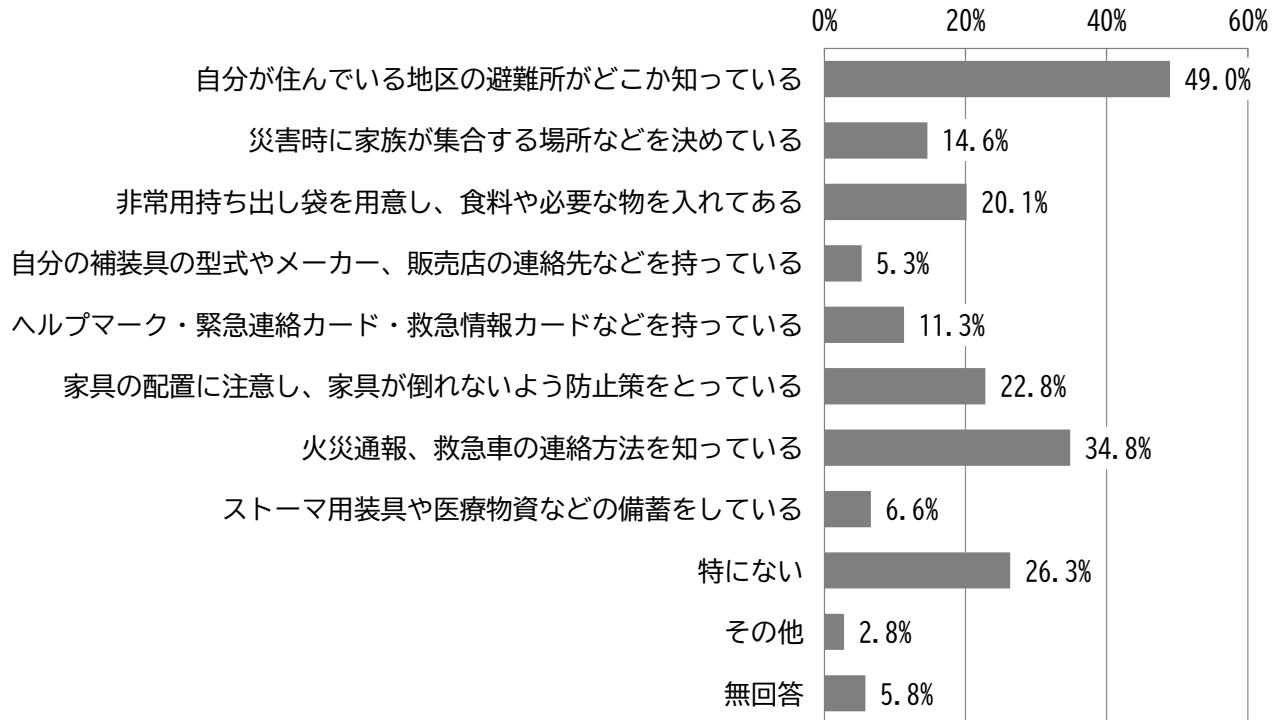


項目	件数	比率
言葉も内容も知っている	47	4.3%
言葉を聞いたことはあるが、内容は知らない	112	10.4%
言葉も内容も知らない	856	79.1%
無回答	67	6.2%
合計	1,082	100.0%

問 34 災害に備えて、行っていることについてお答えください。(あてはまるものすべてに○)

災害の備えについては、「自分が住んでいる地区の避難所がどこか知っている」が 49.0%と最も多く、次いで「火災通報、救急車の連絡方法を知っている」が 34.8%、「家具の配置に注意し、家具が倒れないよう防止策をとっている」が 22.8%となっています。

一方、「特にない」は 26.3%となっています。

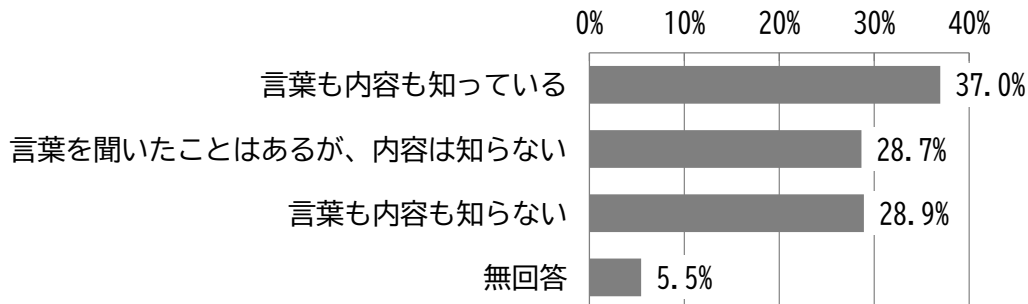


項目	件数	比率
自分が住んでいる地区の避難所がどこか知っている	530	49.0%
災害時に家族が集合する場所などを決めている	158	14.6%
非常用持ち出し袋を用意し、食料や必要な物を入れてある	218	20.1%
自分の補装具の型式やメーカー、販売店の連絡先などを持っている	57	5.3%
ヘルプマーク・緊急連絡カード・救急情報カードなどを持っている	122	11.3%
家具の配置に注意し、家具が倒れないよう防止策をとっている	247	22.8%
火災通報、救急車の連絡方法を知っている	377	34.8%
ストーマ用装具や医療物資などの備蓄をしている	71	6.6%
特にない	285	26.3%
その他	30	2.8%
無回答	63	5.8%
回答者数	1,082	

1) 障がい者調査(成人)

問 35 成年後見制度を知っていますか。(○はひとつ)

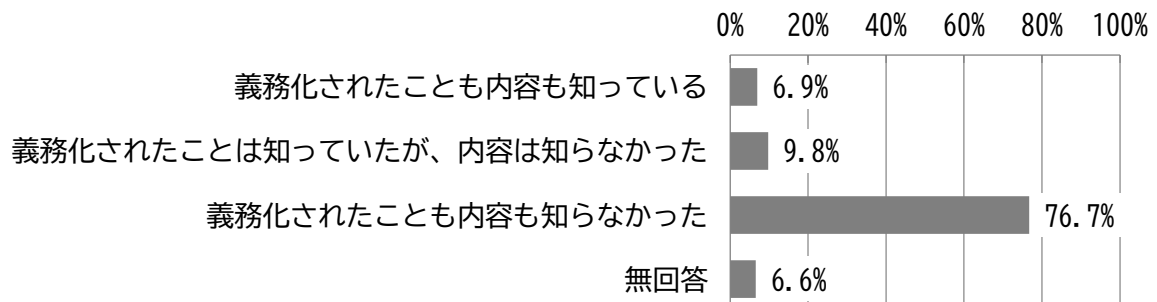
成年後見制度の認知度は、「言葉も内容も知っている」が 37.0%と最も多く、次いで「言葉も内容も知らない」が 28.9%、「言葉を聞いたことはあるが、内容は知らない」が 28.7%となっています。



項目	件数	比率
言葉も内容も知っている	400	37.0%
言葉を聞いたことはあるが、内容は知らない	310	28.7%
言葉も内容も知らない	313	28.9%
無回答	59	5.5%
合計	1,082	100.0%

問 36 令和6年4月から、民間事業者においても障がいのある方への「合理的配慮の提供」が義務化されたことを知っていますか。(○はひとつ)

「合理的配慮の提供」が義務化の認知度は、「義務化されたことも内容も知らなかった」が 76.7%と最も多く、次いで「義務化されたことは知っていたが、内容は知らなかった」が 9.8%、「義務化されたことも内容も知っている」が 6.9%となっています。

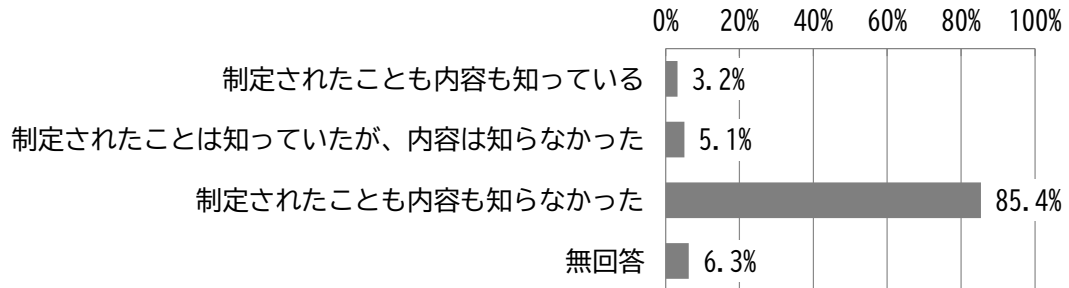


項目	件数	比率
義務化されたことも内容も知っている	75	6.9%
義務化されたことは知っていたが、内容は知らなかった	106	9.8%
義務化されたことも内容も知らなかった	830	76.7%
無回答	71	6.6%
合計	1,082	100.0%

問 37 日高市では令和7年4月1日に「日高市手話言語条例」が制定されました。

あなたにあてはまるものを選んでください。(〇はひとつ)

「日高市手話言語条例」が制定された認知度については、「制定されたことも内容も知らなかった」が85.4%と最も多く、次いで「制定されたことは知っていたが、内容は知らなかった」が5.1%、「制定されたことも内容も知っている」が3.2%となっています。

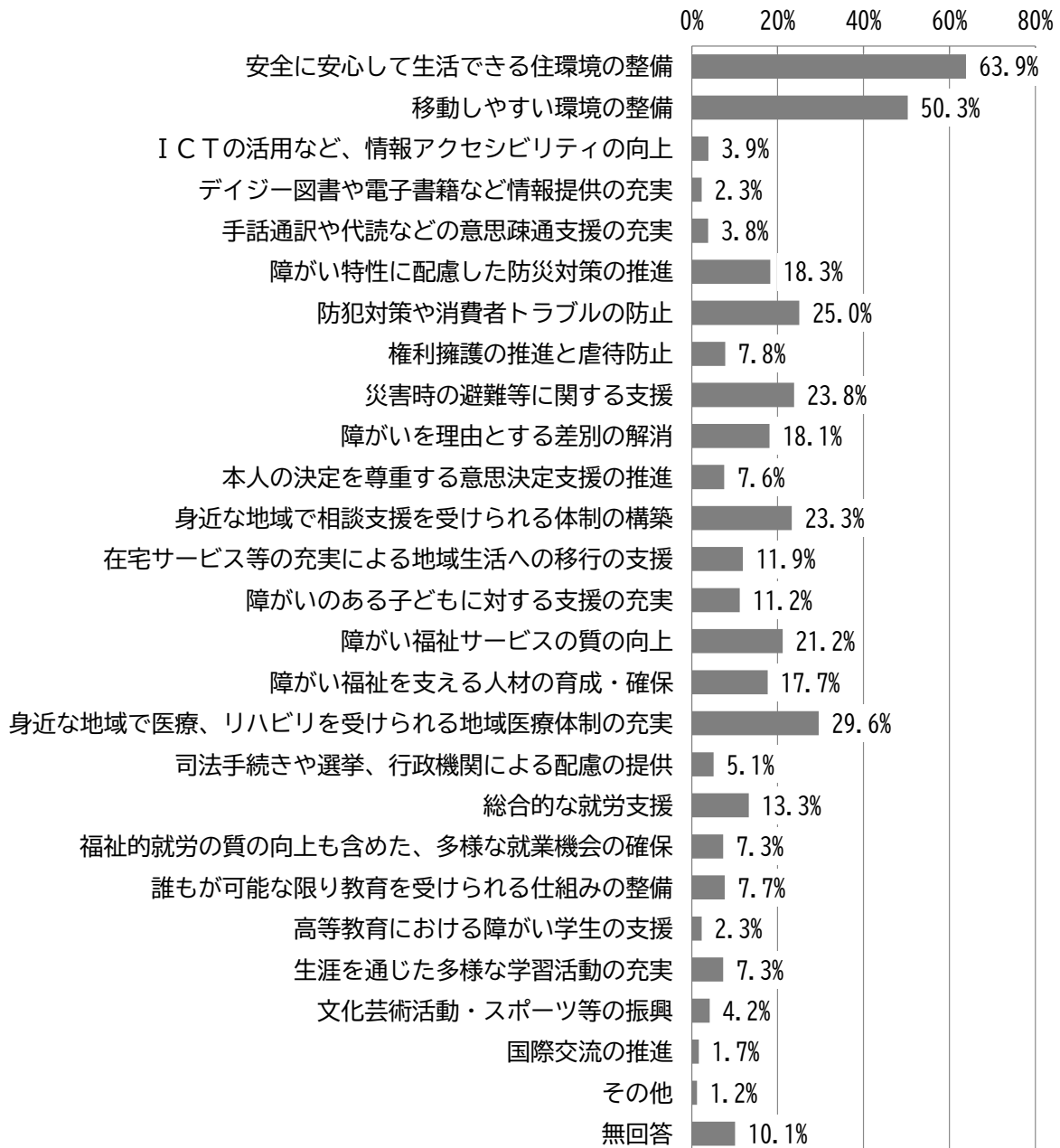


項目	件数	比率
制定されたことも内容も知っている	35	3.2%
制定されたことは知っていたが、内容は知らなかった	55	5.1%
制定されたことも内容も知らなかった	924	85.4%
無回答	68	6.3%
合計	1,082	100.0%

1) 障がい者調査(成人)

問 38 障がいの有無にかかわらず、住みよいまちをつくるためには、どのようなことが重要だと思いますか。(あてはまるもの5つまで、下記の回答欄に数字を記入)

住みよいまちをつくるために重要なことは、「安全に安心して生活できる住環境の整備」が63.9%と最も多く、次いで「移動しやすい環境の整備」が50.3%、「身近な地域で医療、リハビリを受けられる地域医療体制の充実」が29.6%となっています。



1) 障がい者調査(成人)

項目	件数	比率
安全に安心して生活できる住環境の整備	691	63.9%
移動しやすい環境の整備	544	50.3%
I C Tの活用など、情報アクセシビリティの向上	42	3.9%
デージー図書や電子書籍など情報提供の充実	25	2.3%
手話通訳や代読などの意思疎通支援の充実	41	3.8%
障がい特性に配慮した防災対策の推進	198	18.3%
防犯対策や消費者トラブルの防止	271	25.0%
権利擁護の推進と虐待防止	84	7.8%
災害時の避難等に関する支援	258	23.8%
障がいを理由とする差別の解消	196	18.1%
本人の決定を尊重する意思決定支援の推進	82	7.6%
身近な地域で相談支援を受けられる体制の構築	252	23.3%
在宅サービス等の充実による地域生活への移行の支援	129	11.9%
障がいのある子どもに対する支援の充実	121	11.2%
障がい福祉サービスの質の向上	229	21.2%
障がい福祉を支える人材の育成・確保	191	17.7%
身近な地域で医療、リハビリを受けられる地域医療体制の充実	320	29.6%
司法手続きや選挙、行政機関による配慮の提供	55	5.1%
総合的な就労支援	144	13.3%
福祉的就労の質の向上も含めた、多様な就業機会の確保	79	7.3%
誰もが可能な限り教育を受けられる仕組みの整備	83	7.7%
高等教育における障がい学生の支援	25	2.3%
生涯を通じた多様な学習活動の充実	79	7.3%
文化芸術活動・スポーツ等の振興	45	4.2%
国際交流の推進	18	1.7%
その他	13	1.2%
無回答	109	10.1%
回答者数	1,082	

1) 障がい者調査(成人)

7 自由意見

問 39 障がいのある方のために特に力を入れるべき施策や、障がいに関する市へのご意見などがありましたら、ご自由にお書きください。

※別冊「記述集」を参照

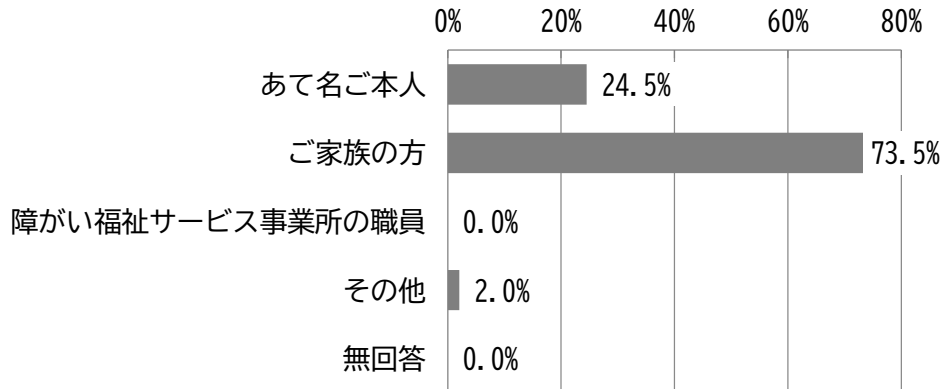
2)障がい者調査(障がい児)

1 ご本人について

問1 この調査票にご回答いただくのはどなたですか。(○はひとつ)

調査票の回答者は、「あて名ご本人」が24.5%、「ご家族の方」が73.5%となっています。

「障がい福祉サービス事業所の職員」による回答はありませんでした。

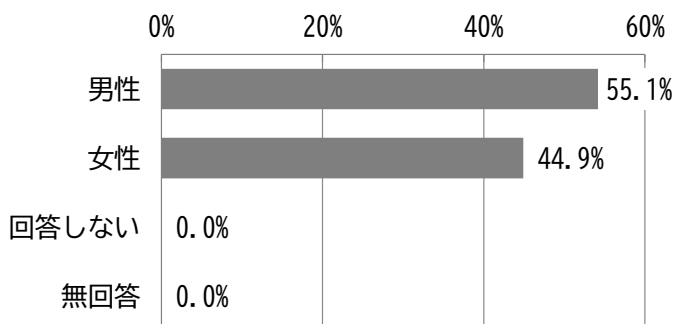


項目	件数	比率
あて名ご本人	12	24.5%
ご家族の方	36	73.5%
障がい福祉サービス事業所の職員	0	0.0%
その他	1	2.0%
無回答	0	0.0%
合計	49	100.0%

※限られた回答数に基づく結果であり、本結果は全体の傾向を示すものではありません。(以下同様)

問2 あなたの性別をお聞きします。(○はひとつ)

性別は、「男性」が55.1%、「女性」が44.9%となっています。

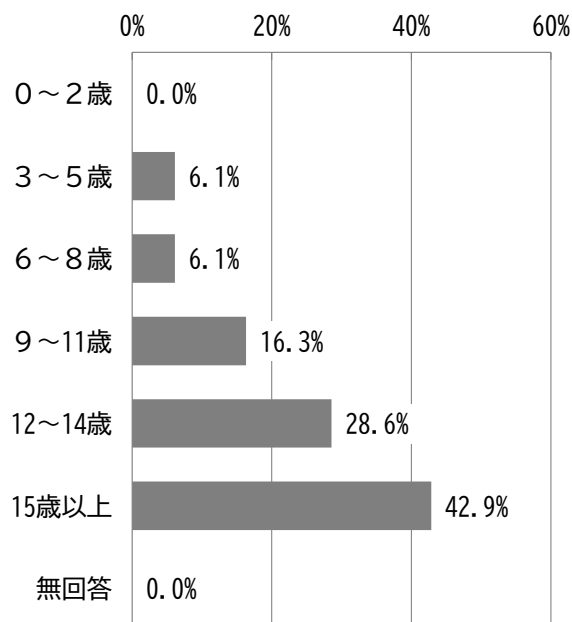


項目	件数	比率
男性	27	55.1%
女性	22	44.9%
回答しない	0	0.0%
無回答	0	0.0%
合計	49	100.0%

2) 障がい者調査(障がい児)

問3 あなたの年齢をお聞きます。〔令和8年1月1日現在の満年齢〕(○はひとつ)

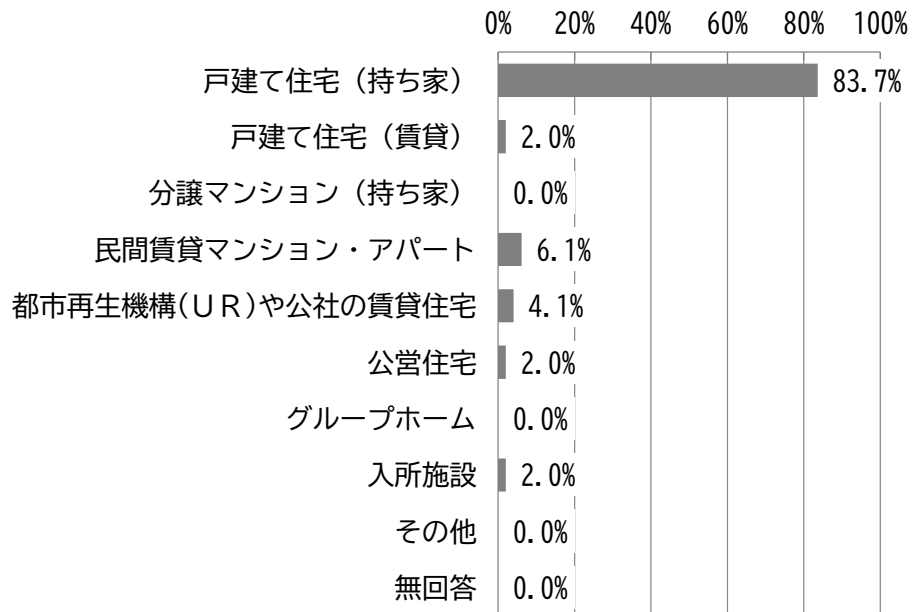
年齢は、「15歳以上」が42.9%と最も多く、次いで「12～14歳」が28.6%、「9～11歳」が16.3%となっています。



項目	件数	比率
0～2歳	0	0.0%
3～5歳	3	6.1%
6～8歳	3	6.1%
9～11歳	8	16.3%
12～14歳	14	28.6%
15歳以上	21	42.9%
無回答	0	0.0%
合計	49	100.0%

問4 あなたのお住まいの種類をお聞きます。(〇はひとつ)

お住まいは、「戸建て住宅（持ち家）」が83.7%と最も多く、次いで「民間賃貸マンション・アパート」が6.1%、「都市再生機構（UR）や公社の賃貸住宅」が4.1%となっています。

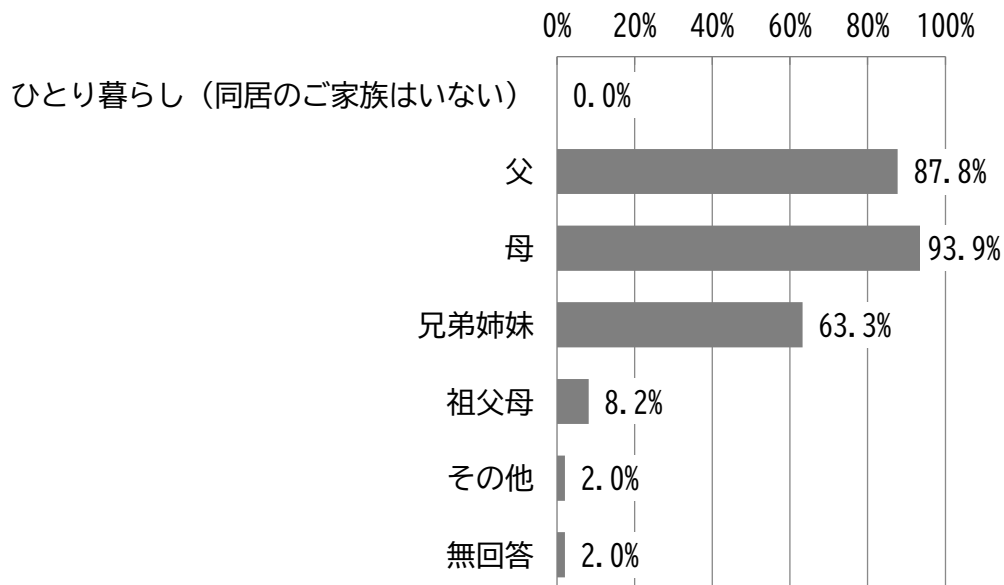


項目	件数	比率
戸建て住宅（持ち家）	41	83.7%
戸建て住宅（賃貸）	1	2.0%
分譲マンション（持ち家）	0	0.0%
民間賃貸マンション・アパート	3	6.1%
都市再生機構（UR）や公社の賃貸住宅	2	4.1%
公営住宅	1	2.0%
グループホーム	0	0.0%
入所施設	1	2.0%
その他	0	0.0%
無回答	0	0.0%
合計	49	100.0%

2) 障がい者調査(障がい児)

問5 あなたと一緒に生活している人（同居のご家族）をお聞きします。あなたから見た続き柄で教えてください。（あてはまるものすべてに○）

一緒に生活している人は、「母」が93.9%と最も多く、次いで「父」が87.8%、「兄弟姉妹」が63.3%となっています。

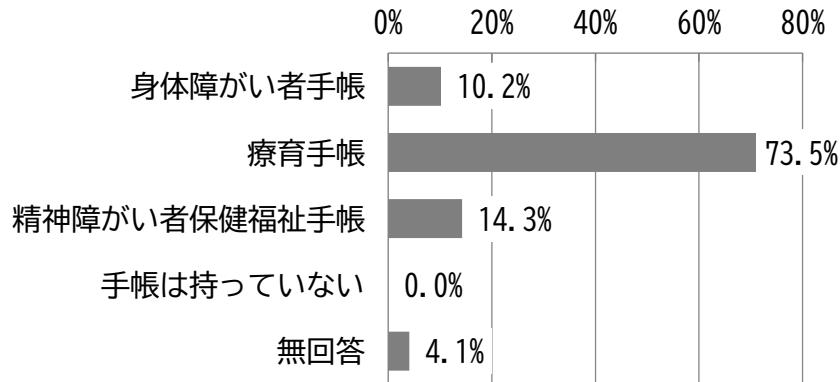


項目	件数	比率
ひとり暮らし（同居のご家族はいない）	0	0.0%
父	43	87.8%
母	46	93.9%
兄弟姉妹	31	63.3%
祖父母	4	8.2%
その他	1	2.0%
無回答	1	2.0%
回答者数	49	

2 障がいの状況について

問6 あなたが持っている手帳の種類をお聞きます。手帳をお持ちの方は、等級や程度にも○を付けてください。(あてはまるものすべてに○)

持っている手帳の種類は、「療育手帳」が73.5%と最も多く、次いで「精神障がい者保健福祉手帳」が14.3%、「身体障がい者手帳」が10.2%となっています。



項目	件数	比率
身体障がい者手帳	5	10.2%
療育手帳	36	73.5%
精神障がい者保健福祉手帳	7	14.3%
手帳は持っていない	0	0.0%
無回答	2	4.1%
回答者数	49	

【身体障がい者手帳】

持っている身体障がい者手帳の等級は、「1級」が5件中4件、「2級」が1件となっています。

項目	件数	比率
1級	4	80.0%
2級	1	20.0%
3級	0	0.0%
4級	0	0.0%
5級	0	0.0%
6級	0	0.0%
無回答	0	0.0%
回答者数	5	100.0%

※回答者数が少ないため、表のみ掲載しています。(以下同様)

2) 障がい者調査(障がい児)

【療育手帳】

持っている療育手帳の等級は、「C」が36件中15件と最も多く、次いで「B」が8件、「A」が7件となっています。

項目	件数	比率
④	2	5.6%
A	7	19.4%
B	8	22.2%
C	15	41.7%
無回答	4	11.1%
回答者数	36	100.0%

【精神障がい者保健福祉手帳】

持っている精神障がい者保健福祉手帳の等級は、7件中「1級」が0件、「2級」が3件、「3級」が4件、となっています。

項目	件数	比率
1級	0	0.0%
2級	3	42.9%
3級	4	57.1%
無回答	0	0.0%
回答者数	7	100.0%

問6-1 手帳を持っていない理由は何ですか。(○はひとつ)

※問6で「手帳を持っていない」とする回答はありませんでした。

問6-2 身体障がい者手帳をお持ちの方にお聞きます。あなたの障がいの種類は何ですか。
(あてはまるものすべてに○)

身体障がいの種類は、「視覚」「聴覚・平衡機能」「肢体不自由(上肢・下肢・体幹)」が5件中各1件、「内部(心臓、呼吸器、腎臓、ぼうこう、直腸、小腸、免疫機能、肝臓)」が2件となっています。

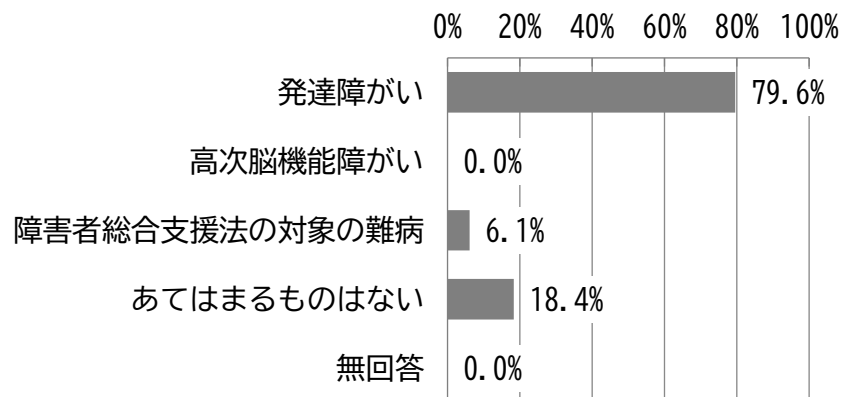
「音声・言語・そしゃく機能」の回答はありませんでした。

項目	件数	比率
視覚	1	20.0%
聴覚・平衡機能	1	20.0%
音声・言語・そしゃく機能	0	0.0%
肢体不自由(上肢・下肢・体幹)	1	20.0%
内部(心臓、呼吸器、腎臓、ぼうこう、直腸、小腸、免疫機能、肝臓)	2	40.0%
その他	0	0.0%
無回答	0	0.0%
回答者数	5	

問7 あなたが医師から診断を受けているもので、該当するものをお聞きます。(あてはまるものすべてに○)

医師から診断を受けているものは、「発達障がい」が79.6%と最も多く、次いで「障害者総合支援法の対象の難病」が6.1%となっています。

一方、「あてはまるものはない」は18.4%となっています。



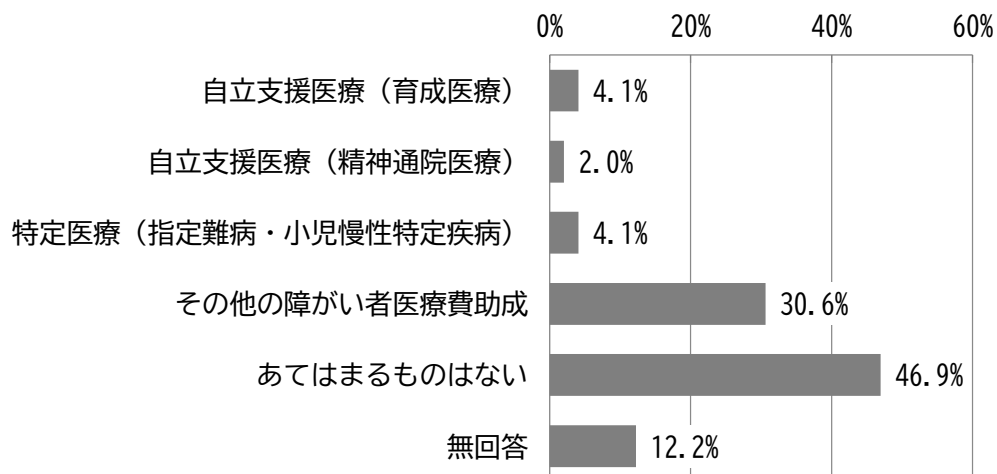
項目	件数	比率
発達障がい	39	79.6%
高次脳機能障がい	0	0.0%
障害者総合支援法の対象の難病	3	6.1%
あてはまるものはない	9	18.4%
無回答	0	0.0%
回答者数	49	

2) 障がい者調査(障がい児)

問8 あなたが利用している公費負担医療制度についてお聞きます。(あてはまるものすべてに○)

利用している公費負担医療制度については、「その他の障がい者医療費助成」が 30.6%と最も多く、次いで「自立支援医療（育成医療）」「特定医療（指定難病・小児慢性特定疾病）」がともに 4.1%となっています。

一方、「あてはまるものはない」は 46.9%となっています。

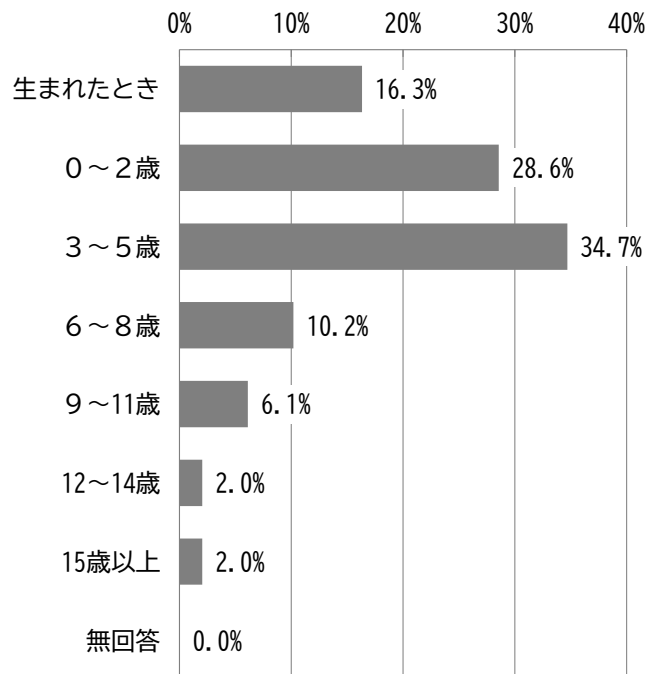


項目	件数	比率
自立支援医療（育成医療）	2	4.1%
自立支援医療（精神通院医療）	1	2.0%
特定医療（指定難病・小児慢性特定疾病）	2	4.1%
その他の障がい者医療費助成	15	30.6%
あてはまるものはない	23	46.9%
無回答	6	12.2%
回答者数	49	

問9 あなたの障がいや心身の不調について最初に診断を受けたのはいつ頃ですか。

(○はひとつ)

最初に診断を受けた時期については、「3～5歳」が34.7%と最も多く、次いで「0～2歳」が28.6%、「生まれたとき」が16.3%となっています。



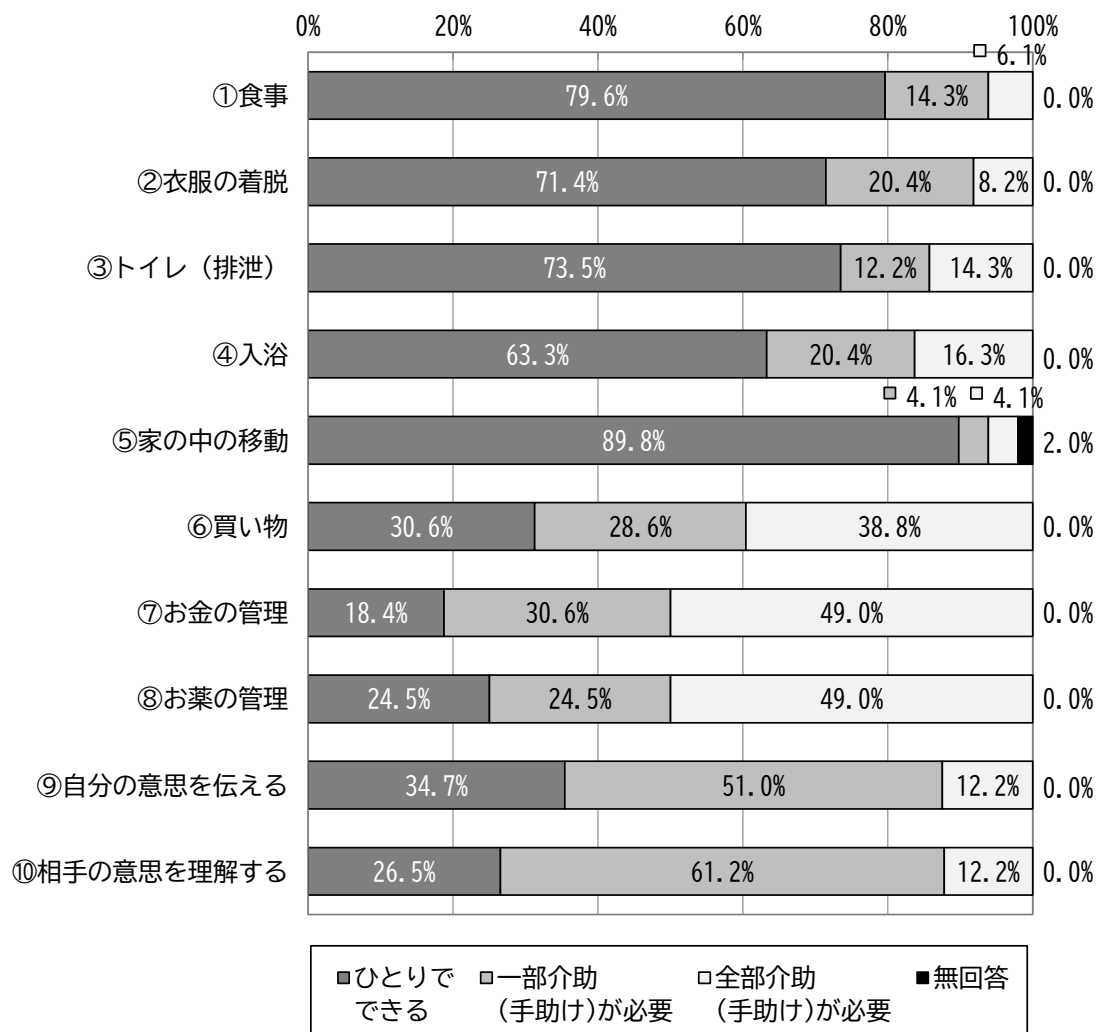
項目	件数	比率
生まれたとき	8	16.3%
0～2歳	14	28.6%
3～5歳	17	34.7%
6～8歳	5	10.2%
9～11歳	3	6.1%
12～14歳	1	2.0%
15歳以上	1	2.0%
無回答	0	0.0%
合計	49	100.0%

2) 障がい者調査(障がい児)

問 10 日常生活での介助の必要性についてお聞きします。(項目ごとに○はひとつ)

日常生活での介助の必要性について、「ひとりでできる」の項目では、「⑤家の中の移動」が 89.8%と最も多く、次いで「①食事」が 79.6%、「③トイレ（排泄）」が 73.5%となっています。

「全部介助(手助け)が必要」の項目では、「⑦お金の管理」「⑧お薬の管理」でともに 49.0%と最も多くなっています。



2) 障がい者調査(障がい児)

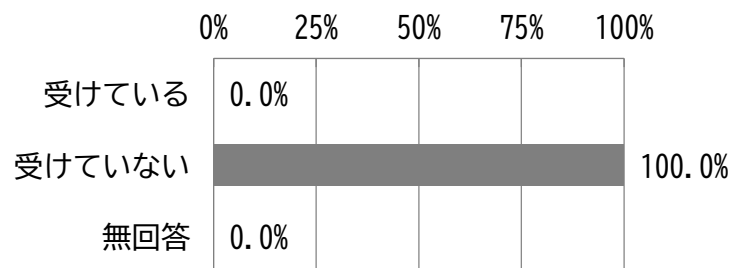
上段：件数 下段：比率

項目	ひとりでできる	一部介助 (手助け) が必要	全部介助 (手助け) が必要	通常の発達 において必要とされる 介助のみ	無回答	合計
①食事	39	7	3	0	0	49
②衣服の着脱	35	10	4	0	0	49
③トイレ（排泄）	36	6	7	0	0	49
④入浴	31	10	8	0	0	49
⑤家の中の移動	44	2	2	0	1	49
⑥買い物	15	14	19	1	0	49
⑦お金の管理	9	15	24	1	0	49
⑧お薬の管理	12	12	24	1	0	49
⑨自分の意思を伝える	17	25	6	1	0	49
⑩相手の意思を理解する	13	30	6	0	0	49
①食事	79.6%	14.3%	6.1%	0.0%	0.0%	100.0%
②衣服の着脱	71.4%	20.4%	8.2%	0.0%	0.0%	100.0%
③トイレ（排泄）	73.5%	12.2%	14.3%	0.0%	0.0%	100.0%
④入浴	63.3%	20.4%	16.3%	0.0%	0.0%	100.0%
⑤家の中の移動	89.8%	4.1%	4.1%	0.0%	2.0%	100.0%
⑥買い物	30.6%	28.6%	38.8%	2.0%	0.0%	100.0%
⑦お金の管理	18.4%	30.6%	49.0%	2.0%	0.0%	100.0%
⑧お薬の管理	24.5%	24.5%	49.0%	2.0%	0.0%	100.0%
⑨自分の意思を伝える	34.7%	51.0%	12.2%	2.0%	0.0%	100.0%
⑩相手の意思を理解する	26.5%	61.2%	12.2%	0.0%	0.0%	100.0%

※「ひとりでできる」には、見守り・声掛けがあればできる場合も含まれます。

問 11 あなたは経管栄養・喀痰吸引・導尿・透析などの日常的な医療的ケアを受けていますか。
(○はひとつ)

日常的な医療的ケアについては、「受けていない」が 100.0%となっています。



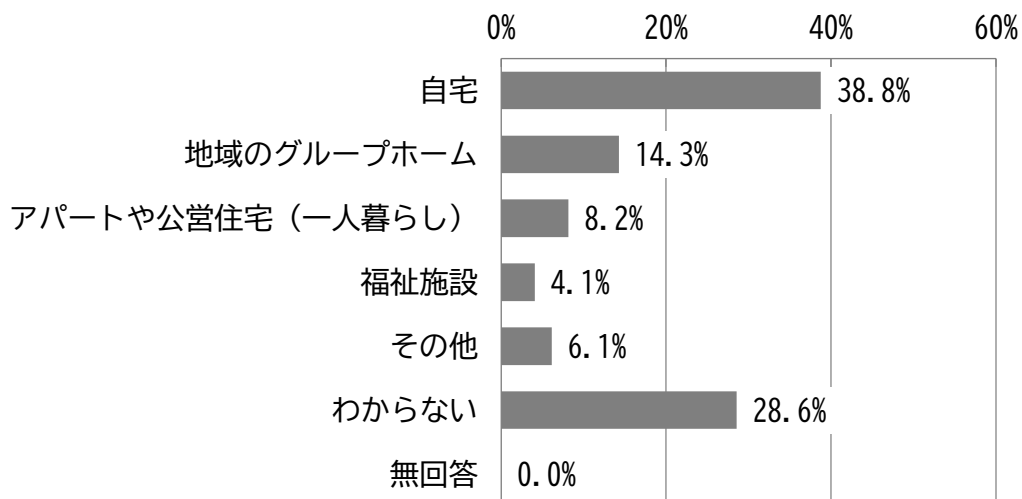
項目	件数	比率
受けている	0	0.0%
受けていない	49	100.0%
無回答	0	0.0%
合計	49	100.0%

2) 障がい者調査(障がい児)

問 12 あなたは、将来どこで生活したいと思いますか。(ひとつに○)

将来、生活したい場所については、「自宅」が 38.8%と最も多く、次いで「地域のグループホーム」が 14.3%、「アパートや公営住宅（一人暮らし）」が 8.2%となっています。

一方、「わからない」「は 28.6%となっています。

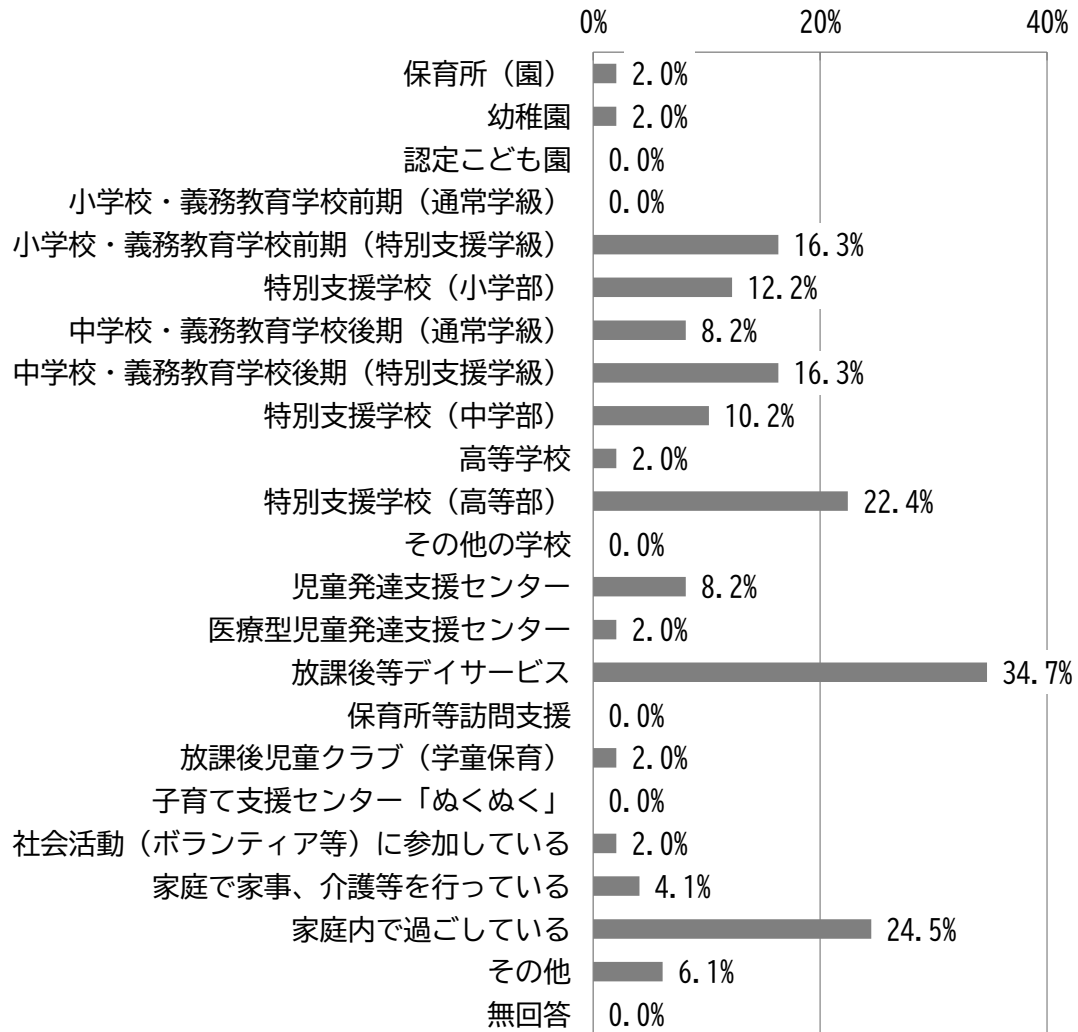


項目	件数	比率
自宅	19	38.8%
地域のグループホーム	7	14.3%
アパートや公営住宅（一人暮らし）	4	8.2%
福祉施設	2	4.1%
その他	3	6.1%
わからない	14	28.6%
無回答	0	0.0%
回答者数	49	100.0%

3 教育について

問 13 日中はどのように過ごしていますか。(あてはまるものすべてに○)

日中過ごしている様子は、「放課後等デイサービス」が 34.7%と最も多く、次いで「家庭内で過ごしている」が 24.5%、「特別支援学校（高等部）」が 22.4%となっています。



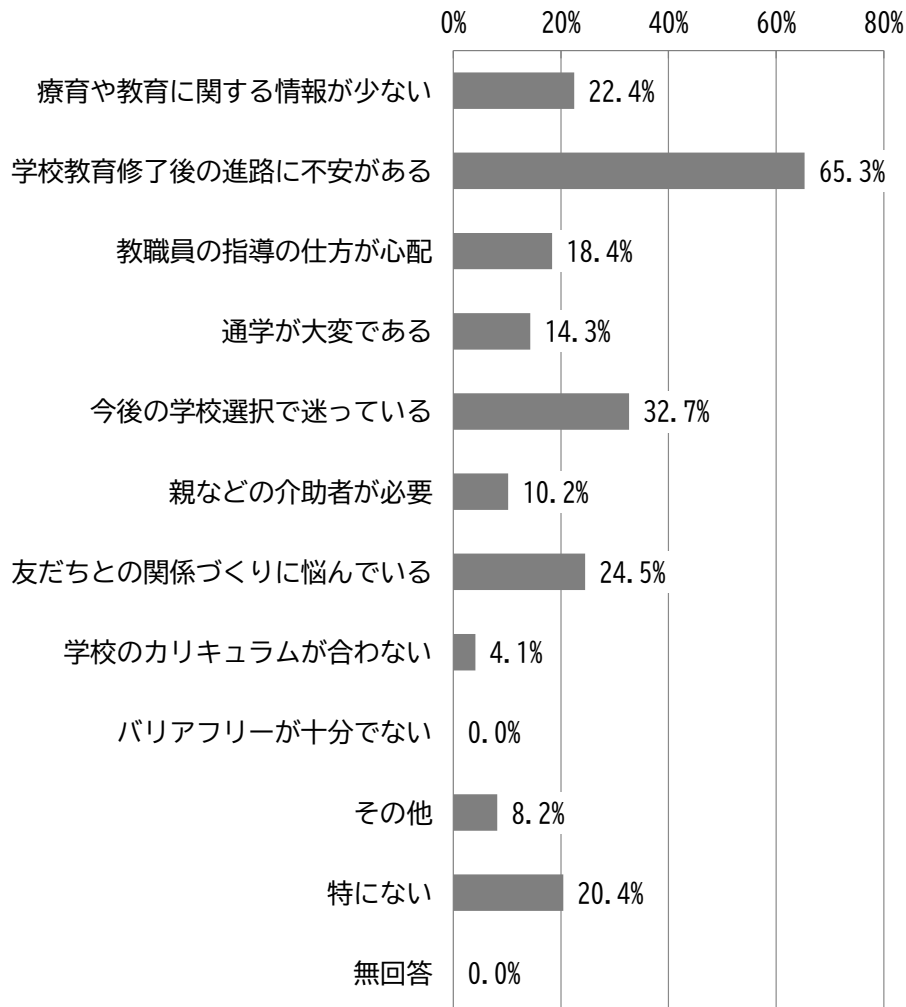
2) 障がい者調査(障がい児)

項目	件数	比率
保育所（園）	1	2.0%
幼稚園	1	2.0%
認定こども園	0	0.0%
小学校・義務教育学校前期（通常学級）	0	0.0%
小学校・義務教育学校前期（特別支援学級）	8	16.3%
特別支援学校（小学部）	6	12.2%
中学校・義務教育学校後期（通常学級）	4	8.2%
中学校・義務教育学校後期（特別支援学級）	8	16.3%
特別支援学校（中学部）	5	10.2%
高等学校	1	2.0%
特別支援学校（高等部）	11	22.4%
その他の学校	0	0.0%
児童発達支援センター	4	8.2%
医療型児童発達支援センター	1	2.0%
放課後等デイサービス	17	34.7%
保育所等訪問支援	0	0.0%
放課後児童クラブ（学童保育）	1	2.0%
子育て支援センター「ぬくぬく」	0	0.0%
社会活動（ボランティア等）に参加している	1	2.0%
家庭で家事、介護等を行っている	2	4.1%
家庭内で過ごしている	12	24.5%
その他	3	6.1%
無回答	0	0.0%
回答者数	49	

問 14 あなたには、教育について、困っていることはありますか。(あてはまるものすべてに○)

教育について、困っていることは、「学校教育修了後の進路に不安がある」が 65.3%と最も多く、次いで「今後の学校選択で迷っている」が 32.7%、「友だちとの関係づくりに悩んでいる」が 24.5%となっています。

一方、「特にない」は 20.4%となっています。



項目	件数	比率
療育や教育に関する情報が少ない	11	22.4%
学校教育修了後の進路に不安がある	32	65.3%
教職員の指導の仕方が心配	9	18.4%
通学が大変である	7	14.3%
今後の学校選択で迷っている	16	32.7%
親などの介助者が必要	5	10.2%
友だちとの関係づくりに悩んでいる	12	24.5%
学校のカリキュラムが合わない	2	4.1%
バリアフリーが十分でない	0	0.0%
その他	4	8.2%
特にない	10	20.4%
無回答	0	0.0%
回答者数	49	

2) 障がい者調査(障がい児)

小学校・義務教育学校入学前の方の回答

問 15 小学校・義務教育学校はどの教育機関を希望しますか。(○はひとつ)

小学校・義務教育学校の希望については、「小学校・義務教育学校の特別支援学級」が1件となっています。

項目	件数	比率
小学校・義務教育学校の通常学級	0	0.0%
小学校・義務教育学校の特別支援学級	1	33.3%
特別支援学校の小学部	0	0.0%
その他	1	33.3%
わからない	1	33.3%
無回答	0	0.0%
回答者数	3	100.0%

小学校(小学部)または中学校(中学部)若しくは義務教育学校に通っている方の回答

問 16 中学校(中学部)・義務教育学校卒業後はどのような進路を希望しますか。(○はひとつ)

中学校(中学部)・義務教育学校卒業後の希望進路については、「特別支援学校の高等部」が25件中15件と最も多く、次いで「高等学校(夜間を含む)」が4件、「通信制高校など」が3件となっています。

項目	件数	比率
高等学校(夜間を含む)	4	16.0%
特別支援学校の高等部	15	60.0%
通信制高校など	3	12.0%
生活訓練や就労支援の施設	0	0.0%
就職	0	0.0%
特にどこにも通わない	0	0.0%
その他	0	0.0%
わからない	1	4.0%
無回答	2	8.0%
回答者数	25	100.0%

高等学校（高等部）に通っている方の回答

問 17 高等学校（高等部）卒業後は、どのような進路を希望しますか。（あてはまるものすべてに○）

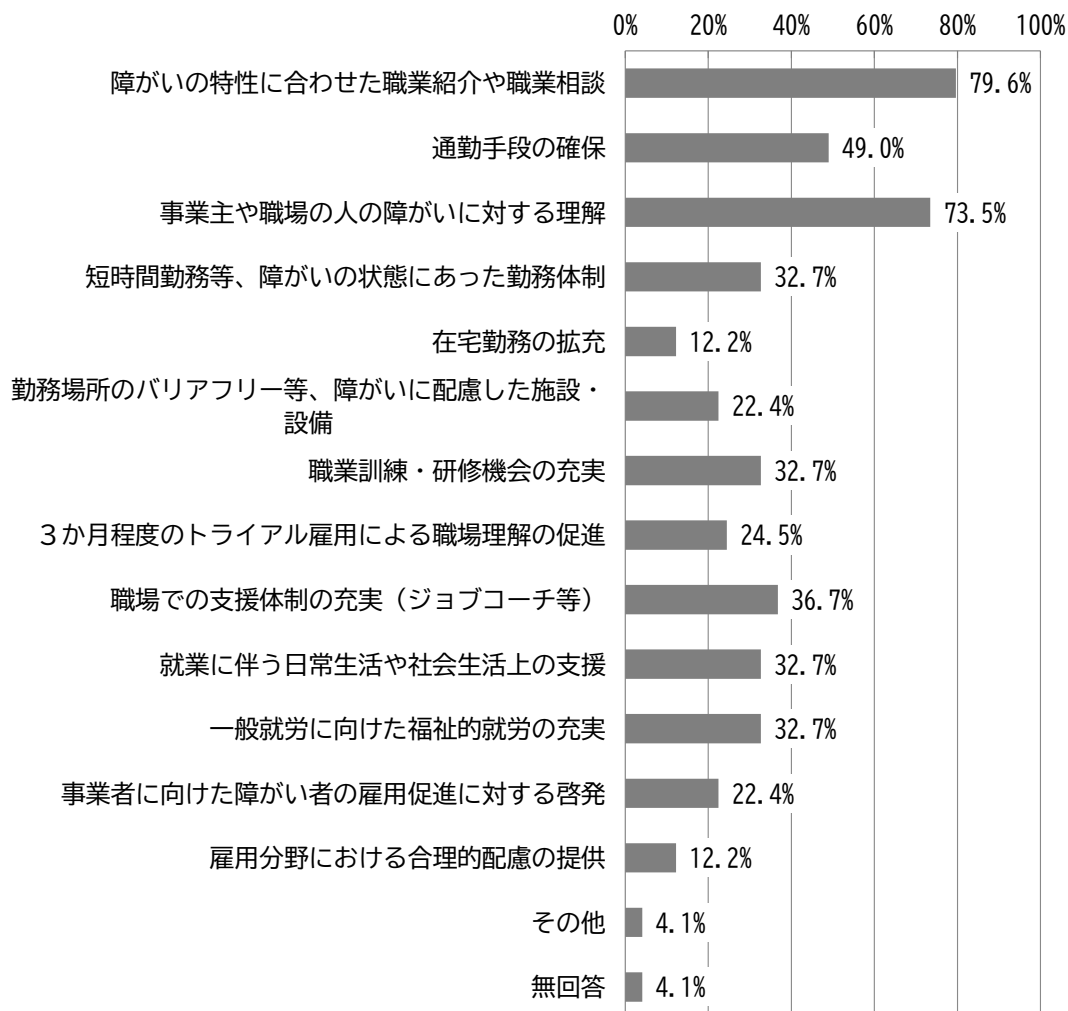
高等学校（高等部）卒業後の希望進路については、「一般就労（パート・アルバイト）」が7件と最も多く、次いで「一般就労（正社員・正職員）」「福祉的就労（就労継続支援A型・B型など）」がともに4件となっています。

項目	件数	比率
大学や短期大学	1	4.8%
専門学校や専修学校	2	9.5%
職業訓練学校	0	0.0%
一般就労（正社員・正職員）	4	19.0%
一般就労（パート・アルバイト）	7	33.3%
自宅で働く（自営業・内職など）	0	0.0%
福祉的就労（就労継続支援A型・B型など）	4	19.0%
福祉的就労以外の通所施設	1	4.8%
特にどこにも通わない	0	0.0%
その他	0	0.0%
わからない	1	4.8%
無回答	8	38.1%
回答者数	21	

2) 障がい者調査(障がい児)

問 18 あなたは、障がい者の就労支援としてどのようなことが重要だと思いますか。(あてはまるもの5つまで、下記の回答欄に数字を記入)

障がい者の就労支援として重要なことについては、「障がいの特性に合わせた職業紹介や職業相談」が79.6%と最も多く、次いで「事業主や職場の人の障がいに対する理解」が73.5%、「通勤手段の確保」が49.0%となっています。

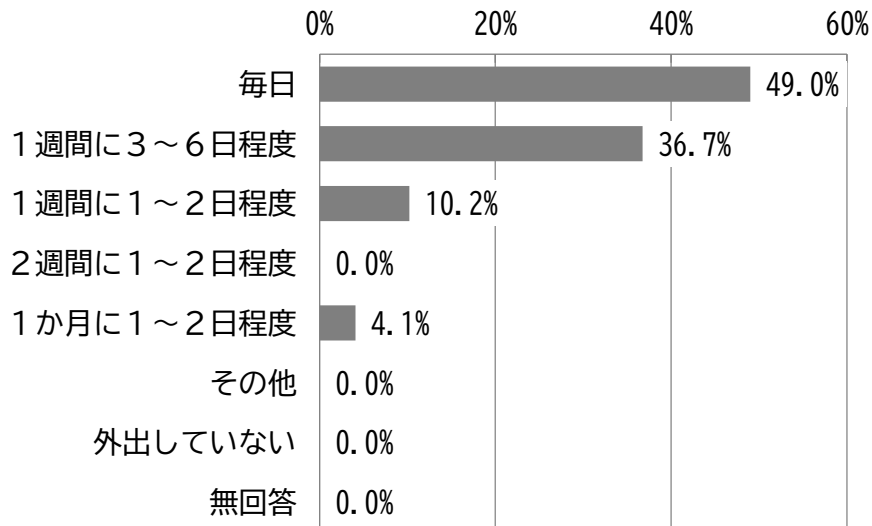


項目	件数	比率
障がいの特性に合わせた職業紹介や職業相談	39	79.6%
通勤手段の確保	24	49.0%
事業主や職場の人の障がいに対する理解	36	73.5%
短時間勤務等、障がいの状態にあった勤務体制	16	32.7%
在宅勤務の拡充	6	12.2%
勤務場所のバリアフリー等、障がいに対応した施設・設備	11	22.4%
職業訓練・研修機会の充実	16	32.7%
3か月程度のトライアル雇用による職場理解の促進	12	24.5%
職場での支援体制の充実(ジョブコーチ等)	18	36.7%
就業に伴う日常生活や社会生活上の支援	16	32.7%
一般就労に向けた福祉的就労の充実	16	32.7%
事業者に向けた障がい者の雇用促進に対する啓発	11	22.4%
雇用分野における合理的配慮の提供	6	12.2%
その他	2	4.1%
無回答	2	4.1%
回答者数	49	

4 外出について

問 19 あなたは去年1年間（令和7年）にどの程度外出しましたか。（〇はひとつ）

去年1年間の外出頻度は、「毎日」が49.0%と最も多く、次いで「1週間に3～6日程度」が36.7%、「1週間に1～2日程度」が10.2%となっています。



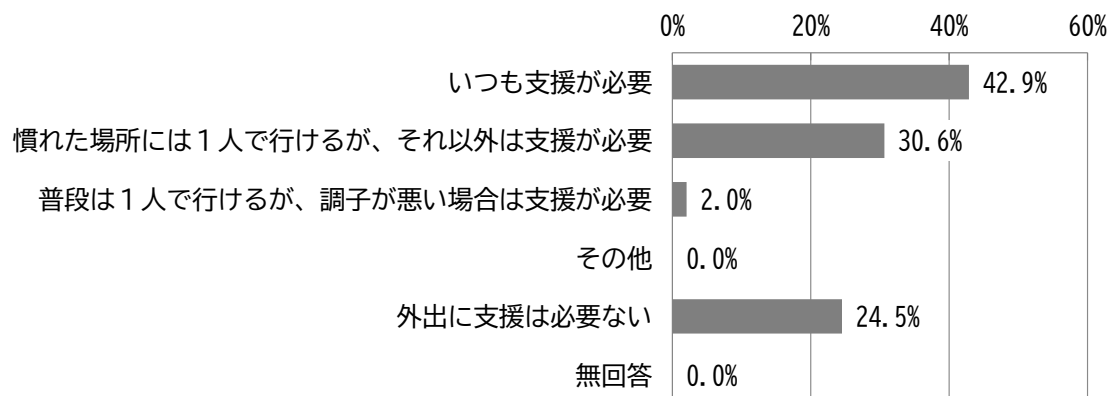
項目	件数	比率
毎日	24	49.0%
1週間に3～6日程度	18	36.7%
1週間に1～2日程度	5	10.2%
2週間に1～2日程度	0	0.0%
1か月に1～2日程度	2	4.1%
その他	0	0.0%
外出していない	0	0.0%
無回答	0	0.0%
合計	49	100.0%

2) 障がい者調査(障がい児)

問 20 あなたは外出するときに支援が必要ですか。(○はひとつ)

外出するときに支援が必要かについては、「いつも支援が必要」が 42.9%、「慣れた場所には 1 人で行けるが、それ以外は支援が必要」が 30.6%、「普段は 1 人で行けるが、調子が悪い場合は支援が必要」が 2.0%となっています。

一方、「外出に支援は必要ない」が 24.5%となっています。



項目	件数	比率
いつも支援が必要	21	42.9%
慣れた場所には 1 人で行けるが、それ以外は支援が必要	15	30.6%
普段は 1 人で行けるが、調子が悪い場合は支援が必要	1	2.0%
その他	0	0.0%
外出に支援は必要ない	12	24.5%
無回答	0	0.0%
合計	49	100.0%

問 20 で外出することに支援が必要と答えた方の回答

問 21 1 人で外出できない場合どのように外出していますか。(あてはまるものすべてに○)

1 人で外出できない場合の対処方法は、「家族に付き添ってもらっている」が 39 件中 37 件と最も多く、次いで「福祉タクシー、福祉有償運送等を利用している」が 1 件となっています。

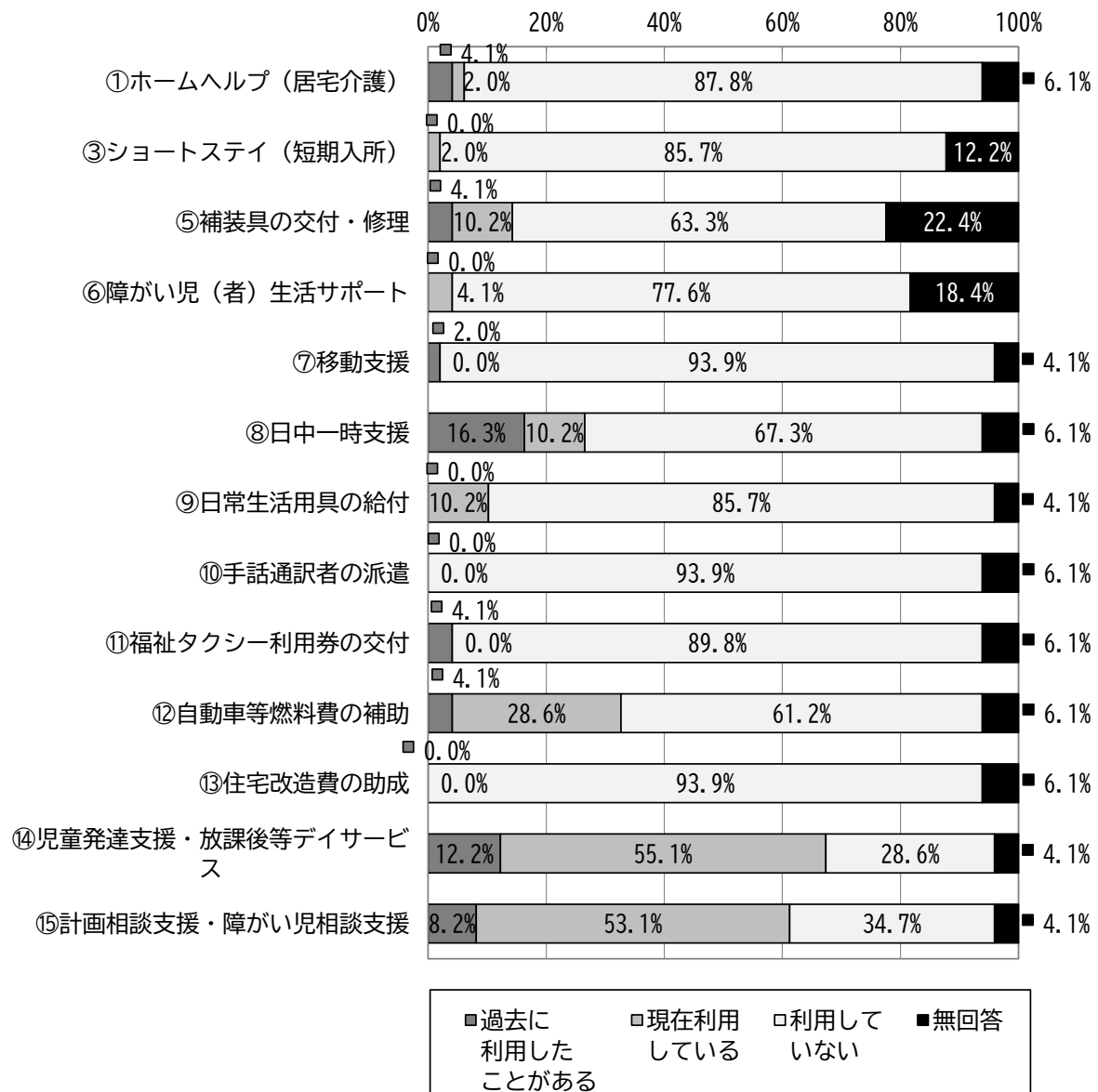
項目	件数	比率
福祉サービス（移動支援、同行援護、行動援護等）を利用している	0	0.0%
福祉タクシー、福祉有償運送等を利用している	1	2.7%
家族に付き添ってもらっている	37	100.0%
友人や知人、ボランティア等に付き添ってもらっている	0	0.0%
その他	1	2.7%
無回答	12	32.4%
回答者数	37	

5 サービスや支援の利用について

問 22 次のサービスについて、それぞれの利用状況と今後の利用意向についてお答えください。(「(1) 利用状況」と「(2) 今後の利用意向」それぞれ、項目ごとに○はひとつ)

【(1) 利用状況】

サービスの利用状況について、「現在利用している」の項目では、「⑭児童発達支援・放課後等デイサービス」が55.1%と最も多く、次いで「⑮計画相談支援・障がい児相談支援」が53.1%、「⑫自動車等燃料費の補助」が28.6%となっています。



2) 障がい者調査(障がい児)

上段：件数 下段：比率

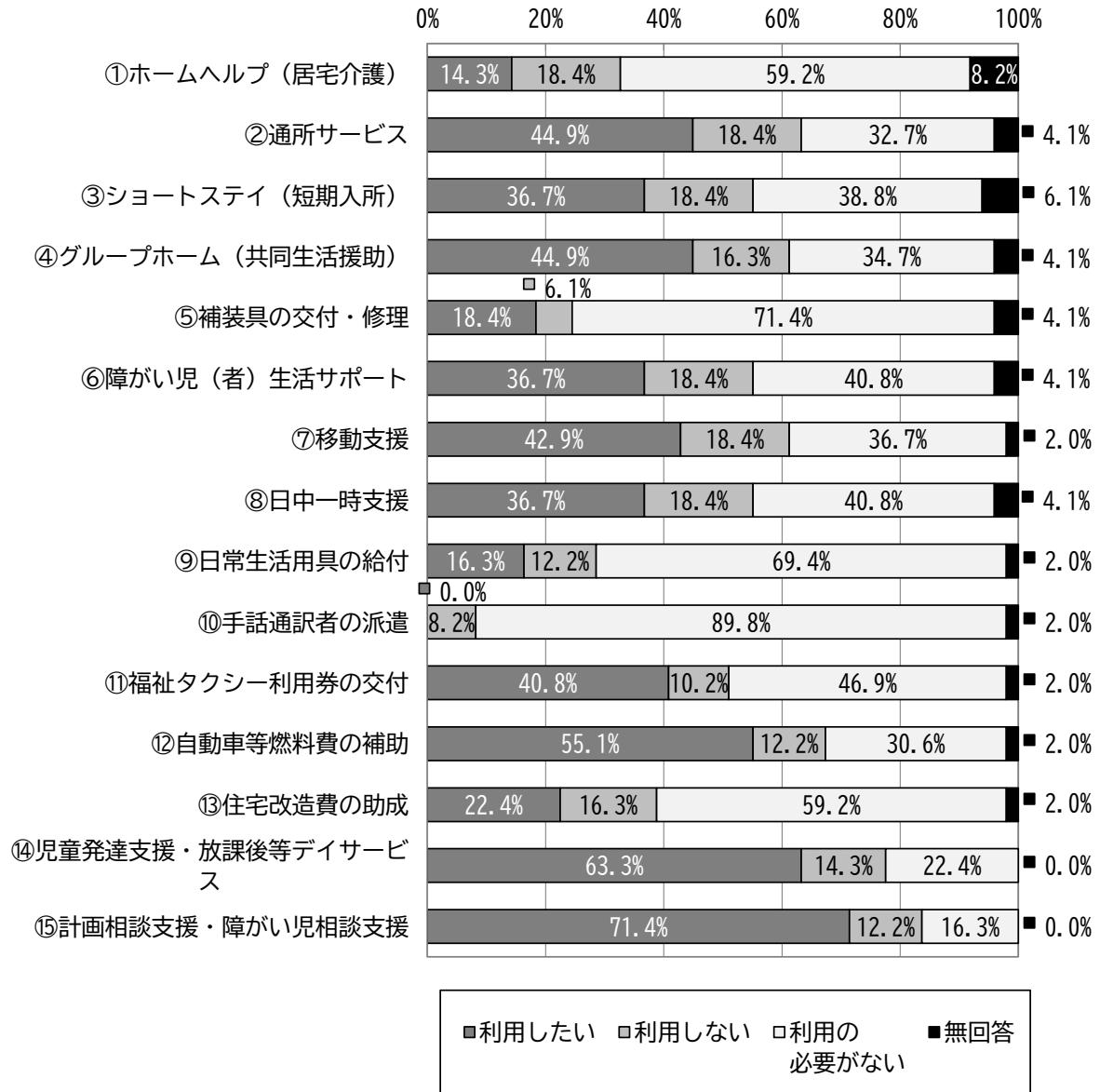
項目	過去に 利用した ことがある	現在利用 している	利用して いない	無回答	合計
①ホームヘルプ（居宅介護）	2	1	43	3	49
③ショートステイ（短期入所）	0	1	42	6	49
⑤補装具の交付・修理	2	5	31	11	49
⑥障がい児（者）生活サポート	0	2	38	9	49
⑦移動支援	1	0	46	2	49
⑧日中一時支援	8	5	33	3	49
⑨日常生活用具の給付	0	5	42	2	49
⑩手話通訳者の派遣	0	0	46	3	49
⑪福祉タクシー利用券の交付	2	0	44	3	49
⑫自動車等燃料費の補助	2	14	30	3	49
⑬住宅改造費の助成	0	0	46	3	49
⑭児童発達支援・放課後等デイサービス	6	27	14	2	49
⑮計画相談支援・障がい児相談支援	4	26	17	2	49
①ホームヘルプ（居宅介護）	4.1%	2.0%	87.8%	6.1%	100.0%
③ショートステイ（短期入所）	0.0%	2.0%	85.7%	12.2%	100.0%
⑤補装具の交付・修理	4.1%	10.2%	63.3%	22.4%	100.0%
⑥障がい児（者）生活サポート	0.0%	4.1%	77.6%	18.4%	100.0%
⑦移動支援	2.0%	0.0%	93.9%	4.1%	100.0%
⑧日中一時支援	16.3%	10.2%	67.3%	6.1%	100.0%
⑨日常生活用具の給付	0.0%	10.2%	85.7%	4.1%	100.0%
⑩手話通訳者の派遣	0.0%	0.0%	93.9%	6.1%	100.0%
⑪福祉タクシー利用券の交付	4.1%	0.0%	89.8%	6.1%	100.0%
⑫自動車等燃料費の補助	4.1%	28.6%	61.2%	6.1%	100.0%
⑬住宅改造費の助成	0.0%	0.0%	93.9%	6.1%	100.0%
⑭児童発達支援・放課後等デイサービス	12.2%	55.1%	28.6%	4.1%	100.0%
⑮計画相談支援・障がい児相談支援	8.2%	53.1%	34.7%	4.1%	100.0%

※「②通所サービス」「④グループホーム（共同生活援助）」については、利用希望のみを聞いているため、（１）利用状況は、掲載なし

2) 障がい者調査(障がい児)

【(2) 今後の利用意向】

サービスの今後の利用意向については、「利用したい」項目は、「⑮計画相談支援・障がい児相談支援」が71.4%と最も多く、次いで「⑭児童発達支援・放課後等デイサービス」が63.3%、「⑫自動車等燃料費の補助」が55.1%となっています。



2) 障がい者調査(障がい児)

上段：件数 下段：比率

項目	利用したい	利用しない	利用の 必要がない	無回答	合計
①ホームヘルプ（居宅介護）	7	9	29	4	49
②通所サービス	22	9	16	2	49
③ショートステイ（短期入所）	18	9	19	3	49
④グループホーム（共同生活援助）	22	8	17	2	49
⑤補装具の交付・修理	9	3	35	2	49
⑥障がい児（者）生活サポート	18	9	20	2	49
⑦移動支援	21	9	18	1	49
⑧日中一時支援	18	9	20	2	49
⑨日常生活用具の給付	8	6	34	1	49
⑩手話通訳者の派遣	0	4	44	1	49
⑪福祉タクシー利用券の交付	20	5	23	1	49
⑫自動車等燃料費の補助	27	6	15	1	49
⑬住宅改造費の助成	11	8	29	1	49
⑭児童発達支援・放課後等デイサービス	31	7	11	0	49
⑮計画相談支援・障がい児相談支援	35	6	8	0	49
①ホームヘルプ（居宅介護）	14.3%	18.4%	59.2%	8.2%	100.0%
②通所サービス	44.9%	18.4%	32.7%	4.1%	100.0%
③ショートステイ（短期入所）	36.7%	18.4%	38.8%	6.1%	100.0%
④グループホーム（共同生活援助）	44.9%	16.3%	34.7%	4.1%	100.0%
⑤補装具の交付・修理	18.4%	6.1%	71.4%	4.1%	100.0%
⑥障がい児（者）生活サポート	36.7%	18.4%	40.8%	4.1%	100.0%
⑦移動支援	42.9%	18.4%	36.7%	2.0%	100.0%
⑧日中一時支援	36.7%	18.4%	40.8%	4.1%	100.0%
⑨日常生活用具の給付	16.3%	12.2%	69.4%	2.0%	100.0%
⑩手話通訳者の派遣	0.0%	8.2%	89.8%	2.0%	100.0%
⑪福祉タクシー利用券の交付	40.8%	10.2%	46.9%	2.0%	100.0%
⑫自動車等燃料費の補助	55.1%	12.2%	30.6%	2.0%	100.0%
⑬住宅改造費の助成	22.4%	16.3%	59.2%	2.0%	100.0%
⑭児童発達支援・放課後等デイサービス	63.3%	14.3%	22.4%	0.0%	100.0%
⑮計画相談支援・障がい児相談支援	71.4%	12.2%	16.3%	0.0%	100.0%

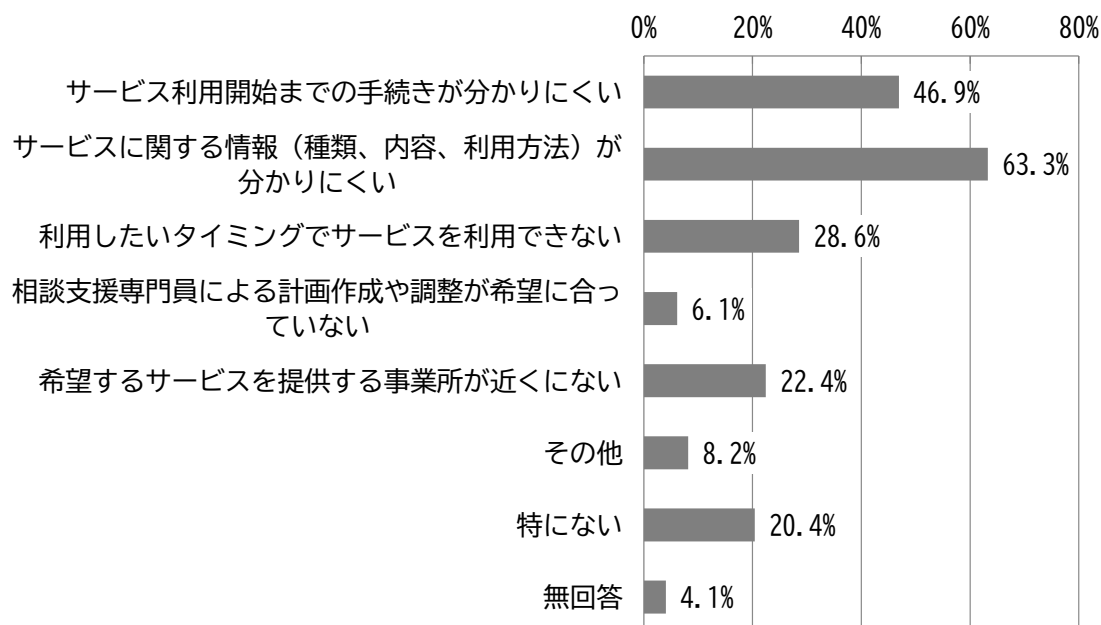
サービス内容一覧

サービス名	内容
①ホームヘルプ（居宅介護）	日常生活に介助者を必要としている方の家庭にホームヘルパーを派遣し、介助や家事の手伝いをします。
②通所サービス	施設に通所して、介護を受けたり、自立に必要な作業訓練、生活指導等を行います。
③ショートステイ（短期入所）	保護者または家族が病気等の理由により、介護できなくなった場合に一時的に施設で保護等を行います。
④グループホーム（共同生活援助）	食事や身のまわりの面倒を見てくれる人の援助を受けながら、共同生活を行います。
⑤補装具の交付・修理	義肢、車いす、補聴器などの補装具を交付したり、修理したりします。
⑥障がい児（者）生活サポート	民間のサービス団体を利用し、介護人の派遣、送迎、外出援助などの介護サービスを行います。
⑦移動支援	社会生活上不可欠な外出が必要な場合に、ヘルパーによる外出時の支援を行います。
⑧日中一時支援	日中における活動の場を確保し、介護する家族の就労支援及び一時的な休息を目的とします。
⑨日常生活用具の給付	重度の障がい者等に、自立した日常生活を支援する用具等の給付を行います。
⑩手話通訳者の派遣	市役所・学校・病院等において、相談、手続き等の通訳を行います。
⑪福祉タクシー利用券の交付	タクシーの初乗運賃相当額を助成します。
⑫自動車等燃料費の補助	自家用自動車の燃料費に要する経費の一部を補助します。
⑬住宅改造費の助成	住宅改善工事等に要する費用を限度額内で助成します。
⑭児童発達支援・放課後等デイサービス	心身に障がい、または発達の遅れがある児童を対象に療育を行う通所支援事業です。
⑮計画相談支援・障がい児相談支援	サービス等利用計画についての相談及び作成などの支援が必要と認められる場合に、自立した生活を支えるため、障がい者（児）の抱える課題の解決や適切なサービス利用に向けてケアマネジメントにより支援していくものです。

2) 障がい者調査(障がい児)

問 23 障害福祉サービスを利用する際の手続きや環境について、改善してほしいと思うことをお答えください。(あてはまるものすべてに○)

障害福祉サービスを利用する際の手続きや環境について、改善してほしいことは、「サービスに関する情報（種類、内容、利用方法）が分かりにくい」が63.3%と最も多く、次いで「サービス利用開始までの手続きが分かりにくい」が46.9%、「利用したいタイミングでサービスを利用できない」が28.6%となっています。

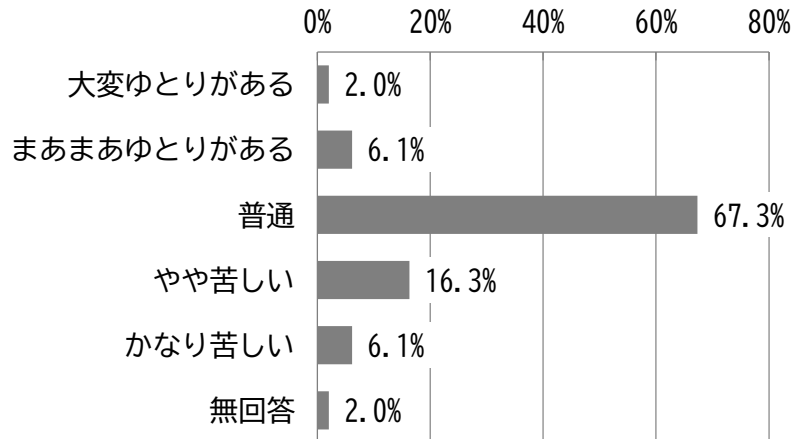


項目	件数	比率
サービス利用開始までの手続きが分かりにくい	23	46.9%
サービスに関する情報（種類、内容、利用方法）が分かりにくい	31	63.3%
利用したいタイミングでサービスを利用できない	14	28.6%
相談支援専門員による計画作成や調整が希望に合っていない	3	6.1%
希望するサービスを提供する事業所が近くになく	11	22.4%
その他	4	8.2%
特になく	10	20.4%
無回答	2	4.1%
回答者数	49	

6 生活について

問 24 あなたは現在の暮らしの状況についてどのように感じていますか。(〇はひとつ)

現在の暮らしの状況については、「大変ゆとりがある」「まあまあゆとりがある」を合わせた『ゆとりがある』が8.1%、「普通」が67.3%、「やや苦しい」「かなり苦しい」を合わせた『苦しい』が22.4%、となっています。



項目	件数	比率
大変ゆとりがある	1	2.0%
まあまあゆとりがある	3	6.1%
普通	33	67.3%
やや苦しい	8	16.3%
かなり苦しい	3	6.1%
無回答	1	2.0%
回答者数	49	100.0%

2) 障がい者調査(障がい児)

問 24 で「やや苦しい」「かなり苦しい」と回答した方の回答

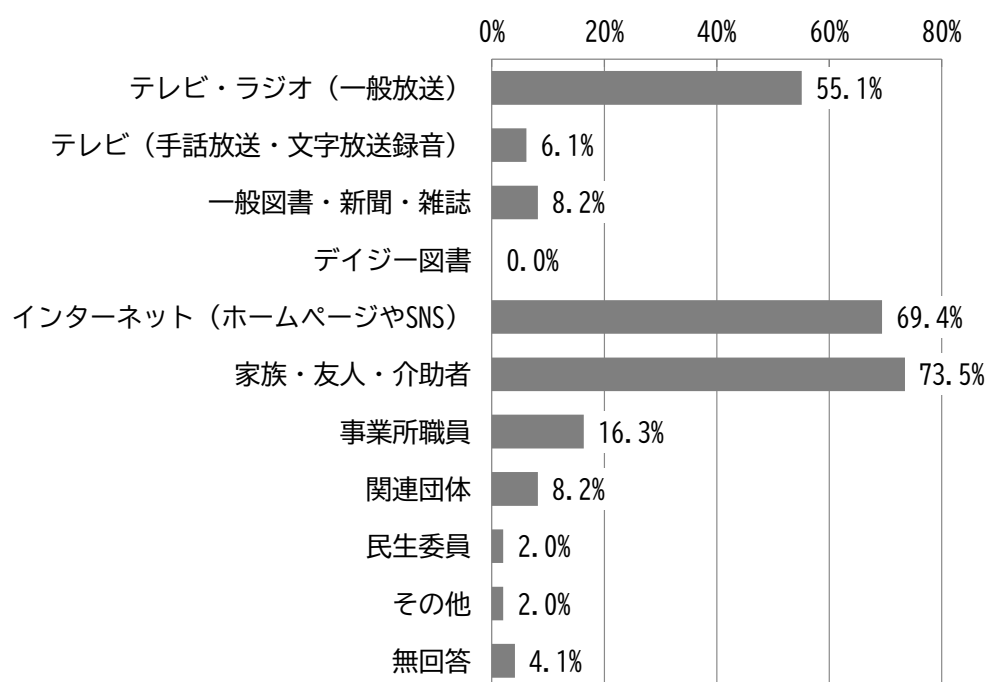
問 25 現在の暮らしの状況が苦しいと答えた方が、暮らしが苦しいと感じる理由は何ですか。
(あてはまるものすべてに○)

暮らしが苦しいと感じる理由については、「本人を介護するために家族があまり働けず、収入が少ないため」「障がいとは関係なく、家計が苦しい」がともに 11 件中 5 件と最も多く、次いで「障がいのために、一般の人よりも生活に必要なサービスや物品が多く、それを購入するために出費がかさむため」が 4 件となっています。

項目	件数	比率
障がいのために本人があまり働けず、収入が少ないため	1	9.1%
障がいのために、一般の人よりも生活に必要なサービスや物品が多く、それを購入するために出費がかさむため	4	36.4%
本人を介護するために家族があまり働けず、収入が少ないため	5	45.5%
障がいとは関係なく、家計が苦しい	5	45.5%
その他	1	9.1%
無回答	0	0.0%
回答者数	11	

問 26 あなたは、日常的にどのような方法により情報を入手していますか。(あてはまるものすべてに○)

日常的な情報の入手方法については、「家族・友人・介助者」が 73.5%と最も多く、次いで「インターネット(ホームページやSNS)」が 69.4%、「テレビ・ラジオ(一般放送)」が 55.1%となっています。

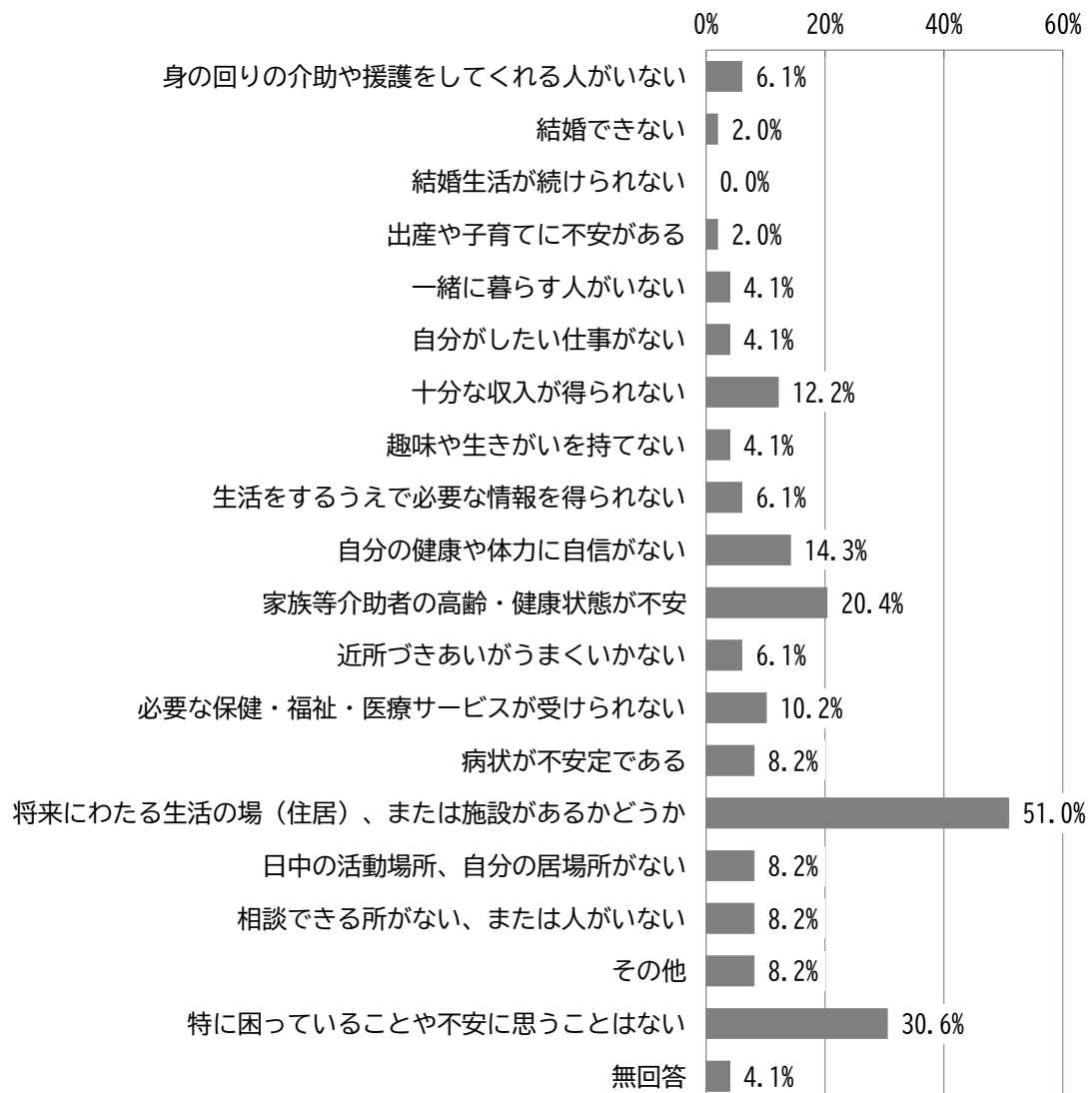


2) 障がい者調査(障がい児)

項目	件数	比率
テレビ・ラジオ（一般放送）	27	55.1%
テレビ（手話放送・文字放送録音）	3	6.1%
一般図書・新聞・雑誌	4	8.2%
デージー図書	0	0.0%
インターネット（ホームページやSNS）	34	69.4%
家族・友人・介助者	36	73.5%
事業所職員	8	16.3%
関連団体	4	8.2%
民生委員	1	2.0%
その他	1	2.0%
無回答	2	4.1%
回答者数	49	

問 27 現在の生活で困っていることや不安に思っていることがありますか。（あてはまるものすべてに○）

現在の生活で困っていることや不安に思っていることについては、「将来にわたる生活の場（住居）、または施設があるかどうか」が 51.0%と最も多く、次いで「家族等介助者の高齢・健康状態が不安」が 20.4%、「自分の健康や体力に自信がない」が 14.3%となっています。一方、「特に困っていることや不安に思うことはない」が 30.6%となっています。

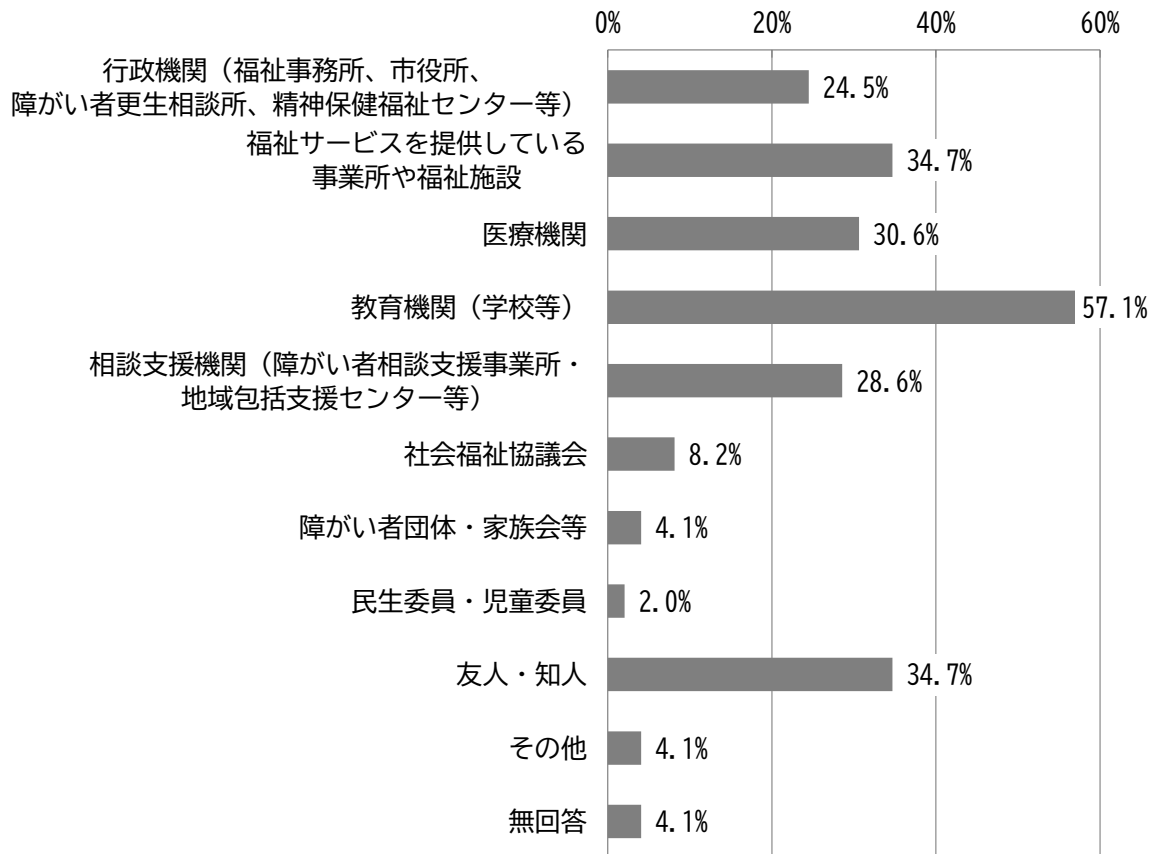


2) 障がい者調査(障がい児)

項目	件数	比率
身の回りの介助や援護をしてくれる人がいない	3	6.1%
結婚できない	1	2.0%
結婚生活が続けられない	0	0.0%
出産や子育てに不安がある	1	2.0%
一緒に暮らす人がいない	2	4.1%
自分がしたい仕事がない	2	4.1%
十分な収入が得られない	6	12.2%
趣味や生きがいを持ってない	2	4.1%
生活をするうえで必要な情報を得られない	3	6.1%
自分の健康や体力に自信がない	7	14.3%
家族等介助者の高齢・健康状態が不安	10	20.4%
近所づきあいがうまくいかない	3	6.1%
必要な保健・福祉・医療サービスが受けられない	5	10.2%
病状が不安定である	4	8.2%
将来にわたる生活の場（住居）、または施設があるかどうか	25	51.0%
日中の活動場所、自分の居場所がない	4	8.2%
相談できる所がない、または人がいない	4	8.2%
その他	4	8.2%
特に困っていることや不安に思うことはない	15	30.6%
無回答	2	4.1%
回答者数	49	

問 28 あなたは、困ったことがあったときにご家族や親戚以外でだれに相談しますか。(あてはまるものすべてに○)

相談相手については、「教育機関（学校等）」が 57.1%と最も多く、次いで「福祉サービスを提供している事業所や福祉施設」「友人・知人」がともに 34.7%となっています。

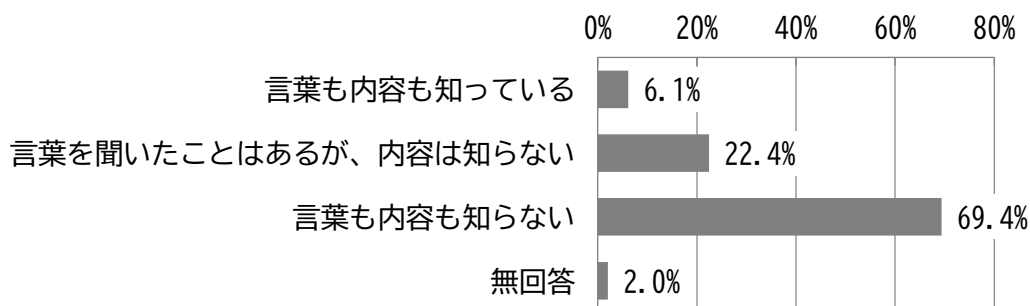


項目	件数	比率
行政機関（福祉事務所、市役所、障がい者更生相談所、精神保健福祉センター等）	12	24.5%
福祉サービスを提供している事業所や福祉施設	17	34.7%
医療機関	15	30.6%
教育機関（学校等）	28	57.1%
相談支援機関（障がい者相談支援事業所・地域包括支援センター等）	14	28.6%
社会福祉協議会	4	8.2%
障がい者団体・家族会等	2	4.1%
民生委員・児童委員	1	2.0%
友人・知人	17	34.7%
その他	2	4.1%
無回答	2	4.1%
回答者数	49	

2) 障がい者調査(障がい児)

問 29 「避難行動要支援者支援制度」を知っていますか。(〇はひとつ)

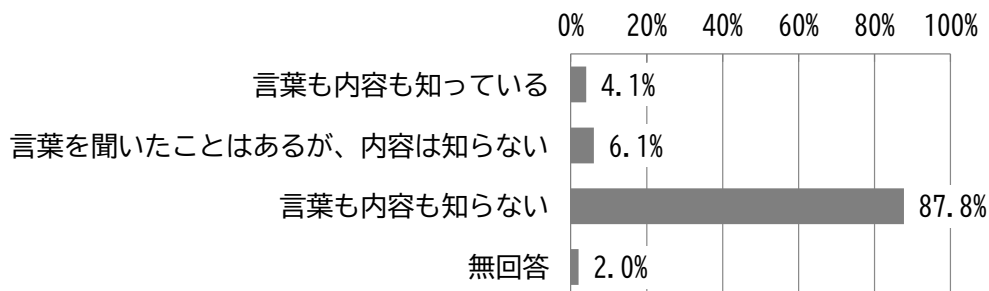
「避難行動要支援者支援制度」の認知度は、「言葉も内容も知っている」が 6.1%、「言葉を聞いたことはあるが、内容は知らない」が 22.4%、「言葉も内容も知らない」が 69.4%となっています。



項目	件数	比率
言葉も内容も知っている	3	6.1%
言葉を聞いたことはあるが、内容は知らない	11	22.4%
言葉も内容も知らない	34	69.4%
無回答	1	2.0%
合計	49	100.0%

問 30 「マイ・タイムライン」を知っていますか。(〇はひとつ)

「マイ・タイムライン」の認知度は、「言葉も内容も知っている」が 4.1%、「言葉を聞いたことはあるが、内容は知らない」が 6.1%、「言葉も内容も知らない」が 87.8%となっています。

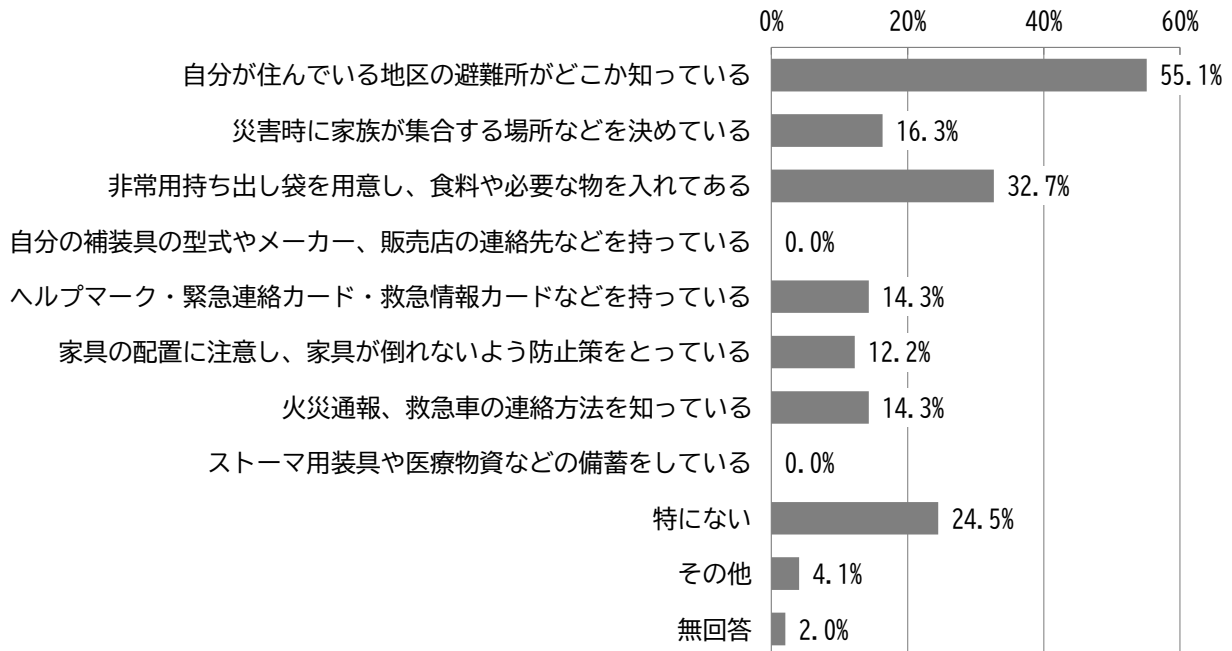


項目	件数	比率
言葉も内容も知っている	2	4.1%
言葉を聞いたことはあるが、内容は知らない	3	6.1%
言葉も内容も知らない	43	87.8%
無回答	1	2.0%
合計	49	100.0%

問 31 災害に備えて、行っていることについてお答えください。(あてはまるものすべてに○)

災害の備えについては、「自分が住んでいる地区の避難所がどこか知っている」が 55.1%と最も多く、次いで「非常用持ち出し袋を用意し、食料や必要な物を入れてある」が 32.7%、「災害時に家族が集合する場所などを決めている」が 16.3%となっています。

一方、「特にない」は 24.5%となっています。

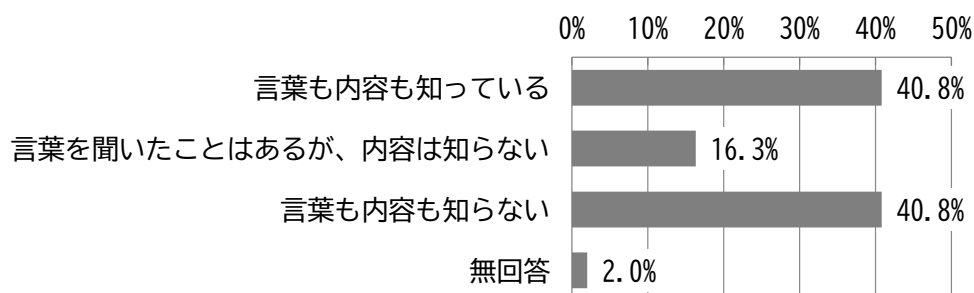


項目	件数	比率
自分が住んでいる地区の避難所がどこか知っている	27	55.1%
災害時に家族が集合する場所などを決めている	8	16.3%
非常用持ち出し袋を用意し、食料や必要な物を入れてある	16	32.7%
自分の補装具の型式やメーカー、販売店の連絡先などを持っている	0	0.0%
ヘルプマーク・緊急連絡カード・救急情報カードなどを持っている	7	14.3%
家具の配置に注意し、家具が倒れないよう防止策をとっている	6	12.2%
火災通報、救急車の連絡方法を知っている	7	14.3%
ストーマ用装具や医療物資などの備蓄をしている	0	0.0%
特にない	12	24.5%
その他	2	4.1%
無回答	1	2.0%
回答者数	49	

2) 障がい者調査(障がい児)

問 32 成年後見制度を知っていますか。(〇はひとつ)

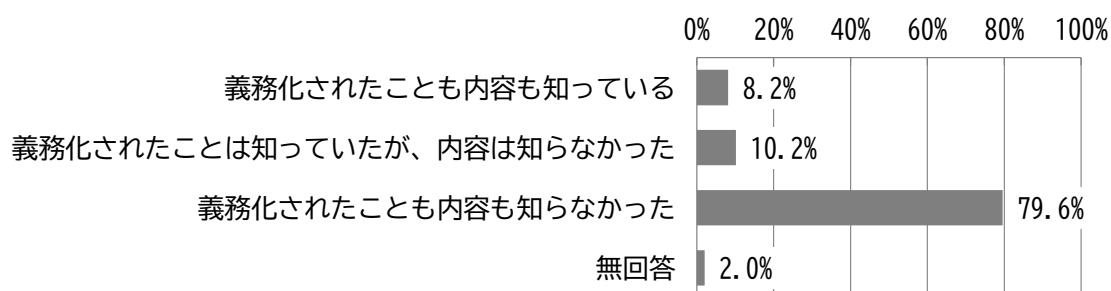
成年後見制度の認知度は、「言葉も内容も知っている」「言葉も内容も知らない」がともに40.8%、「言葉を聞いたことはあるが、内容は知らない」が16.3%となっています。



項目	件数	比率
言葉も内容も知っている	20	40.8%
言葉を聞いたことはあるが、内容は知らない	8	16.3%
言葉も内容も知らない	20	40.8%
無回答	1	2.0%
合計	49	100.0%

問 33 令和6年4月から、民間事業者においても障がいのある方への「合理的配慮の提供」が義務化されたことを知っていますか。(〇はひとつ)

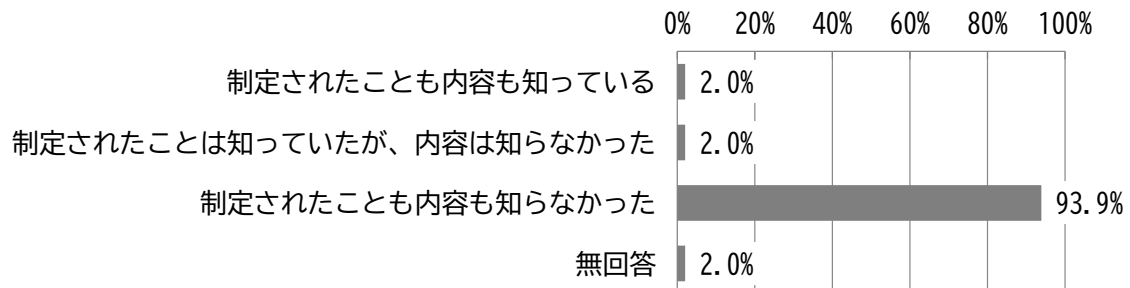
「合理的配慮の提供」が義務化の認知度は、「義務化されたことも内容も知っている」が8.2%、「義務化されたことは知っていたが、内容は知らなかった」が10.2%、「義務化されたことも内容も知らなかった」が79.6%となっています。



項目	件数	比率
義務化されたことも内容も知っている	4	8.2%
義務化されたことは知っていたが、内容は知らなかった	5	10.2%
義務化されたことも内容も知らなかった	39	79.6%
無回答	1	2.0%
合計	49	100.0%

問 34 日高市では令和7年4月1日に「日高市手話言語条例」が制定されました。あなたにあてはまるものを選んでください。(〇はひとつ)

「日高市手話言語条例」が制定された認知度については、「制定されたことも内容も知っている」「制定されたことは知っていたが、内容は知らなかった」がともに2.0%、「制定されたことも内容も知らなかった」が93.9%となっています。

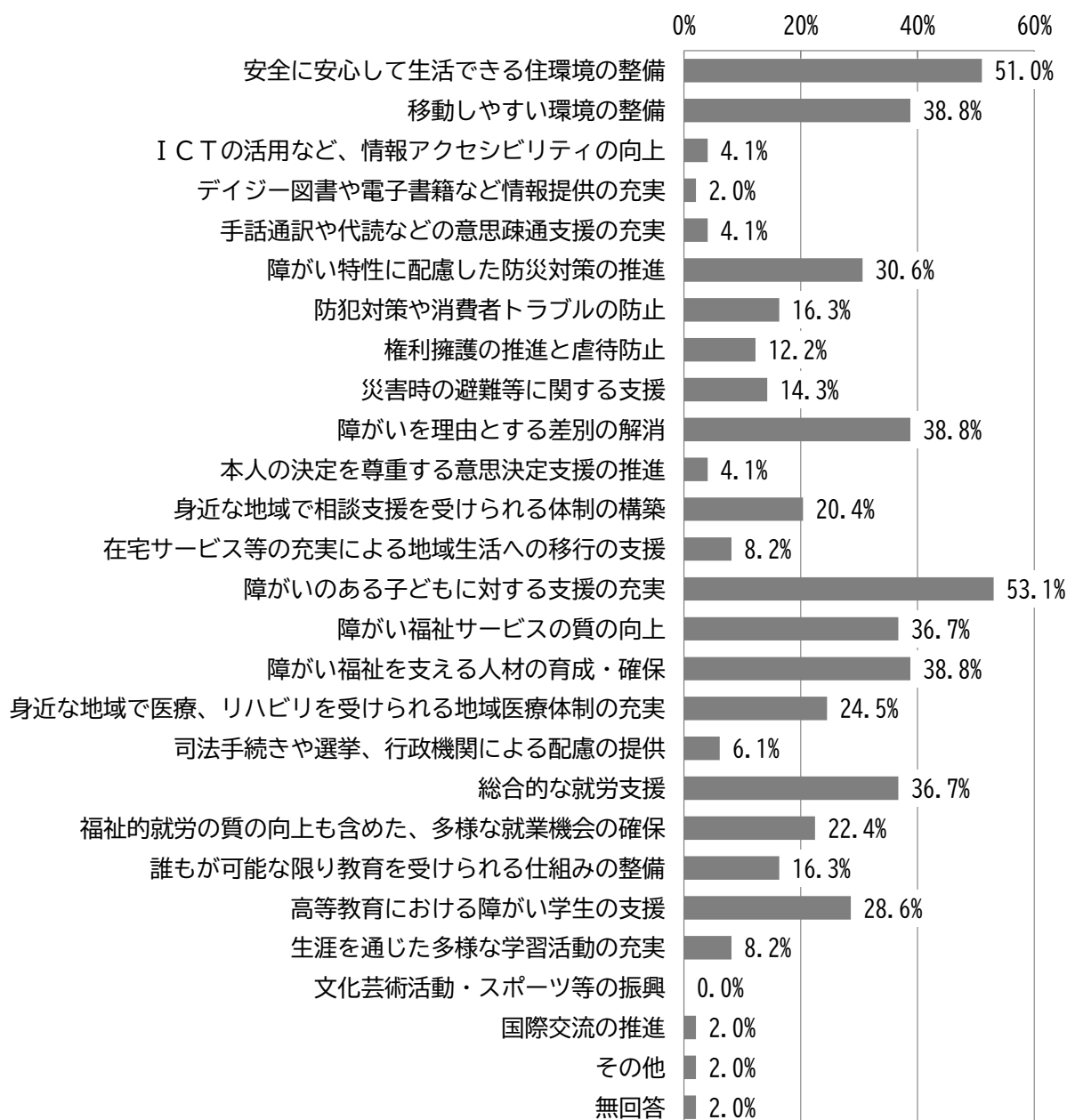


項目	件数	比率
制定されたことも内容も知っている	1	2.0%
制定されたことは知っていたが、内容は知らなかった	1	2.0%
制定されたことも内容も知らなかった	46	93.9%
無回答	1	2.0%
合計	49	100.0%

2) 障がい者調査(障がい児)

問 35 障がいの有無にかかわらず、住みよいまちをつくるためには、どのようなことが重要だと思いますか。(あてはまるもの5つまで、下記の回答欄に数字を記入)

住みよいまちをつくるために重要なことは、「障がいのある子どもに対する支援の充実」が53.1%と最も多く、次いで「安全に安心して生活できる住環境の整備」が51.0%、「移動しやすい環境の整備」「障がいを理由とする差別の解消」「障がい福祉を支える人材の育成・確保」がともに38.8%となっています。



2) 障がい者調査(障がい児)

項目	件数	比率
安全に安心して生活できる住環境の整備	25	51.0%
移動しやすい環境の整備	19	38.8%
I C Tの活用など、情報アクセシビリティの向上	2	4.1%
デージー図書や電子書籍など情報提供の充実	1	2.0%
手話通訳や代読などの意思疎通支援の充実	2	4.1%
障がい特性に配慮した防災対策の推進	15	30.6%
防犯対策や消費者トラブルの防止	8	16.3%
権利擁護の推進と虐待防止	6	12.2%
災害時の避難等に関する支援	7	14.3%
障がいを理由とする差別の解消	19	38.8%
本人の決定を尊重する意思決定支援の推進	2	4.1%
身近な地域で相談支援を受けられる体制の構築	10	20.4%
在宅サービス等の充実による地域生活への移行の支援	4	8.2%
障がいのある子どもに対する支援の充実	26	53.1%
障がい福祉サービスの質の向上	18	36.7%
障がい福祉を支える人材の育成・確保	19	38.8%
身近な地域で医療、リハビリを受けられる地域医療体制の充実	12	24.5%
司法手続きや選挙、行政機関による配慮の提供	3	6.1%
総合的な就労支援	18	36.7%
福祉的就労の質の向上も含めた、多様な就業機会の確保	11	22.4%
誰もが可能な限り教育を受けられる仕組みの整備	8	16.3%
高等教育における障がい学生の支援	14	28.6%
生涯を通じた多様な学習活動の充実	4	8.2%
文化芸術活動・スポーツ等の振興	0	0.0%
国際交流の推進	1	2.0%
その他	1	2.0%
無回答	1	2.0%
回答者数	49	

2) 障がい者調査(障がい児)

7 自由意見

問 36 障がいのある方のために特に力を入れるべき施策や、障がいに関する市へのご意見などがありましたら、ご自由にお書きください。

※別冊「記述集」を参照

3)障がい者団体等意向調査

①団体として抱えている問題

- [協力会員の減少]自分の車持ち込みで活動している私たちの団体では、動けば動くほどお金の持ち出しになります。誰か新しい人に入ってもらおうにも、正直進められません。[財政面]事務所を借りているので、家賃が重荷になっています。生活サポートでお世話になっていますが、運営がとても厳しいです。やりがいであれば活動していけません。近いうちに会をたたんでしまいそうなので、会の終活を始めました。
- ①職員の待遇も世間並にしたい。
②工賃をもっと高くしたい。
- 小規模でも手厚い支援を心がけている。一方、全国規模の新規参入の影響を受けて、報酬単価の切り上げ等が検討されている。処遇改善の手厚さは一方で煩雑な業務の積み重ねとなる小規模デイにはそぐわず、単価自体をあげてほしいです。
- サービスを必要としている方がいても、支援することができない。(人材不足)
- 会員は減少傾向にある。家族会を必要とする人が減っているならいいことであるが。依然として発症したばかりの家族とともに悩み、困り切って相談に来る方はいる。そのためにも、家族会の灯はあげ続けなければならないと思う。「家族会の存在すら知らなかった。どうして教えてくれなかったのか。」という人もある。行政からの呼びかけも必要と思う。
- 1)職員の人材不足。法人設立当初より、職員の平均年齢が高くなっている。今後は、より専門性の高いスキルや知識が求められるようになる。
2)利用者の高齢化。福祉サービスを利用している障害者の高齢化が進んでおり、80 - 50 問題での居住・生活に対する課題や、障害以外でも介護が必要となる利用者が増えている。
- 親亡き後の不安。
- ・人数が少ない。
・年齢が高く、若い人が入らない。
・行事の参加者が少ない。
・役職を持っている方が高齢のため、家庭訪問がなかなかできない。
- ヘルパー人材不足。就労されているご利用者様の支援は夕方に入ることがあるが、特に夕方は人材不足のためお引き受けすることが難しい。
- ・日高市内の地域のかかわりをもちたい
・発表の場を持ちたい
・他の事業所とかかわりをもちたい

②団体からの市の障がい福祉施策についての意見や要望

- もしも余裕があるなら、何らかの形で事務所としてのスペースを使わせてもらえるとありがたいです。
- 国の政策が一番問題なので、市独自で解決できるとは思えないことが多いが、そのことを理解した上で市として考えた方がいいことは①事業に新規参入する場合、よく含味、

3) 障がい者団体等意向調査

調査してほしい。特に営利企業がすべてダメとは言わないが、全国的にも、また近隣でも質が悪かったり、その上、倒産もある。結果として真面目に行っているところに迷惑もかかっている。

- 児童館のような、児童が使える社会資源を増やしてほしいです。
- そこまで関わりがないので、よくわかりません。
- 1, 私たちの宣伝努力も足りないが、障害福祉課や保健相談センターからも精神障害者家族会「飯能日高みのり会」の存在を、精神疾患を発症して相談に来られる方に積極的に伝えてほしい。

2, 国家的な問題であるが不運な些細な手違いから障害者年金から漏れてしまっている精神障害者手帳所持者もいる。市の障害者施策の担当者たちからも、このことについての改善策を働きかけて欲しい。

3, 障害者支援施設利用に結びつくことができず、引きこもったまま精神科通院もままならない人も多い。精神保健センターや相談支援事業所職員の個人的な努力に支えられている家族会員もいる。いわゆるアウトリーチに関わる職員の人材配置と処遇を強化してほしい。

4, 重度精神障害者医療費助成制度を精神保健福祉手帳2級は精神科通院している場合に限り、適用していただいたことをありがたく思っているが埼玉連とともに要請している。全科の医療費免除が実現しなければ、身体・知的障害者と平等に扱われていることにはならない。私たちの要請の完全実施を実現してほしい。

5, 教育機関を通じて、多くの方に、精神障害者への理解と精神障害への予備知識と、さらに精神疾患や障害に直面した時の家族会などの情報共有と、交流の機会の存在などを知らせる努力をしてほしい。

- 1) 障害者福祉協議会における部会の設置。相談部会、就労部会、障害児部会など日高市内の事業所や関係者が集まる機会を増やし、多方面からの視点で日高市の福祉について話し合うとよい。

2) 障害者優先調達推進。障害者優先調達推進法にもとづき、日高市でも取り組んでいただいているが、市からの作業依頼や物品購入を増やしていただきたい。他市町村の公表されている実績などの状況を見ると「物品購入」だけでなく、公園清掃作業や公共施設の管理などの「役務」が多い。日高市障害者優先調達推進方針にも書かれているが、障害福祉課だけでなく、全庁を挙げて取り組む課題かと思います。

3) 80 - 50 問題。障害福祉だけでなく、介護医療との連携が必要となるため多職種合同の研修等を開催してほしい。

- 安心できる、入所できる、施設があるといいです。
- ・年会費が 500 円なので、人会を重く考えないでほしい。
 - ・若い人も入れるように、市の方でも話をしていただき、入りやすくしてほしい。
 - ・年間の行事も知ってほしいです。
- フードバンクを色々な地域で開催したら、近い所へ外出することができるかもしれない。(歩いて行ける距離。)
- ・スピーディーな対応をして下さりいつもありがとうございます。

③その他、自由意見

- 監査以外に作業所視察に行くことがあるのですか？視察に来てもっと現場を知ってもらいたい！
- インクルージョンで楽しめる地域イベントが増えるといいです。
- 制度や法令が改定されることが多く、事業所単位では判断できない場合もあり、日高市や他法人の方針や考えを共有したく市主催の研修会や検討会があるとよい。
- 親としては、最期は見届けられればいいですが。
- ・若い人も私たち年配者も同じ障害を持っているので、話し合いの場を市の方でも設けて欲しいと思います。
・障害者の人に声をかけても説明する機会がありません。説明の前に断られてしまいます。

令和 7 年度日高市障がい者実態調査等報告書

令和 8 年 3 月

日高市役所福祉子ども部障がい福祉課
〒350-1292 埼玉県日高市大字南平沢 1020
TEL042-989-2111(代) (内線 1505)
FAX042-985-4444
MAILsfukusi@city.hidaka.lg.jp
